

# 斧山玄鋤の著作について (二)

——『義雲和尚語録聞書』と『義雲和尚語録聞解』の対照 (一) ——

岩 永 正 晴

本稿は、斧山玄鋤和尚(一七一—一七八九。以下斧山)研究の資料として、その著作を確定する作業の一貫である。前拙稿「斧山玄鋤の著作について(一)」——『義雲語録』の提唱をめぐる——(『駒澤大学仏教学部論集』第三〇号、平成十一年一〇月)を受け、斧山による『義雲和尚語録』(二巻、正徳五(一七一五)年刊。以下『義雲録』)提唱の筆録を取り上げる。

具体的には、『續曹洞宗全書』「注解一」所収『義雲和尚語録聞解』(底本は花園大学情報センター(図書館)蔵。以下『聞書』)と、駒澤大学図書館蔵『義雲和尚語録聞解』(「忽滑谷文庫一〇五三」として架蔵。以下『聞解』)を上下二段に対照して提示する。筆者はこの両本について、前拙稿で述べたとおり、

一、両本とも、斧山による同一提唱の筆録である。

駒澤大学佛教学部研究紀要第五十九號 平成十三年七月

二、但し両本の筆録者は異なる。

三、また、一本を筆削して他本が成立したのではない。

四、よって、両本を参照することで斧山の提唱の実際を推定することができる。

と考えている。両本の対照を行う所以である。

さて、『聞解』を活字化し、『聞書』と対照する作業に際しての方針を述べる。いわば凡例である。

先ず、『聞解』の活字化作業について述べる。

この作業では、提唱の原姿を考究する資料の作成を目指しており、テキストの原姿を彷彿する、用字等をも忠実に写す翻刻とはなっていない。具体的には、『續曹洞宗全書』による『聞書』収載に順じて、次のように改変した。

一、異体字・略字・合字・疊字記号(所謂踊り字)等については、正規の文字に改めた。

例 んー「ナリ」、場合によっては「也」／「伝」／「ト云」／「トモ」或は「ドモ」／「キ」／「時」或は「トキ」／「メ」／「シテ」／「伏」／「佛」／「堺」／「境界」等。

- 二、変体仮名は平仮名に改めた。
  - 三、和歌の引用は鍵括弧（「」）で括った。
  - 四、句読点は筆者が補った。
  - 五、《》で括り丁数を示した。
  - 六、蠹損等によって判読できない文字については、一字の場合は□、二字以上の場合には「」で示した。
- 次に、対照させる『聞書』について述べる。
- 一、底本には『續曹洞宗全書』本を用い、《》で括りその頁数等を示した(例《517a》は五一七頁上段)。
  - 二、花園大学蔵本の影印によって底本の誤りを正した。その部分には圏点(・)を付して示した。その正

誤表は後日まとめて提示することとする。

三、『聞解』の冒頭、「寿像贊」の提唱部分に関しては、後筆による大幅な筆削がなされている。『續曹洞宗全書』はその筆削を反映しているが、参考のため筆削以前の本文を並べて掲げておいた。

対照に際しては、上段に『聞書』、下段に『聞解』を配した。また、『義雲録』本文の段落ごとに区切り、その段落の初めには、本文の該当部分を明らかにする見出しを【】で括り付した(例【上堂01】は本集所収の第一上堂を指す)。

なお紙幅の都合等もあり、本稿では『義雲録』本集の中間、第五〇上堂までの提唱を掲げた。これは、『聞解』及び『聞書』全体の、ほぼ四分の一に当たる。残りについては、稿を改めることとする。

末筆ながら、『聞解』の活字化、影印による『聞書』の訂正にご許可を頂いた駒澤大学、花園大学の両図書館に感謝申上る。

『續曹洞宗全書』所収『義雲和尚語録聞書』	駒澤大学図書館蔵『義雲和尚語録聞解』
【巻首題】 義雲録上卷聞書 【寿像贊】	巻首題欠 【寿像贊】
《517a》	《1オ》欠

贊二早歳トトハ、義雲和尚ハ公家ノ子ナレバ、早歳ソノ公家ノ高録ヲ辭シ、冠ヲカケテ出家シ、○澗飲一谷ノ水ヲ飲ミ、木菓ヲ喰テ、檀那施主ラムサボラズ御修行ナサレ、○氷トトハ、ソノ心潔白ニシテ、氷ヲ壞ク如ク、ソノ志、キハダノニガキヲ甘ナフテ、世間名利ノ甘ヲ好マズ。○初ハ有爲ノ修行ヲシテ、○趣向トトハ、世間天生天淨天コレ三天ニ趣向シ、又夕無爲ノ修行ニ於テハ、○十地等ヲ歩シ、アヨミウゴツキ、ハネコエテ、夫カラ、○道蔭一自心ノ大道ヲ以テ群生ヲ蔭イ熱惱ヲサマス。蔭ハヲカゲト云ホ《GITHO》ドノ心。○ソノ徳ヲ以テ、衆生夫夫品品ノ部類ニ周ク及ボシ、○赤手一、カラ手ヲ以テ吾洞山ノ宗旨ヲ扶起ナサレ。○孤宗トハ、コレマデ祖師方ガ唐ノ二十四流ノ禪宗ヲ傳ヘテ渡ラレテアレドモ、ソノ内、二十三流ハ濟下宗ニテ、永祖バカリ洞山ノ宗旨ヲ御傳ヘナサレテアル故ニ孤宗ト云。○談一、扱又、語談戲笑ノ法語ノ上ニ君臣偏正ヲ五位ニ措テ、○若非一義雲和尚ハ多生曠劫大願力ニ乗ジテ再來□□□。○又安ソ迴然トハルカニヌキンデテ、二十四流ノ内、獨リ異ルコトヲ得ンヤ。外ノ二十三流トハ格外ノ唱ヘアル大宗匠ニテアル。○ソノ徒弟宗可ト云人ガ請シコハルルニ付テ、贊ヲ致シテアル。○泰定ハ宋ノ年號。○唐ノ靈隱山。獨孤ハ號。叟ハ卑下ノ詞。淳明ハ名ナリ。コノ叟ノ□□□呼トキハ尊敬ノ詞ニナル。

是歳 (以下、筆削以前ノ原文)

贊二早歳トトハ、義雲和尚ハ公家ノ子故ニ、ソノ出家ノ時分ヲ云

《1ウ》欠

《2オ》

〔 〕 中三点ノ塵勞ノ波立、ズ、藥トキワダノ苦ゴトク志ヲ苦メ

〔 〕 上ノ菩薩、三天ニ趣向シ、又十地ノ菩薩、仏ノ階級ヲ極メラ

〔 〕 二趣ク時ハ一切群生ノ為ニ蔭トナリ煩惱ノ熱苦ヲ救イ、其道ノアラレタ徳ノイツク

〔 〕 ノシナタ々十界ノ衆生ニ周クメグリ渡テ至ラヌ処ナシ。又其道ト徳トヲ以ハタラカル、処ハ、赤手ノ空尽シテ物ナキ境界デ、洞上ノ孤ト天下ニ并無イ宗旨ヲ扶起シ、談笑一語談話笑ノ上ニモ外ノコトハ無イ、君臣五位ノ法門ヲ指テ受用セラル。此様ニ自行化他自由ニ行スル尊体ハ、一生ニ生ノコトデハ無イ、大慈大悲ノ願力ニ乗テ再來セラレタモノ。走ナクテハ又安ドフシテ迴然ト遙ニ高クアラワレテ而、走シテ大契ノ祖師ノ中デ唯ダ獨リ外ニツ、イテ唱ヘル者ノナイ、異ニ、別ナル洞上ノ高キ宗旨ヲ唱ルコトハナラヌ。○和尚、字略ニ出。壽像ハ在命ノ時云、叟ハ老也。

バ早歳、若イ時分。公家ノ高録ヲ辭シ、冠ノカシムリヲカケテ出家シ、○萬一トハ百縁空縁ノ万縁共棄、是デ外ヲ捨タコトヲ云。○修行ヲ云バ、谷ノ水ヲ飲ミ、木ノ菓ヲ喰テ、且那施主ヲムサボラズ生体長養ヲ云。○氷一ト云ソノ志ノ潔白ヲ云バ氷ヲ壞ク如ク、○夔志ハ苦デ潔ヨク、書言故事ニ有ニ清苦名ニ云氷檠聲。ソノ如、黄檗ノ苦キガ如ク辛苦セラレタ。○趣向一トハ、世間天生天淨天コレ三天ニ、イマハ三賢ニ趣向シ、有爲ノ修行ヲ云。又タ無爲ノ修行ヲ云フ。○十地等ヲ歩一シアヨミウコツイテ跳越シコヘル。ソレカラ三菩提ノ道ヲ修行シテ、ソノ道ヲ以テ羣生ヲ蔭イ熱惱ヲサマス。蔭ハヲカゲト云意。○三菩提ノ徳ヲ以テ品々ノ部類ニ普ク及ボシ、周ハ下回り、類イハタグイ。○ソレカラ法ヲ擧スル方ヲ云バ、○赤手ハ、カラ手ヲ以テ洞上ノ孤宗トツレナイ宗旨ヲ起サレタ。唐ヨリ二十四流禪宗ヲ傳ヘテ来ラレタレドモ、二十三ハ濟下宗、永平タンダ一人ニテ洞山ノ宗旨ヲ傳フ故ニ孤宗ト云。○談一トハ語默談笑ノ法語ノ上ニ君臣偏正五位ヲ措、擧措トアゲラロシスル。○語談戲咲、咲、笑ナリ。○是迄ハ法ヲ擧サレタコト。是カラハソノ種ノナイコトデハナイト云コトヲ述ブ。義雲和尚上ハ元ヨリ、若シ菩提願力ニ乗ジテ再來□□バ、安ズ。迴然トヌキンデテ二十四流ノ内、獨リ異ルコトヲ得ンヤ。法ヲ擧スルコトハナラ□。○ソノ徒弟宗可ト云人。○唐ノ靈陰山。獨孤ト号。叟ハ卑下ノ詞。淳明ハ名ナリ。叟ハ人ニ付ル時ニハ尊敬ノ詞ナリ。

## 【正山序】

○義一、義雲和尚ハ永平寺ノ五世ナリ。略傳、下ノ卷ニアリ。宝慶寺住持寂圓和尚ハ永平寺ノ四世ナリ、ソノ徒弟ニシテ五世ナリ。靈梅院ハ義雲和尚上ノ埋骨セル處ナリ、故ニ靈梅ノ義雲ト云。和尚ハ梵語、ココ《518a》ニカ生ト云。○序ハ緒ナリ、絲口次第ヲミダサズ。○説文ニ、序ハ東西牆也、所以序シテ別ニ内外也。○此ノ序ハ論ノ体ナリ。或云ト、アル人ガ云ク、如來拈一迦葉微笑シテ、心心即通シテ眞ノ宗旨ヲ默シテ露シタ影略語兼ノ句ナリ。如來ハ拈花シテ默ニ露眞宗ニセラレタ、迦葉ハ微笑（笑脱カ）シテ默露眞宗シラレタ、佛佛ヲ云。○夫ヨリコノカタ少林ニ九年面一、ソノ處ハ外ニ知ル人ハ無イ。惠可大師ガ立雪、玄妙ノ宗旨ヲ密ニヒソカニ人モ我モ不知ニ證成セラレタ。是レモ上ノ如影略語兼ノ詞。是デ祖祖ノコトヲ云。○上ニ此様ニ言語一 心行ノココロヤリガソノママ斷テアル。○夫レヲ只ダ後ノ佛道ニ進ミ來ル者ガ、本ヨリ分在モ守ズ、○ソウシテ樺唇ノアライ唇ヲ鼓一トタキウゴカシテ説一トク。○所以ニ、夫故ニ、上ニ言フ處ノ眞一、殆ドヤガテ地ヲ拂ヘ無クナリ捨テントスル。殆ド、チカイ。○ソノ様ニナツタハ亦タアダナラズヤ、ウラメシイコトデハナイカ。○予正山ガ云ク、實ニ、ゲニト如クアダデハアル。○然モ譯前出後ノ言バト云テ、然ドモ概シテ押シナラシテ斗トカ□デカケ《518b》タ様ニ言ベカラズ。○ナゼナレバ夫レ拈華一、面壁一、佛祖ノ眞宗旨ハ、專ヒトスジニ妙悟ニ在テ、必シモ語ニモ默ニモアラヌモノ

## 【正山序】

無し

シヤ。時ニヨツテ默シ語ルニ不拘、拘束シシバリツケラレン。苟且トカリソメニ妙ニ悟田地ニ到ルニ及デハ、語モ默モ得テ同ク法性ノ源ニ歸ク。ソウシテ始ヨリ兩般ノフタシナハ無イ。○ソノ證據ヲ引カ、昔シ黄面老子ノ一大藏教演説シテ、龍宮中迄流通セヌコトハ無イ。是レ語ヲ云ナリ。○末杪ノコズイノ一番ヲハリ、支舞ノ頭リニ到テ、自告示シテ云ク、四十九年一字一ト云タハ默ナリ。○又タ我がハ親ノ言バナリ。我が永一言一ト云ハ、言語ヲ嫌フニアラズ、一切ノ言語ガ即チ道ガ斷テラル。火ト云テ口ヲ不レ燒。○心行處一ト云ハ、八萬四千ノ一切ノ心行、分別心アリガ、即チ處斷セルナリ。別ニ滅スルニアラヌ。大海ニ雪ノ降如ク、「ツモラネバ、キユルトモナキ、海ノヲモニ、フル斗リナル、雪ノアケボノ。」

是レ不生不滅ノ道理ナリ。○是ヨリ上ヲククル。佛佛祖祖親シイ處ノ口ヨリ出タ言バニ、如來ノ方ニ大乘小乘ハナケレドモ、修スル《510a》處ニ大小乗ガ有テ、蜜ヲ食中モホトリモ皆ナ甜フシテ、語モ默モ好クシテ、誰カ一味ノ上ニ濃、淡イノト云嫌擇シ分ツ道理デナイ。○義雲ハ天童ノ剃度、寂圓和尚ノ弟子ナリ、總量(領カ)子ナリ。知見四佛知見、一時ソノトキドキニ高イ。○安李シ玉フ處一、道聲轟ニ千古ニ處ノ名ナル尊體。○初メ寶慶寺ノ寂圓禪師法席ヲ補テ妙ニ續グ。○マタソノ後ニ、永平ノ棠ノ甘ナシノ陰ニ坐シテ、能ク永平高祖道ヲコス。○ソノトキニ當時四方一トハ、三代ノ論有テ永平敗壞セルヲ能クセラレタカラ、洞山上中興ト稱

シタ。○可一、傑ハ萬人ニスグレタルヲ云フ、然バコレジャト云  
 コト、老ハタケタル、宗旨ノ大匠ト謂ツベシ。○寶慶寺永平寺ト  
 二會ノ語録ガ幸ニ未ダ、磨一スリツブレン、我ガ永平門下ノ光一  
 ナリ。怡悦トヨロコバシイコトデナイカ。○越前ノ寶慶寺ノ今住  
 山ノ一遠一本ヲヨセテ、山野ノ僧ガ序シテ以テ梓一シテ世ニ流通  
 センコトヲ乞ハル、△盛意ハ謏謏トアサアサシクナイ、倅ト同  
 ジ。○夫レ ज्याカラ我レ得テ辭退セヌ。○龍堂ヨリヒキタル處ノ  
 卷ヲ開テ、目耕ト目デツラツラ《519b》見テ行クウチニ、覺ヘズ  
 此ノ書一編ヲ見了ツタ。○ソノ一句一句、默露一。○文文、一文  
 字一文字ニ吐一。○是ニツイテ古人馬大師ノ云ク、汝一楞伽經ニ  
 佛心一、宗旨ノ大切肝要トナシ、無門一佛語一トハ説ヲ云フ。心  
 ヲ爲レ宗ハ默ナリ、無門ハ默ナリ、爲レ法門一トハ説ナリ。○獨リ馬  
 大師、楞伽經斗リ云タコトデハナイ。今日ノ卷、ミナ佛語心ヲ一、  
 無門ヲ法一、トシタコトジヤ。○世間ノ人ガ、卍山ハ漫リニケガ  
 シ塗リチラカシタ、髮纖長セラヌ禾種ノ如クナル禿筆ソメテ、以  
 テ義雲録ト云、之レガ序ヲ作ルト云フハ、卍山和尚ノ卑下セラル  
 ル。○艸堂トハ要覽ノ上、住處ノ篇ニ曰ク、艸堂ハ羅什於大中ノ  
 中、構一艸堂、以レ艸苦到蓋之於レ中譯レ經、因レ此名レ之。

【表題】

寶慶寺、開山寂圓和尚ナリ、二世義和尚上ナリ。○語録ハ、字彙、  
 語ハ述也、論難也、又以レ言告レ人也。録ハ采也、總也、記也、收捨也、

【表題】

無し

檢束也。圓宗未詳其傳。按宗派圖、徹通和尚ノ法嗣ニ有圓宗和尚云者。蓋シ其人歟。師義雲和尚四十八歳ノトキ也。△拈香、修行ノ法ヲ擧揚シ、報恩本師、廣ク法ヲ擧揚シテ《520a》弘メル。○祝聖、拈香ト別ナリ。夫了テ提綱ナリ。

【上堂01】

○上堂ニ百川一ノ名、是迄ハタトヘニ法ヲ説クナリ、百ノ川川ガ色色ハアルケドモ、大海ニ向テ到リ了レバ百川ノ異名ハナイ。一切諸法ガ一心ニ向テ到レバ、到リ了テ萬法ノ異名ナシ。一ツデモ心ノ内ニ留テアルモノハ無イ。向ヨリ手前ヘトリコム方ナリ、向去ノ句ナリ。又タ一心ノ大海ヨリ百川ノ萬境ニ隨テ轉ズ、轉ジテ後チ即チ本位ニ住シ、萬境ニ轉ゼラルル上ガ即本位ヲ離レヌ。此方ヨリ向ヘ行ク方ヲ云、却來ノ句ナリ。○將一、一面ノ鏡ヲ以テ破テ像ヲ鑄レバ、鑑ノ體ハ無フシテ照ラスコト不得、萬境隨テ轉ズル句ナリ、百千億化身ノ像トナル。又タ一心ナリ本身盧舍那ナレドモ、十惡十界ニ向テ轉ズルトキハ、盧舍那ノ體ハナクナル、又タ像ヲ以テ鏡ヲ鑄ルトキニハ、光明自ラ新ニ珍敷イ。○一心ノ主ハ闔外ノ戸シキミノ外ニ不出シテ、遍身處ノ手ヲ以テ、招テ十方往來ノ者ヲ接ス。○百川ノ寶ハ、途中ノ建化門頭ニ法ヲ受用シテ、身ニ入り渡ル總身ノ眼ヲ以テ活シテ古今ヲ鑑スルナリ。到了テ名異《520b》ナシ(ト)云フニアタル。○今日ハ、上堂ノ主、學人ノ寶ト、○遍身ノ手、通身ヲ具スルカ一、○且ク大衆、通身ノ手

【上堂01】

△上堂。百川一。是ハ華嚴ニ出テ、爰ハ萬法唯心向去ノ處、十界ニ別テモ一心ニ皈スル處ハ異ノ別名ハナイ。コトマデハ向フカラ手前ヘ歸スル方、句法ハ七字五字デ切レル。コレカラハ向フヘ流テ出ル方ヲ云、却來ナリ。佛モ衆生モ一心ナレドモ萬境ニ隨テ轉ジ、月ヲ見レハ一轉ジ、花ヲ見レバ花ト轉ジ、瞋レバ修羅、向フカラ持テキ次第ニ轉ズ。ナンボ轉ジテモ別ニ一又カラ、ランツマリハ一心。將鏡一又向ヘ轉スル方ヲ云。鏡ヲ摧テナソゾ花立ノ羊ナモノニ像ヲ作レバ本ノ鏡ノ光リハナクナル、コレ人々ノ本心ハ明ナモノナレドモ、萬法ニ隨テ色々ノ像ヲ仕出スカラ、本ノ佛心ノ鏡ハナクナル。將像一《2ウ》又手前ヘ返ル方ハ今迄ノ像ヲクタイテ鏡ニスレバ、光明□新タニメツラシウ、コレ百川一心ニ皈スル處、爰迄ハ法ノ有リマヘ。コレカラ法ヲ用ル處ヲ云。主中ノ主ハ本位ヲハナレヌケレドモ、遍身ノ世界ニアマ子イ。身ハ正ニ往キ偏ニ來ル者ヲ接ス。一不出カ正位ハ一カ偏也。寶受用一、コレカラハ下カラ上ヘ向フ方、寶ノマラウドハ迷イアリ悟リアル途路ニ在テ通身一テ、尽過去ノ古モ尽未來ノ

カ、通身ノ眼カ、ドウジャ。還テ落着ノ場ヲ合點シタカ。○觀面ハ親見ノ如シ。下ヨリ上ヲ見ヲ親ト云フ、上ヨリ下ヲ見ルヲ面ト云フ。○觀面見ルトキニハ、向上ノ機モ向下ノ機モ、呈シガタイジャ。○夫ジャケレドモ、今日上堂シテ家風一、上ハ入理深談、下ノ句ハ門庭ノ施設、コレデ法ガ全ナル。

【上堂02】

○上堂。廓トシテ、ホツカリトハリヒラケテ不思議ナルモノナリ。是レ何カト思ヘバ、本來ノ般若ノ光明ガ人ノ手ヲカラズシテ自照シテラル。廓トハ本、光トハ用ナリ。○寂然ト不動ニシテ應ズ、ソレハダウナレバ大用ガ現前ス。是句ニハ體用アリ。○是ヨリソノ働ヲ云フ。木馬ノ消息ナキガ今時ノ風ニ嘶クケレドモ、今時ノ歩ヲ移サズ。故ニ今時ニ在テ今時ニ落ヌ、有無ヲ離テ道理ガアル。○沒消息ノ泥牛ガ海ヲ出テ來テ、來リハ來タケレドモ今時ニ落ズ、空劫ノ春ヲ耕シ破ツタ。空劫ナレバ凡夫ノ有見ヲ破ス。春ヲ耕破スルナレバ、二乗ノ空見ヲ破ス。○諸《521a》人此ノ處ヲ委一、委曲ニ曲リクネツタ處迄モヨク合點スヤ、シ様トヲモウカ。○ココニ玉人ガアツテ手ヲ招テ歸レ歸レト云ハ、ドコカト思ヘバ妙ニ歸レ歸レト云。ソノ歸リ道ハ今時ノ廻途ニアル、今古一枚ノジャ。玉人ト云ハ木馬泥牛ノコトナリ。

今モ一日ニ鑿シ見ヌク。コレ偏ノ臣ノ位デ通（ ）デ、正ノ主ノ位ニ爰カ上ニアル。一心万境ニ随フ處、前ノ主不出一ノ句ハ、百川向大海ノ意ヲ受テ云。具甚麼手眼、通身之手、偏身ノ眼、觀面賓主互ニ親見シテ（ ）テモ、法ハコレト云テ（ ）ユエ呈シ難仏祖向上ノ機。然ドモ仏祖有テヨリ、コノ（ ）ヨリ一切人ノ為（ ）門開テ法施ヲ行ズ。爰カ雖レ非有為ニ是無語、コノ二句、法ノ根本ヲ云。

【上堂02】

△上堂。廓ハ張レ小使レ大貌、ホカラカ、夜明ケノ和訓也。カケサワリナク靈ト不思議ニ、アルトモナイトモカタツケラレヌ人々ノ心ノ光明ハ、本來ヨリ具テアル。自照ト人手ヲ借ラズニ自ラ水ヲ吞デ冷暖自知スル如ク、ヨク一切ヲ照ス。寂然トヲトモナク（ ）ナクシツカニシテ、シカモ一切ニソレゾレニヨク應スル。目ニ色ヲ見レバ其儘ソコヘ應ジ、耳ニ声ヲ聞（ ）ハ、直ニソコヘ應ズ。其大機大用ノ働キ現前シテ用キ様ハ（ ）馬デ妙有ナリ。イツテモ木馬ノ泥牛ノト云バ、眞空妙有ニ（ ）妙有ノ境界故ニ、今時ニ有テ今時ノ歩ヲ運バズ。泥牛一（ ）山問龍（ ）縁住此山。龍山曰兩箇泥牛一。コノ意ヲ含テ一度ヒ大海ニ入（ ）オテ、是非ノ兩頭ヲ忘レタ泥牛ガ出海今時ニ向ケレドモ、空劫ノ一シテ、全ク今時迷悟ノ春色ニハ落ヌ。爰、廓爾靈ナル処ナリ。委ハ委曲委細ノトツトイテ、ツブサナコト。詩經ニ委源ト有テ、

水ノヨドミノコト。水ノヨトミク子リマカリタ隅迄モ、ヨウ精ク合点シタカトナリ。玉人が有テ爰ヘコイト招ク、ドコヘカエルト思フタレバ不可思議ノ処、佛トモ衆生トモ心トモ法トモ名ノ付ケラレヌ処カ妙ヨ。其カヘル路ハ、ヤハリ迷悟生死ノ途路ニ妙ニカヘル路ガアル。爰ガ今時ニ居ナガラ空劫ノ行李、有ノウラカ直ニ無ニ無ジヤ。

【上堂03】

○半夏一。身ハ一トハ、四大ノ身ハ照シテ見レバ、浮カベル雲ノ如ク、○ソノ身ヲ受用スル處ノ心ハ、清風ノ如ク身ガ身デ無イ。故ニ永平高祖ノ身心脱落ト云、コレナリ。○ソレヲ云バ、眼ニ見ル處ハ一切ノ萬法ノ色上ガ無影樹ヲ見ルナリ、色即是空ナリ。○耳ニ聽ク方ヲ回光返照シテ見レバ、沒絃琴ヲ聞クナリ。六根六塵ノ空ナルヲ述ブ。○今日ハ半夏ナリ。半夏過ギ來ル底ノ身一、△第二義門ハ有法ノ方ナリ。○模様ハ模範、イガタ様色ヲナス。○作一。第一一、空ノ無ノト説クベキナイ處ハドウジヤ。○諦ハ帝ノ言ト書タ字ニテ明ラカナタシカナルコト。翡ハ赤ク、翠ハ琉璃ノ色、女鳥男鳥ナリ。鷺一ハ、女鳥男鳥ナリ、二ツモノナレドモ本ガ一ツナリ。○翡翠ノ二鳥ノ正偏ガ、荷葉ノ雨ヲ踏躑シ去テ行カタガシ(レ脱カ)ヌ。正《521b》ト偏ト位ガ有ルナガラアリツブレ。諸佛衆生ノ位モ又タ同ク、鷺鷺ノ正偏モ、竹林ノ煙リヲ衝破シ去タソノトキニハ、有ニモ無ニモ正ニモ偏ニモ留ルコトハ無イ。

【上堂03】

△半夏。身似一。四大假和合ノコノ身ハ浮雲ノゴトクテアルカトスレバ其儘ナヒ、無實ナモノ。其身ニ屬スル心ナレバ清風ノゴトクデ、頼ニ急度アテハナヒ。コレ身心脱落。故ニ今日用ル処ノ眼ニ見ル上、色ノ本際ヲ合点スレバ色ニ色ハナヒカラ、見ル上ヘ聞ク上ヘカ無影樹ナリ、沒絃琴也。是レデ身心ト世界ト共ニ脱落ナリ。過來底ノ身心ハ在ニ什麼ニ処ソ。實ガアレハ有リソウナモノナレドモ、本実ノ無ヒモノニ、アラウ道理ナシ。コノ処深ク參スベシ。墮見聞、法ニ心掛ケ無ク、胡乱ニ李踐シテハ、見聞ノ為ニ色聲ニ縛セラル俗諦門ノ活計ヨ。第一義ノ処ヲ道バ、翡翠ニ鳥デ正偏ニナル。荷葉雨ヲ躑シテ、正偏共ニアラハレタ双照ノ中道ノ処ヲヨク見レバ、鷺鷺ノ二鳥カ竹林ノ烟ヲ衝破シテアトヲ烟カ覆イ、ユクサキノ蹤迹カシレヌ。双非ノ中道、コレ正偏アラワレルモアラワレヌモ、妙不可思議ニシテ鳥道也。爰カ上ニ身心世界脱落ノ処也。

二ツ共ニ鳥道ノ虚空ヲハナレハセン。

【上堂04】

○如來ニ密語アリ密藏ナシト、涅槃經ノ文ナリ。世尊ニ密語有リハアレドモ、ソノ處ヲ合點シタ迦葉覆藏セズ。上ノ句ハ體、迦葉ノ句ハ用。○密語ハ外ヘアラワレヌ、迦（葉脱カ）微笑セラレタハ外ヘアラワレテ覆藏セヌ。○世尊ノ密語ヲ云ハバ死中ノ正位ナリ。迦葉不ハ、活アルナレバ偏位ナリ。此ノ死有活、是レ天曉不露ノ句ナリ。○活シテ來ルカラ、密語ノ空ニ礙ヘラレヌ。○活中ハ迦葉不藏ノ中ニ死ノ密語アルナレバ、故ニ萬物ニ礙ヘラレヌ。是レ色即是空ナリ。一是迄ハ有無死活ヲ分チ來ル。△是ヨリ有無一ツニスル。有ガ有ナラズ、無ガ無ナラズ、偏正死活ニカタヨラヌナリ。○ソノ證據ヲ引而イハバ、芭道ハ、我レニ拄杖子有ルト云ハバ、又即チ無イカラ與ヘテヤラウ。無イト云ハバ、タシタタカ有コト《Gga》ジャカラ奪テヤラウ。不レ持捨テ、不覺忘ゼヨト云ガ如シ。○畢竟ハ決定ナリ。△一切衆生ノ心地二十界ノ諸ノ種ヲ含藏シテタル。是レ三因佛性ノ内ノ正因佛性ニカカル。○夫レガ天ヨリ普ク灑グ處ノ雨ニ逢テ、皆ナ生ズルガ如シ。佛種ハ人人具足トハ申ナガラ、善友知識ノ法雨ニ逢イ、因縁ニアワネバ佛性ヲ生ルコトヲ得ヌ。因縁佛性ニカカル。△皆ナ生ジテ、既ニモハヤ華情ノ花ノ心ヲ悟リ已テ、花サヘ開キ發菩提心サヘ發スレバ、三菩提ノ果ガ自ツカラ成就スル。是二句デ了因佛性ヲ述ブ。

【上堂04】

△世尊密語一涅槃經ニ有ニ密藏。世尊八萬ノ衆中ニ華ヲ拈ズル時、大衆默然。迦葉ハ其心合點ジャカラ、迦葉ノ手前ハ不覆。コレ釋迦ハ慳、迦葉ハ富也。故ニ死中ノ密語ノ処ニ不藏ノ活アリテ《3ウ》空ニ落ズ。活中一、活中カ其儘死ナレバ、有不是有、無一、カウアル故汝ニ有拄杖子、與汝一。有ト云ガモフ無ジャカラ、心地含諸一、コレハ正因佛性。普雨悉一、縁因佛性。一菩提果自人手ヲカラズニ了因佛性。此上堂ハ家風萬古爲人施ノ意デ見ルベシ。

此偈ハ三因佛性ヲ述ブルナリ。

【上堂05】

○中秋ハ八月十五日ナリ。月ヲ眼トサス。△乾坤大地ガ眼ジヤ。此ノ衲僧ノ眼ヲ開テ見レバ、更ニ眼ニ當ルノ境ナク、眼タンダ一ツナリ。○扱ソノ月ノ用ハ、水ニ月ガウツリ大地ニ有テスミ、天モ清シテ月ガ光ヲ放テ照シテ、終ニ善惡邪正ノ萬物ニ應ズル處ノ照ヲナス。佛ノ心法身ハ、水一如ク、觀照ノ智慧ヲナス。是迄月ヲ述ベ、コレヨリ月ヲ用ヲ云。○此月ヲ、昔シ船子和尚上ガ絲輪ヲ卷得テ、滿船空ク《522b》月ヲ載テカヘルト云ハレタ。○直下ハ、マツスグニ、ナリ。○此ノ月ヲ雲岩ハ拂帚ヲカカゲテ驀頭ニアタマカラ拈起シテ云、這箇是幾月ゾト云ハレタ。コノタツタ一ツノ月、對一アイテハナイ。○上ニ云フ處ノ月ヲ今持來テ雲上座ガ手裡ニアル。雲岩ハ對レ空拂フト云レタガ、此ノ何ヲカ拂フ。拂フトモノカ拂ハヌモノカ、拂子ガ月ナレバ拂フ處ノタイダイハ無イ。○心月ハ從本以來一物無フシテ、故ニ何處ニカ塵埃ガトドロフ。止ラネバ拂フ處モナイ。○此ノ無一物ハ有無共ニ盡タ處、無相ハ空ナク不空ナシ。證道歌。○外來底一人モ無イ。

【上堂06】

○開一。二月朔日ハ閉爐、十月朔日ハ開爐也。○先ツ今日、開爐節至テ、般若ハ大火聚ノ如クナル火爐大ニ口ヲ開テ、サテソノ諸法ハ、諸經次第ノ五千餘卷ノ文ガ皆ナ般若波羅蜜ヲ廣説シタナリ。

【上堂05】

△中秋。全篇月ヲ言ハズ二月デ仕舞。先ツ月ヲ衲僧ノ眼ニシテ、尽大地ガ沙門ノ一隻眼デ、眼デ、眼ノ外ニ相對スル者ガナヒ。月一ツテ拄ヘタ。又向ライエバ、水天一枚ニ照ス般若ノ光明ヲ放テ、終ランヅマリニハ一切萬物ニ應ジテ照ス。上ノ乾坤眼ノ処ハ体、下ノ水天光ハ用ナリ。此月ヲ、船子ガ直下般若ノ空船ニノセテカヘル。爰モ細ニ見レバ、船子ハ載テカヘリタ斗リ、体。雲岩驀頭掃帚ノ上ニアラワシテ見セタ、用也。拂子トイヘバ、拂ハヌト云モノト二ツニナルカラ、什麼ヲカ云。心月孤圓ハ、元ト物デナヒカラ、本来一拂塵埃一、元穢レルト云コトガナケレバ拂コトモイラス。元來淨穢ヲハナレタモノジヤ。

【上堂06】

△開爐。今日開爐ジヤカラ、火爐ノ口ヲ開ニ因テ虚空ノコトキ大ナ口ヲ開テ廣説一、コノ句見ヘタ通り。鍊得一、寒灰ノ無心ニ到リヘタモノモ、鉄漢ノ仙道ニ志ヲ変セヌ処ノ丈夫ナ者、凡聖一ツ

○是ヨリソノ爐中ノ用ヲ云バ、寒灰ノ鈍者、二乘聲門(聞カ)空拳ノ修行スルヲモ、此ノ爐中ニハ二乘寒灰ノ鈍者ヲモ入テ、又タ大乘ノ鐵ヲモ入テ一ツニ鍊リ得テ、伶俐デモ不伶俐デモ、心心片片、此心此情アルハ目前ニ赤シ。全體般若ジ《533》ヤ。○先ズ修行スルニハ、深クトツクリト冷灰ヲ撥テ、般若ノ焰ガ生ジテ來ルカラ、丁寧ニ見レバ小火ヲ見ル、百丈ト瀉山ノ商量アリ。○ソウシテ化他門ニ出テハ、暮一、アタマカラ開示シテ般若ノ眞文ヲ轉ズル。○自分ニ生體長養スルハ、先ズ今日ハ開爐ジヤカラ炭ヲ點、柴ヲ添テ、此ノ様ニ爐鑪ヲ開クコトハ、時節有テスルコトナリ。告スルニアラズ、意ナキニ似タリ。サリナガラ無イデハナイ。○ソウシテ只ハヲウシ法ヲ起サバ、陝府ノ鐵牛ヲ鍊リ得テアカシ。通身般若ナリ。

【上堂07】

○朝打ノ打ハ助字ナリ。朝起ルヨリ、動搖分別思量三千モ四千モ起滅スル、此處ハ佛祖モ證契シ知ルコトハナラヌ。○又タソノ朝一三千暮打八百ノ法門ヲ、狸奴ノネコガ悉ク知テアル。○狸奴ハ家ニ使フト云コト。故ニネコニヤツコト云字ヲ付ケタ。夜半正明ヲ云。佛祖一、天曉不露。○順カシ次第第二行ズル也。達一悉クアルコトヲ知ル、暮一ノ句ナリ。○佛祖不一句ハ、此法ヲ逆行也。庭一、境デモナク人デモナイ。枝葉ガ堆ラナシ、雲潭ニヒロガツテアル。西來トモ《533》佛トモ名ハ付ラレズヨリツカレヌ。上

ニ般若ノ智火デ鍊エテ見レバ、心々ノ迷テモコノ心、悟テモコノ心、コノ心ヲハナレタモノハナヒカラ、人々一ツ般若ノ智火ヲ起シテ鍊エテ見レバ、心々片片般若ノ光明デ目前ヲ照ス。一般若ハ心字ヨリ出。○深撥一、般若ノ小火ヲ見ルニ修行輕忽デハイカヌ。深ク拂ハ子バ、コレ入レ水極底、登山極頂ノ意ナリ。走シテ般若ノ光明サヘアラハルレバ、驀頭ニアタマカラ如來八萬四千ノ法文ヲ轉ズ。幸ニ今日開爐ジヤカラ、點炭一、コレ意ヲ用テムリニスルコトデナイ。時節因緣ニ任セテ、陝府一、祖師ノ心印形ヲ鉄牛ノコトキヲ鍊《4オ》リ得テ修行證契スルコトデアルト也。

【上堂07】

△朝打一朝起テ朝打ヨリ晚迄ニ、一切ノ行業、念起念滅ノ上ニ、三千八百ノ三昧ガアル。其レヲ佛祖モ證契スルコトガナラヌ。コレ逆行ノ処。又順行カライヘバ、狸奴悉知ル。其順行ニ向時ハ達磨一。逆行ノ時ハ庭前一柏樹一本デ□、佛見法見モナヒ処、佛祖モ證契ナラヌ。一念萬年、證契ナラヌト悉知ルトヲ、コノ四字デ云。悉知ル時キハ一念、其一念ヲ回シテ見レバ萬年デ、無量劫來無窮シテ佛祖モ證契ナラヌ。以鏡一トキハ、光明ガアラワレヌカラ、知ルコトガナラヌ。又萬年デ、無量劫無窮処ガ、其座ノ一

天下地タツタ一本ノ栢樹枝。○知有方ハ、一心一、當座ノ一念ガ萬年ニシテ限リガナイ。鏡ヲ以テ物象ヲ鑄ルガ如ク、一念ノ鏡ニテ萬年ノ像ヲ出ス。向ヘ生ル方。○又タ不知有方ハ、萬法一歸テ萬年ガ當座ノ一念ジヤ。共ノトキニハ萬像ノ澤山ナル萬年ノ物ヲ以テ、一念ノ鏡ヲ得ルガ如ク、此方ヘ受込ム方ナリ。○爲甚一、ドウシテコノ様ニ自由ニシタモノジヤ。○丙丁一、來テ火ヲ求ル如ク、有コトヲ知ルモ不知モ皆ナ是般若。ソレヲヒロク云ハバ、天上ノ北斗星ガ廓トシテ空ヲ照シテアル。是レ皆ナ般若波羅蜜。

【上堂08】

○佛涅一、涅ハ不生、槃ハ不滅ナリ。圓寂ト翻譯スナ。○如來ノ涅槃ノ處ハ、常自寂滅ニ在テ體、ソノ白毫光ヲ放テ照シテララルルハ用。死中ニ有活、常寂圓明ノ如來ハ不出世一人ジヤ。ケレドモ照ガアル。默ニシテ照ス。○無功勳ノ中ニ、位ヲ辨白シ辨別シテ、涅槃生死ヲ辨白シ玉フ。○又タ顯一、アラハレカガヤイテアルケレドモ、靈ニシテ不思議ナルモ、寂靜ノ處ノ照。○自位中一、無功ヨリ功ヲ立シテ來ル。是迄法《5248》ノ寂照ヲ云。○夫カラ法ガアラワレテヨリ、無功ノ綿綿密密不斷ニ水モ入ラヌ寂靜ノ處ヘ入ルニハ、回互シ入りチガイテ傍ヨリ無位ノ處ヘ有位ヲ以テナシ、偏位ニハ正位ヲ以テ回互スル。板摺板摺ニアラズ、偏位ガ偏位アラズ、是回互シテ傍ヨリ參ズルナリ。夜半正明。○位ガアラハレ、功ガ立テ來タトキニハ、明歴歴トキラキラトアラワレテ、ソノ中

念ノ中悉知ル処ニアル。ソレヲタトヘバ、燭臺ヤ香爐ヲ一処ニ集テ鏡ニ作ルベシ。丙丁一全体ガ火デ又火ヲ求ル、佛ガ佛ヲ求ル。人々ガミナ般若ノ光明デ拄テアル。知ルモ知ラヌモ、コノ光明ヲ廣ク世界ヘ及シテ見レバ、天上ノ斗星ハ常ニ天上ヲ照シ、般若ノ光明ハ常ニ般若ノ光明デ、全体外ノ物ハナイ。

【上堂08】

△常寂一常住寂滅ノ処ニ居テハ死路頭ニナルカラ、ソコカラ照ヲ發シテ眉間頂相デ萬八千ヲ照ス。無功中常寂ノ処、功勳ノ働ハナケレドモ、ソコヨリ出テ生死ヲ示シ、迷悟ヲ説ク。顯アキラカニシテ、生ノ、死ノ、ト云沙汰ナヒ。其自位中ニ、涅槃ノ、誕生ノ、ト云功ヲアラハシ、綿密一常寂ノ処ハ綿ノキレヌ羊ニ、密ト風モ通ゼヌ生死ノナヒ境界、ソトデ居テハナラヌカラ、傍カラ回互シテ有ヲ無ト入カエ、明歴一歴ハ歴々ト同、キラ／＼トカ／＼ヤク白ハ。コレハ顯赫ノ句ヲ受テ云。其歴々ノ処ヲヨク見レバ、孤圓一デアアラワレタ上ガ其儘不可思議、偏中正ナリ。般ハ梵語、入ノ義。入般ト云バ、重説ノ様ナレドモ、梵漢并舉ルナリ。唯一一如來ハ出世モナク涅槃モナク、《4ウ》ニナク三ナヒ唯一清淨ノ法身デ本形ハナヒ。其レヲ以テ一切塵中ニ現ズルナリ。爰、

ニハ孤圓絶跡ニシテ、無ノ方ハアトガナイ。天曉不露ナリ。般ハ入ナリ、イル、梵漢并上タモノ。摩訶大迦ト同ク。○涅槃常寂ヲ云ハ、唯一、無二無三、唯一堅密身、法身ニ無相ナリ。○ケレドモ、夫レヨリ一切塵ト、報身化身ニシテ、法ノアラワレタ方ナリ。是ノ二句、寂ト照トヲ述ブ。

【上堂09】

○上堂。虚ト、一切諸法ハ虚空ノ中ニ包容シ、包ミ入レテアレドモ、萬像ガ潰トクサレチルコトハナイモノナクナラン、圓融門ナリ。○法ノアラハレタコトハ、盡大地カラ一切諸法ヲ突出シテ、ヒヨイト出テ、大地ガ一心ヨリ外ナク覆藏セヌ。○虚空トノ句デ法ヲ云、大地トノ句デ心ヲ云。○上ノ二ツヲ合シテ云。《Goto》上ノ一心ノ隻ノ眼睛ノ中ニ、盡十方界ガ明歴歴トシテ、只ダ眼睛ノ外ニ法ハナイ。大ヲ小ニ入レタ、以レ一爲レ多。○又タ、小ヨリ大ヲ出スヲ云ハバ、無邊無量ノ寶王刹ヲ、一微塵裡ニ露堂堂建立シ出スナリ。○刹ハ、刹竿云テ寺ノコトニナル。又タ塵刹ノトキニハ國土ナリ。○本地ノ初メ終リナイ風光ガ曾テ缺ルコトモ余コトモナイ、不ニ覆藏ニ故ニ。○情ハ大、識ハ小、計較ハハカリタクラベ處ノ及ブ處ニアラス。上ニ云フニ無ニ潰散ニ、○此ノ故ニ大地突出ノ方ハ、南嶽和尚ハ磨レカワラヤーハ、向去修證邊、○東平ノ仰山慧寂和尚ハ、鏡ヲ持テ居レバ法執法愛シヤカラ、破テ支廻タ。是ハ却來。上ノ虚空包容ノ方ハ法ヲ立セン。○是ニ付テ謂ツベシ、南

体用アリ。

【上堂09】

△上堂。虚空ト向カラ虚空中ニ一切ノ法ヲ入テラケレドモ、コノ法ガ潰散シテクサルモノデモ無イ。包容ガ空、潰散セヌ処ガ色。大地山河有法無法突出シテアルケレドモ、萬法唯心デ覆モ、カクシモセヌ。突出ガ色、一心トガ空。向フ色空相離レヌモノジヤカラ、一隻眼ガ、明ト眼デ、云トキハ眼ノ外ニ尽十方界ハナヒ。心ト云トキハ心ノ外ノナヒ。爰ハ小カラ大ナラシムル処。又、大カラ小ナラシムル方ライワバ、無量ノ寶王刹ガ一微塵ノ一念ノ中ニ、堂々ト、ノツシリト、ケ高クアラワレテラル。カウ大小圓融シテ、大ヲ小ニシ、小ヲ大ニシテモ、本地ノ風光、少モ欠テ少クハナラヌ。情識ト七情八識デ、物ヲ、コレハ大、コレハ小ト計較シ、ハカリタクラブルコトデハイカヌ。カウアル故ニ南岳磨レ博、坐禪シテ作佛ヲハカル時ニハ、修行シテ進ム方デハ向フ。又東平ノハ退ク方ナリ。故ニ破レ鏡ト磨博モ破鏡モ本来ハ一ツ。暫、南岳ハ無功ノ中ニ、迷アリ悟アリ、ト功ヲ立シ、東平ハ佛モ衆生モ位ノナヒ中ニ推シヒライテ、ナミヨク排列シ、一三級ト磨博モ破鏡モ轉

嶽ハ一ハ、無功ノ處ニ功ヲ立シタ。○又タ東平仰山ハ、無位ノ處ニ位ヲ排列シヲシヒラキナミヨクナラベタ。是レ破鏡ヲ云フナリ。○大衆ト喚デ、上ミ如此ノ此ノ様ナ手段、手ナミノホ(ホドカ)ヲ會シ、合點シヤウト思ガ、○三級ハ三ツ品。○功ヲ立スル方ハ、三級一、有功無功、有位無位ト云三級ノ處ニハ佛ハヲラヌ、浪高シテ魚龍ト化シテ《S25》支舞タ。○サテ又タ排位方ハ、癡人一、有位無(爲脱カ)有功無功ノ處ニ魚ガイマダイヤウカト思テ、愚癡ノ人ハ尚ヲ夜塘水ヲ辱デ、ココガ佛ノ住處、法ノアル處ジヤト思テセセリマワシテ、中中ソコニヲラン、ココガ本位ジヤ。

【上堂10】

○佛生日ハ、名義集・因果經出ル。○今日誕生ノ釋迦ナレバ塵ト塵ト相對シテ穢物ナシ。娑婆ノ塵土ニ生ジテ處トモ、塵ニ曾テ塵ニ染マン。六塵不レ惡、還テ同ニ正覺。○ナゼ染マンナレバ、元ト一體デ以レ水一、法性水ト法性水トガ洗フモノデナイ、心空水ガ性水ヲ洗コトハ無イ、コレ金不レ易金一、元ト穢ナシ。○ナゼソウナレバ、如來ノ體ハ同一法性ナモノジヤカラ、本ヨリ然トシテ摩耶ノ胎ニ來生シ、兜率天ヲ去ルニアラズ。去來ヲ絶シタ佛ジヤ。○用ハ、如來ハ習氣ガ拔切テ萬德圓滿シテ、諸緣ニ合フ八相ヲ現ジタルナリ。五十二類畜生ニモ合タジヤニ依テ、今日兜率ヨリ摩耶夫人ノ胎ニ神ヲ降シテ、今日誕生ノ身ヲ現ジ、報身化身ヲ現ズ。○ソノ現ズルノ浦ガ一示テ、心意空ノ體ヲ示現スル。浦ト表ト二

凡入聖デ、三級躋過ノ修證ハアルケレドモ、ソレニ染汚セラレテハナラヌ。悟リハ無キニシモ非ズ。奈第二頭ヲト同シテ、其イラヌ物ヲ持テテアルハ癡人猶一。

【上堂10】

△佛生日ノコト、諸經ニ所説、二月トモ四月トモアリテ定ラヌ。此不定ガ佛法ノ妙處レ也。一處塵。先ツ假リニ八相成道ヲアラワシテ、塵ニ処ニケレドモ、實ニ佛ノ境界ニ八相ハナヒ。出生ノ後八功德デ、難陀龍王カ洗ケレドモ、本佛ハ法性水ニ浮テ對待セヌ故、以水如何洗水。刀ガ刀ヲ切ルモノデナヒ。塵ト塵トニツナク、《5オ》淨穢ニツナヒカラ、洗ヘルモノデ無ヒ。元同一生ノ境界ジヤ。コレ迄ハ体、コレカラ用ヲ云。其同一性ノ体ニ萬德ヲ具テ、八相成道ノアラユル諸緣ニカナフテコザル。故ニ、先ツ降神ト、兜率天カラ神ヲ摩耶ノ胎内ヘ下ス。神ハ聖人モ知ラレヌモノ。誕生ハ今日ノ出胎也、誕生アレバ灌浴スル。一七歩ハ七覺支、周行一めぐリ、不迷方、久遠実誠(久遠実成ノ誤カ)ノ路ニ迷ハズ。摩耶一

ツ無イ。《SṢD》○サテ、ソノ誕生シテヨリ行コト七歩、ソノ一歩一歩ノリ三千ニ迷ハズ、全ノリ法ジヤ。○絶去來、體ハ天上デモ人間デモ巍巍トヌケ出テ、獨リ尊ト稱シ名ノリ出ス。○摩耶ハ梵語ナリ、此ニ幻ト翻ズ。○今日生ズルトキニハ、摩耶ノ胎ノ漆桶、忽然ト脱シテ出ラレタ。ソノトキニ、難陀・跋難陀龍王ガ、一温一涼ノ水ヲ以テ灌浴ス。摩耶、天ニシテ三善道ノコトニナルニ、龍ハ龍王ナレドモ、畜生道ニシテ三惡道、シカレバ六道共ニ佛光明デササヘタ。○鼻ヲ穿ツト云ハ、人ヲ遣フコト、元牛ヲ使ヨリ出タ字ナリ。

【上堂11】

○解一、今日解夏ナレバ去ニアイ似テ、盡大地皆送行ナレバ一モ又タ住セズ、カレモカレモ送行、獨リバカリデ無ク、箇箇圓一缺シテナイ。上ハ佛ヨリ下ハ衆生迄、共ニ一枚ニシテ礙ナイ、ミナ解夏。○結夏ハ來ルニ相似シテ、一切ノ千差萬別ノ異法モ、亦タ無間デヘダツルコトハ無イ。法ニ自法他法、共ニ一枚ニシテ礙リナイ。○解入結制スルトキニハ、○結夏ハ、把一スルトキハ、六凡四聖人間畜生モ同ク居シテ、一ツ拳シヲ握ルガ如ク五指ガ一ツニナル。《SṢD》中央大日ノ知拳印ナリ。○又タ今日送行ナレバ、放行スルトキニハ、東西一、各各位ヲ分チ、五指ヲタテ開クニ似リ。五知五佛五鉢ノ杵ナリ。○兄弟ハ傍句ト云。兄弟ト喚デ、孟初ノ夏ニ窟ヤ籠ヲ構テ、六凡四聖同居スルナリ。○今日ハ初秋、

漆桶ハ胎ヲ云。難陀ハ佛ノ兄弟ヲ云ト云説アリ、不取。爰ハ空中ヨリ龍王ガ一温一涼ノ香水デ灌ク処ヲ云。趣意ハ、時節因縁ノ感ズル処デ、上、佛母毘盧頂ヨリ、下ハ難陀ノ畜生道ノ鼻頭迄、一穿ニ佛ノ光明ヲ逃ル者ワナイ。弁道話ニ、遍界佛印トナル、ト同ジ。

【上堂11】

△上堂。一也タ不住一異也タ一異有無ノ四句デ法ガ尽ル。爰モ一ノ処ニ有ヲ兼、異ノ処ニ無ヲ兼テ云。先今日ハ送行ジヤカラ一モ不住、去ル時ハ皆去ル。獨リ斗リデナヒ、箇々皆走ジヤ。異也、又他所ヘ往テモ異ノ別ナコトハナヒカラ無間。法ハ一法デ礙リナヒ、コレ無ニナクナリテモ無間ナレバ、畜生ニナリテモ佛ニ成テモ法ハ一法、カワリハセヌ。把定一コレ異也タ無間ノ処、迷悟一界ニ安居シテ法界定印。放行一也タ不住処、東西南北ノ時ハ物開テクルカラ、五指ニモ五佛ニモ五方ニモ五智ニモ、コノ五ヲハツレルモノナシ。兄弟二字、傍句デ切ル。孟夏、初秋、上句把住、下句放行。一坐臥一結制ノ中ハ坐臥ノ定テ道理アレドモ、解制ナレバ大千界ニ往来シテ其処一デ自由シ、清風ノ寶ト明月ノ主ト、

布袋ノ口ヲ開テ皆ナ送行スルナリ。此二句ニ體用動靜アリ。○ソノ孟夏ト初秋ノ中間、兼中至ノ九句、作麼カ履踐シフミフムカ。○今日ハ解制ジヤカラ、坐臥經行ヲヤメ、往來スルガヲモジヤカラ、坐臥一、意ハ、體ハ不レ圖ニ作佛ニ豈一ジヤカラ、我事ニアラズ。○只ダ秋ノ初メナレバ、行處、清風モ明月モアリ。到ル處最モ自相宜シ。是レ法ノ用ナリ。十方世界ミナ我ガ全身。清風ハ賓ナリ、明月ハ主ナリ。

相見シテ何デモ宜シトナリ。

【上堂12】

○上堂。向去ヲ云バ磨一、却來ヲ云トキニハ、以テ一、磨夕處ノ鏡以テ萬像ヲ鑄レバ、光何處ニカ居ス。照盡體無依ナリ。○磨レ博ノ句ヲ受テ、共ノトキニハ盡界ヲ拈來テ坐一、向去。○又タ以レ鏡ノ句ヲ受テ、ソノ今迄ノ坐團モ、モハヤ放下シテ掛一、是却來ナリ。○コレニ付テ記得ス、嚴陽尊者ハ嚴陽山ノ《526》禪心和上、一物一ト云ガ、シタタカ持來タカラ、○放下著ハ放下シテカラト云。○嚴一、○擔取一、ニナイモチサレ。○嚴陽道ノ一物、既ニ不將一放一ト一セント云ハ、拾得ノ歌ニ、「拂ベキ處モナキニ箒木ヲ持心コソ塵トナルラン。」○趙州道ノ放下著、寒山ノ返歌ニ、「拂ベキ處モナシト云フ塵ヲ拂ンタメノ箒ナリケリ。」○師云、趙州道ノ有モ無モ共ニ放下著ノ處ヲ委曲ニ合點セント要ヤ。○佛子ガ一物不將來ノ空不空ノナイ此地ニ住シテ、ソウスレバ即佛ノ自受用トス處、寶藏自開テ受用如意、不是ハナイ。ソノ受用ハドウナ

【上堂12】

△磨博一、向去門ヲ云ヘバ、一惡未断ノ無明業識ノ博ヲマシテ作佛スル時ニハ、第六天ノ磨王(魔王ノ誤カ)ガ成佛シ、又却來門デ云ヘバ其鏡ヲワリ、今迄磨キ立タラクラマシ、佛界ヲステ、衆生界ニ入ル一磨博ノ方デハ《5ウ》尽界ヲ蒲團トシテスワリ、却來デハ放一ト蒲團一シテ、何ニモ立セヌ。此ノナンニモ立セヌニ付テ、思ヒ出シタ。尊陽一名ハ善信ト云人。不將來ト云処ヲヨク合點セ子バナラヌ。有無ニツ共ニ持テコヌデナケレバナラヌ。擔取去レ、持テコヌト云モノヲ放セヨ。此公案ワ古歌デスム。寒山持レ箒、拾得ノ歌ニ、「掃ベキ處モナキニ箒ヲ持ツ心コソチリトルナラン。」返歌ニ、「掃ベキ處モナシト云チリヲ掃ワンタメノホウキナリケリ。」佛子住此地一放下著ト云処ハ佛子ノ住スル處、佛ノ受用スル處ワ佛子ノ受用スル處ナリ。其受用スルモノハ經行一其中ト云ハ上ノ此地、此地トハ不將來ノ處ナリ。「踏ニ跡ナキ夏ノ夜ノ霜」

レバゾ放下著、不將來ノ處ニアツテ經行シ坐臥シ、今時空遠ニヨ  
ラス、常ニ其中ニアリ、脱落心身トナシテアル。

【上堂13】

○上。登トハ、先ツ登ルナラバ其ノ頂ニ至ルベシ。○ソノ頂  
ニ到ラザレバ、上天下地古往今來ノ宇宙ノ廣コトハ知ラレン。○  
大海ニ入ルナラバ、其ノ底ニ到ルベシ。底徹セザレバ滄一、大海  
ノ深キコトハハカラレヌ。○兄弟、法ニ入テハコウスレバ法ニ悟  
通シ、迷テ法ニ塞ガルト云コトヲ辨ズベシ。○辨ゼザレバ《Gsta》  
脱落ノ道ヲ得ルコトハナラヌ。○登山ト云ニ付テ記得一、○游山  
シ來ル。是任運ニ日ヲ送ル底ナリ。○闍梨ハ軌範トホンス。○頂  
到ラズンバ争カ深固幽遠無人能到ト云コトヲ知ルモノデナイ。○  
某甲住スルコトヲ辭セズ。西天一、佛ガヨ（ユカ）ルサン。空門  
無相門無願門、此三解脱ニトドコウルハ法ノ究極ニヲチイル。佛  
在テヨリ已來ハ、山ノ極ル處ニ不住ト示、頂ニ住シテハナラヌ、  
住スレバ頂墮ト云。碧岩ニ雪竇ノ云ハ、孤峯頂上草裏ニ坐ト同ク、  
○ココニ頂モシレヌ山ガアレドモ、一片ノ白雲ガ谷ニ横テアル。  
シヤカラ幾毎ノ歸鳥ガ悉ク巢ニ迷テ、山ノ路ヲ知ラヌ、ソレダニ  
依テ、朝出夕鳥ガ暮ニ歸ル處ノ巢ニ迷。十界ノ衆生コノ山ヨリ出  
デルケレドモ、暮ニ迷テ五道ニ輪転シテアル。不動ノ青山ヲ奥ニ  
シテ云フナリ。

【上堂14】

【上堂13】

△登山一上ニ向テ修スル時ハ山ノ頂上迄極メ、下ニ向テ修スル時  
ハ大海ノ底迄モ徹シトヲリ尽シテ極ル。徹ハ、通ト同。通塞ハ、  
向フ修スレバ通スル、カフ修スレバ塞ルト云コトヲ辨シタガヨ  
イ。脱落ハ解脱ト同ジ。遊山來ハ迷悟ニ用ナヒカラ遊山シ來  
一不到頂ト云誠。逆ニ落シテ一西天有一頂上ニ住シテハナラヌ。  
コトニ住スト孤峯草裏漢ニナル。  
一片、奥山ノ頂ニハ白雲ガ一片ヲフテ高イ共ヒクイ共見ワケラ  
レヌ。佛モ足ムケノナラヌ処。許多皈鳥一本コノ山ノ頂カラ出タ  
レドモ一念了簡違シテ古ル巢ヘカヘル路筋ヲ踏ミ迷テシラヌ。

【上堂14】

○四念處ハ舊譯ナリ、四念住ハ新譯。○大論ニ身ハ是不淨ト觀ズトハ、本根不淨、生處不淨、身内ニ三十六物ノ不淨。如來ノ四念住、事考ニ後分涅槃經ヲ引テ出ス。○永平モ亦タ有ニ四念處。觀ニ身トハ、是皮袋本根不淨。受ルコトハ無底ノ鉢盂ト觀ズ。《527b》モテキ次第ニ受込ムケレドモ、無底一枚ニ善惡ヲモノトスルコトハナイ。○心ト云モノハ生死ニアラズ。内デ云ヘバ牆壁、外デ云ヘバ瓦、心ハ初ヨリ無心ナリト觀ズ。○法ハ公、張公ハ則天皇宮ノ臣下ナリ、李ハ則天皇宮ノ姓ナリ。一切ノ法ガ皆ナ依レ他起生ナモノナリ。丁度張公一如ク、化ニヨツテ因ヨリ生ズ。法ハ生ナク滅ナク起ルモノナリ。因一空ナリ。○盡一人體云テ、身ヲ云。有モノコラズ無モノコラズ、大般若、非身ノ故ニ大身ト云如ク、○受込ム處ハ大海ノ如ク百川衆流ヲ受込ム、サリキライハ無イ。○心ハ山川一辰、皆是ナリ、三界唯心ナリ。○法ハ一物ニ似タリト説クモ即チ不レ中、有デモ無ク無モナイ。若心有住即位非住。○諸心數ハ、上ノ四ツノ佛ト、祖師ノ四ツニ不レ涉、向上ノ一。○一念一四川ノ數數ヲ數ヘズトモ、一念ノ上ガ無念ナリ。念念、一念一念ガ不住ナモノジヤ。此處ハ只ハ知ラレヌモノジヤカラ、參、坐參究理シテ知ルガヨイ。

【上堂15】

○一毫一トハ、一ツ毫ヲ以テ衆穴穿チ貫ヌク。一心ヲ以テ萬法ヲ修行スルナリ。○ソノトキニハ大地ニ遮攔《528a》ト云テ、サヘ

△永平廣錄四卷ニ出テアリ。身ノ不淨觀ハ淨顛倒ヲ破ス。受ノ苦觀ハ樂顛倒ヲ破ス。心ハ、朝カラ晩迄、一ツモ常ハナヒ。是ハ常顛倒ヲ破ス。法ハ佛ヘ持テイケバ佛ニナリ、衆生ヘ持テクレバ衆生ニナル。ナニトデモナラヌト云コトハナヒ。我顛倒ヲ破ス一皮袋ニ一ナンニモナヒ。引ヨセテ結ベバシバノ庵リチリ一ツ破レルト手ガ付ケラレヌ。鉢盂ハ無底デ生レテヨリ死ヌル迄コレギリト云コトガナヒ、大海ト同ジ。牆壁コレハ《6オ・ウ》一丁、欠。

欠

ギリサヘギルコトガナイ。總ジテ罣礙ナシ。○此ノ道理ヲ時デ云  
 バ、古今本ト好嫌向背迷悟サカイガ無い。○罣礙ナケレドモ、手  
 ヲ付ヌト云コトデナイ。縦一、把住放行シテ更ニ休歇セヌ。○順  
 ニ入ルトキニハ、佛土ニ向ヘ游戲スルトキモアル。○逆ニ入ルト  
 キニハ、魔宮ニ入ルトキモアル。是レ縦トユルシ、奪トウバフヲ  
 云。○佛土游一シ放ストキニハ、平坦、タイラカタイラカナル處  
 ニ過ギ、○逆ニ魔宮ニ入ルハ臥荆一、身拔ガナラヌ。荆棘ハ金剛  
 部、逆ナリ。平坦ハ蓮花部、順ノ方ナリ。○卓ハ、ツクイトヨム。一  
 本足アル者ヲ皆ナ卓ト云ナリ。卓立ト云トキニハ獨立ナリ。ソ  
 ノ處ハ佛土ノ平坦路ト云タモノカ、魔宮ノ荆棘林ト云タモノカ、ド  
 ウシヤ。○誠(試カ)ニタメシニ道ヘ看ン。若シ坐蒲團ヲナラヌ  
 落處ヲ會得セバ、許一<sub>ニ</sub>眼。○若シ不然シルマイナラバ、身ニ付テ  
 寒暑生死ガ有テ、君ガ壽ヲヲシヘテヤルデアラウ。○鬼ノ惡ト神  
 ノ善ガ有テ、君ガ福ヲ嫉デ邪魔ニ成テ成就サセヌナリ。善人ノ亡  
 魂ヲ神ト云、惡人ノ亡魂ヲ鬼ト云。

【上堂16】

○隔山一火ナリト知ル。隔垣一牛ナ(リ脱カ)ト知、是レヲ相(5280)  
 貌見ト云フ、又タハ了了見ナリ。見レ影知レ形、因ニ小分ニ知ニ全分。  
 是レヲ荷澤ノ神慧(會カ)和尚ノ云ク、知ノ一字衆妙ノ門ト云フ、  
 是ナリ。○知ハ本知ナリ、正知ナリ。智ハ修シテ治ル智ナリ。○  
 ソノ見テ知ル知ヲ云ハバ、春ハ自ラ百花ガ明明トサキツラナル。

欠

誰カ是ヲケシカラヌト疑フモノハナイ。是本來心。○聞テ知ル方ハ、秋ハ清風一、此ガ祖師ノ大道ナルコトヲ悟ルベシ。○虚空ハ萬法ノ根元ナリ。見知モ聞知モ内ニモノハナイ。虚空ガ六根六塵ノ根本ナリ。故ニ楞嚴ニ合而有知ト云、是ナリ。○颯ハ風ノ聲ナリ。○森羅サカンニツラナル、是ガ萬境ナリ。春ノ百花、秋ノ清風ナリ。○是等ヲソノ根ト境トクラベテ見ヤウナラバ、尚一心鏡ノ上ノ痕ノ如シ。根ハ無法、境ハ有法、故ニ二ツ共ニ止メヌガヨイ。○此ノ自心ノ明鏡ハ、元ト空ノ有ノト云フ疵ハナイ。畢竟ハ一如ノ、三藏法數ノ六ニ註シテ曰、畢竟ハ猶ニ決定ニ也、究竟猶ニ至極ニ。○畢竟ハ決定之辭也。體悉、肇論ノヨウ刃(肇論新疏遊刃カ)ノ上ニ、體ハ猶會也究也。玉篇ニ體ハ明、悉ハ字彙ニ詳ニ盡也、究也、知也。○萬ノ古ヨリ碧ニスン《529a》ダ爾潭ニ、空海ノ月ガ沈デラル。此方ニ六根ガ、向ノ六境ニウツル、沈デラル。永平ノ云ク、深キコトハ高キ分料ナルベシ、虚空界ノ高イホド、下ヘモ沈デラル。上デモ下デモ寸長尺短ノ定マラヌコト。○此ノ道理ヲ再三撈攬トコシテ、始テ上ハ無上、下ハ甚深ト云コトヲ知ルデアラウ。

【上堂17】

○閉一トハ、二月初一日僧堂内閉爐。此ニ日本ニハ三月初一日ナリ。有時ニ二義アリ。一ニハ佛ノトキニハ淨ナリ、衆ノトキニハ不淨。○アルトキニハ、開爐ノトキニハ口ヲ開テ般若ノ大火焰ノ

前半欠

如ク炎熱ヲハキ、有無共ニヨツテ付カレヌ起用トキモアル。○今日閉爐ノトキカラハ爐ノ頂ヲ覆テ寒灰ヲハカル。○ツモリ歸レ體、不思善不思惡ジヤ。○開ク方ハ、此ノ爐竈ハ世界ノ廣サノ如ク、世界ガ一丈ナレバ此爐モ一丈、世界ノ量ニ應ズル。地獄心天堂衆生心ヲ起セバ、地獄天堂衆生心ニナル。○又タ、覆頂ノ方ハ、一面ノ古鏡如ク、スリミガクコト無イ、法(拂カ)式ノ手段ヲカラシ、心鏡ノ如ク、地獄モ餓鬼モ皆ナ持テアル。○夜半ノ三更ノマツクラナルトキニ、靴ヲ尋テ穿チ《529b》ハキ去タ。夜半ハ正位、穿ノ去ハ足元ガ知レテ偏ナリ。列子ニ穿ハ、ハクト訓ズ。正偏ニツニカタヲチン、カウシタ火爐ジヤ。○天明ノヨアケニ帽ヲ戴テ歸ルカラ面ガミヘヌ。男トモ女トモ見定メナガラヌ。天曉不露ニシテ偏中正、正位ニカタヲチン。コレニ位ヲ全スル、コレガ火爐ノ全體ジヤ。

【上堂18】

○槁トハ、人人今日ノ質ハ四大ヲ離レテ見レバ枯木ノ如ク、身是レ身ニアラヌモノジヤ。○心モソノ通り、朝ヨリ暮迄分別ヲスレドモ、一モ止ラヌモノナリ。故ニ寒灰死灰ノ如ク、思量分別モナク、念念無念ナルモノナリ。是迄ハ死ヲ云、心身脱落ナリ。○又タ活シ來レバ眼ノ霹靂ノ如ク、キラキラトシテ鼻孔纒垂トツラヌキ下ツテアル。死中ニ活ヲ得、脱落ナルモノヲ身心トシテモチイテ自由スル。○此ノ道理ヲ把定シ、トリ定メテミレバ、槁木ノ

《7オ》一穿ハ列子ニ、ハク、トヨマセテアリ。夜半ハ夜中一切ノ諸明ヲカラヌ処デ、鞋ヲ穿チ足下ガ見ヘル。又、天明ニ帽デツムリガ見ヘヌ。佛ヤラ衆生ヤラ定相ガ知レヌ。コノ般若色空ガ佛ノ一大藏經也。

【上堂18】

△槁木一今日ノ境界ハ槁木デ、ナンデモメラ出ス道理ハナヒ。四大皆本ヘカヘス時ニハ槁木ジヤ。心ハ死灰、念々不生ナモノ。コレデイワズニ身心脱落。ザルデ水ヲ汲ム羊ニ手ニ取ルモノハ無ヒモノ、コレハ法ノ体。又法ノ働ク処ハ眼睛霹ト、キラ／＼シテ善ヲ見テハ善トヒキ、惡ト見テハ惡トイヒク。鼻孔モ其通り把定シテ槁木ト取りテ定テミレバ、山ニ山ナクコレト云モノハナヒ。放行シ眼睛一全手が其俛脱落。コウシタ時ハ動靜一了然、皆不生

如ク死灰ノ如クニシテ、萬象ニ象ナイモノジヤ。色即是空。○放  
行シテ無手ニシテモノ無イ。ソレヲ全手トシテ用ル。空即是色。此  
ノ放一ノ句ハ見ニクイカラ回互シテミルベシ。無手ハ上ノ無象槁木  
死灰ニカカル、《Sōga》全手ハ眼睛一鼻一ニカカル。○カウシタ  
コトジヤカラ、動ノ眼(全身)一鼻一モ、靜ノ槁木死灰ノ無手ノ

二相、共ニ了然トシテアキラカニ不生ナリ。空ナク不空ナイ阿字  
本不生ナリ。然ルニ什麼ノ法ヲ聞タモノジヤ。○今日上堂ノ時節  
ニ地ニ立テ、大衆ハ、義雲ガ上堂スルハ所ナリ、ソレヲ聽人人ハ  
能ナリ、上ニ云フ通能所不生ナラバ、什麼ノ法ヲ聽タ。此ノ什麼  
ト云ガ肝要ジヤ。○證契一、上ノ通り心ハ能ノ人人ノ手前ニナル、  
不生ナラバ什麼心ヲ證契シタモノジヤ。コノ道理ノ還テ落著ノ處  
ヲ委曲ニシラント要ニ心掛ヤ。○朝サ起ヨリ容ヲ動カシテラル。ソ  
ノ儘デ佛祖ノ未ダ到ラヌ向上ノ古路ニアガツテラル。○動容ハ全  
手萬象ナリ、古路ハ無象ナリ。○古路ニ上ツテヨリハラレドモ、  
悄然ノサビシイキニハ落ヌ。正中偏、偏中正ナリ。

【上堂19】

○佛涅槃ノ上ニ向テ算ヘテ見レバ二千餘白ニナル。白ハ年ナリ。  
○ソノトキヲ思テ見レバ、涅槃ジヤカラ、花モシボミ風モ悲ムケ  
レドモ、不生不滅ノ道理ガアル。風悲ム直下ソノママ、今日ノ一  
念ガ昔ノ萬《Sōga》年ジヤ、萬年ガ一念デ、今日ニ至テ雲水衆ガ  
如來ニ捨ラレテ慘ミ咽ブ。○常住涅槃ノコノ道理、ココガ佛祖不

デ、「墨画ニカキシ松風ノ音」ジヤ。聞什麼法一心地ヨリ外ノコト  
ハナヒ。動容一見聞ニ渡ルサワガシイ処ノ心ガヤハリ正位ノ古路、  
シヅカナ佛祖モ往來セヌ処ニ、揚テアルト云テ、又悄然トサビシ  
ク古路ニ沈デモ居ラヌ。

【上堂19】

△向上一先、上ニ向テ見レバ佛ハ二千年前ニ涅槃ニ入り玉フ時ニ  
ハ花ヲ見テモシボミ、風モ悲ム。其レガ今日ニ至テ、直下、其儘  
二千年前ノ一念ガ今日ノ萬年デ、去テ不遠、來テ不近、雲水モイ  
タミムセブ。不傳、上ガカクノゴトク、カリニ涅槃アレドモ、不  
傳ノ一路ハ釈迦出世ノ前カラ具テ、涅槃デモナクナラズ、出世デ

傳ノ一路ガアル。○是ハ千聖モ如何トモシガタイ處ノ一路ナリ。○千聖モイカニトモセヌ法ナレドモ、人人付嘱シテ有ルアリ。○付ハ手ニ物ヲ持來テ、嘱ト云ヘツゲル、人人ノ手前ニアル。○諸人ヨイ佛道ノ便宜ノテヨリ、手近キニ宜ヲ得テヲ得ヌモノハ一人モナイ。○所以ニ如來ノ曰ク、若シ滅度ト云ハバ斷見、不滅度ト云ハバ常見外道ナリ。大衆生喚カケテ、コノ空劫今時斷常ヲハナレタ釋迦ニ相見セント要スヤ、ト云テ拂子ヲ豎タ。此ノ拂子ハ斷常古今ヲハナレタ、所取光能取光ヲ離タ拂子、已ニ釋迦ニ相見シ了ル。○畢竟一、如來ハ入寂セラレテヨリ後ニ、迦葉尊者ガ行カレタレバ、雙足ヲ出サレタ。是滅不滅ニアラヌナリ。是斷常ヲハナレタ不生不滅、妙不可思議ノ道ナリ。

【上堂20】

○結夏上堂。一繩墨ハ規矩法度ノコトニナル。大工ノ墨坪ノ糸ヲ以テ曲木ニ墨ヲウツテスグニナル。○九句ノ繩一、規矩法度ハ長期短期ニアラズ、數量ヲ《SIA》コヘタ法ノ體ヲ云、安居ノ處ナリ。○長短ハ、涅槃經ニ長期百二十日、中期百日、短期八十日云云。上中下根ノ安居ノ法度ナリ。○ソノ繩墨ヨリテ、曲木ヲ繩一ヲ以テ、ソノ曲ハ曲様ニモチイ、直ハ直ノ様ニ縱横自由ニスル處ノ功業ノツトメ方ガ有テ新ナリ、珍敷イコトガア(ル脱カ)、用ヲ云。○夫レカラ此ノ安居ノ内ハ、大衆ノ木馬泥牛ガ混雜シテ安居スル處。○只ハヲラヌ、木馬ハ春風嘶ヒ、泥牛ハ秋月ニ吼テ、精

モ増サヌ。付屬一我レ人ノ手前ニ流付シテ、一切ノ人、コノ一路ノ便宜ヲエヌモノハナヒ。一滅度トイヘバ外道ノ斷見、非滅度トイヘバ凡夫ノ常見。一豎拂子一拂子ノ上ニ釈迦モ弥勒モアル。一礼雙足一、涅槃ニ入タ釈迦、雙足ヲ出スナレバ、滅ガ滅テナヒ。迦葉ノ方ニモ佛ノ方ニモ滅不滅ハナヒ。

【上堂20】

△九句一繩墨、規矩ノコト。規矩ノ中ニ入テ居レバソノ羊ナモノデモ曲直ガナラル。『大論』ニ繩墨ハ蛇ヲ竹筒ニ《フウ》入テ置ク羊ナモノトアル。増減ナヒカラ非長短。曲レルモノハ曲ル様ニ眞直ノヨニ、タテニモヨコニモソレ一ニ用テツトムル功業出来。其安居中ニハ色々アリ。木馬ハ清風ニ嘶キ泥牛ハ明月ニホへ、祖翁ノ心田地ヲ力耕シテ親クソマツニナヒ羊ニスル。摩竭佛ト達磨ト同意乎、別意乎。一粒ハ正因佛性ナリ。荒田ハ五塵六欲ノ中ニアリ、不耕一度同光返照サヘスレバ、自ハナサク。其秀ク因縁時節ヲ取ハナサヌ羊ニスルガヨイ。

ヲ出シテ力耕トツトメ耕シテ、佛祖傳來田地ノアレヌ様ニスル。  
新ク人手ニカケズニスルジヤ。○如來ガ摩竭陀國ノ石室ニ入テ、  
室ヲ掩テ九旬坐夏ナサレタ。○達磨ハ少林ニ九年面壁ス。有什一、  
ドウシタココロガアル。○正因佛生(性カ)ノ一粒ノ米ガ、五塵  
六欲ノ荒田ニ有ル。○有リハアレドモ塵ニ染マズ、時節因縁デ耘  
ザルニ苗ガ自ラ秀ク。夫ジヤカラ九旬安居シテソノ一粒ヲソコネ  
ヌ様ニセヨ。正縁(因カ)佛生(性カ)ノ一粒サヘ損セネバ、結  
果ハ自然ナリ。

【上堂21】

○上堂。上ニ向テ千聖ハ千佛萬祖ノ諸聖ノ慕フベキモナク、面目  
ニ闍梨ナイ。下ニ向テ己靈ノ重ンズベ《531b》キモナイ。此間ニ  
無老僧、内外心盡、表裏情亡ズル時節ナリ。○此ノ境界ニナツタ  
トキニハ全體般若ニシテ、虚一色、空即是色、夜半正明。○大地  
一、色即是空、天曉不露。二ツ無イ、元ト一法。○今日ハ夏ナレ  
バ、時ニ南風ノ薰風ガ林ヤ岳ニ生ジテ、五月頃梅ノ熟スルトキ、  
分フル梅雨ガ簷頭ニシタルガ如ンバ、○却テ一、世俗諦ノ色塵  
トシタモノカ、ナントシタモノジヤ。○却テ勝義ノ虚空トシタモ  
ノカ。○梅雨薰風ト云ニツイテ證據ガアル。古人トハ、雲居ノ膺  
禪師雨ゴイノトキニ、雨何レヨリ來ルト云。梅雨ガ頃シモフツタ  
ガ何レヨリ來ル、薰風ガ吹ク、又タ何ノ色ヲカナス。空即是色、  
色即是(空脱カ)ヲ云。斷ハ定也ノ吟定マルナリ。○判斷一。○色空

【上堂21】

△無諸聖一上無攀仰、面前無闍梨処、下句デ、下絶己窮、此間老  
僧処一コレ内外心尽夕処、時、空色ニツナシ。一大地一色即是空  
ノ処、今日ハ先結夏故ニ薰風一コレヲ色トセンカ空トセンカ。雨  
從何一、來処ナケレバ色即是空。風作一、風ニ色ハナケ子ドモ空  
即是色。轉語一轉ハ有ト取ラマヘテ居ル処ヲ無ト轉ジカヘサセル。  
卓柱杖ノ処デハ色共イワレヌ処。

今一、色空有無ノ蹤跡ガナイ。両箇ノ泥牛鬪テ入レ海ノ句ナリ。

【上堂22】

○新役ト舊役ナリ。○維那ハ梵漢ナラベアグ。維ハ綱維ナリ、唐ノ詞ナリ。那ハ竭摩陀那ナリ、此ニ悅衆ト翻ズル。○鉗一、鉗ハカチハサミ、槌ハツチ。維那ハ當人此鉗一ヲ掌ノ中ニ轉ジテクラシテ、所ニ隨テ確ヲ打ち、何何ト斷ル。ソノ一槌下ニハ、有ヲ推キ《532a》無ヲ摧キ、是ハ掃倒門ナリ。○其ノ鉗鎚下舉唱スル處ニ佛祖來テ、此ノ様ニ模則ノ規則ヲナシ、様式ヲナス。是ハ扶起門ナリ、第二義門下テ扶起門モアル。○今日新役ノ維那ハ朝一進レ前、功勳ノツトメラナサル。○又タ舊役ノ維那師ハ暮打一退後シテ本位ニ付カレタ。○此ノ様ニ新舊ガアレドモ、ヤツハリ絶待デ對待ガナイ。舊ガ前、新ガ後ト云フコトガナク、前後際斷デ舊新ノアイダガ斷テラル。○爲一、ドウシテ箇ノ新舊絶待、對待ノナイ際斷ノ、二ツ無イ通路アル。○ソノ道理ハ新ノ偏、舊ノ正、二ツナイ。共ニ離ニ本位ニ摧レ有摧レ無、正位モ作レ模作レ様、偏位ト兩位ガ曾テ本位ヲハナレヌナリ。○ソノ無生本位ノ中道ハ何ゾドウシテ因ト縁トヲ談ズルニ涉ルコトハ無イ、新舊前後ハ無イ。

【上堂23】

○松一、諸方歴然ノ現成公案ヲ云ハバ、松ハ自ラ直クツダチ、棘ハハ自ラ曲レリ、人ノシタコトデ無イ。自然ノ曲直非ニ曲直、示ニ常住法體。○示ニ變態因縁ノ用一、方ハ、日ハ暖ニシテ霜ヲ消シ、アタタカニ

【上堂22】

△謝新舊一。鉗ハカジバサミ、此レハ付字。槌ハ維那袖ニシテ居ルナリ。一凡夫ノ忘有(妄有カ)ヲ摧キニ乘ノ空無ヲ摧キテ見レバ、アトハ中道一模様ハシカタナリ。朝打一、今日向ヘ進レ位人ハ朝打一デ功勳ノテガラヲ成シ、退位ノ人ハ八百ノシワザヲ退キ本位ニ安住スル佛祖ヲ超タ処、正位ナリ。コノヨウニ功位分レテモ對待ハ無ヒ。ナゼソウジャ。進ム偏位ノ人モ退ク正位ノ人モ正正ナラヌ兼中到ノ一位ヲ無生デ、進モナク退モナシ。ソコワ何ゾ。進ムノ退クノト云因縁ヲ語ルニハ及バヌ、其処カラ出テ進退スル也。

【上堂23】

△松自直一人ガ直クセ子ドモ自直ク、世間相常住デ迷悟ノサタハナヒ。日暖一コレ佛ノ出世モカラズ、祖師ノ西來モマタズ、是法住法位、コノ時一靈ノ性ハドコニアル。松ノ直イ処ニモ日ノ暖ナ

シテ一物ヲソダツル、恩徳。月ハ冷ニシテ夏ノ炎天ニモ露ヲ《532b》結デス。ズシフナル、是レ斷徳ナリ。ミナ用ナリ。○ジヤカラココニ一靈ガアツテ、有無正偏ニ落ズシテ常住ナル性ガアル、是ハ何ノ處デ見タモノカ。松直カ棘曲カ、暖日カ月冷カ、體ニアルカ用ニアルカ。○ソノ一靈常住ノ法ハ是レ平等ニシテ、高下有ルコトナイ。隨縁ハ自曲リ自直ク、日ハ暖、月冷ニシテ優劣ハナイ。松ハ體直ハ用、棘ハ體曲ハ用、日ハ體暖ハ用、月ハ體冷―結ハ用、共ニ平等ニシテサリキライハ無イ。○扱テコノ一靈心ハ一理齊平ニシテ不變ニ、松ハ松ナリ棘ハ棘ナリ、日ハ日ナリ月ハ月ナリ、物ニアラヌ物ニシテ曲直寒温ハナイモノジヤ。○一靈常住ノ體ハ深山ミヤマノ奥ニ、大石モアリ小石モアリ、ソノ石頭滑ニシテキラキラト○ウツクシイ。深山ハ體。○サテソノ隨縁平等ノ用ハ、緑水モアリ白雲モアリ、流ルルモアリ流レザルモアリ、三世常住。水モ雲モ流ルルモノナリ、ソノ流ルル上ガソノママ不流。天子ノ歌、「あさがほのあさなあさなにさきかひてよはひ久しき花にぞありけり。」是無常ガ眞常、不生不滅、常運歩ナル故、常ニ運歩セト云フガ如ク。《533a》

【上堂24】

○上堂。心ハ、先ツ手前手前ノ一心ハ見聞覺知スルモノニアラス、全體アイテハ無イ。蕩蕩乎トシテノビロフシテ太虚ノ如ク、有無ヲハナレテ周遍法界シテ、見聞覺知ニアラヌモノナリ。○心法ハ

処ニモドコニモアル。是法ハ《8オ》今ノ靈性ナリ。是心、十界一如ジヤ。是心―佛ニ在テモ直イモノデナシ、衆生ニ在テモ曲ルモノデモナイ。深山大小三山ノ石頭大ハ大、小ハ小。滑ニツヤクシテ高下曲直ナヒ常住ノ法、白雲或時ハ白雲モ飛流シ、或時ハ峯頂ニ住リ、流水モ流ルコトモアリ。又流レヌコトモアリ。コレ三世常住、流テ流レヌモノ。

【上堂24】

△心非ニ覺ニ知―故ニ法離ニ見聞―無ニ倫匹。有トモ無トモ肩ヲ并ブル者ハ無ヒ。故ニ上ヘ向テ見レバ高而―又下ヘ向テ見レバ深而底ガ知レヌ。上モナク下モナヒト云テ、一向ニ手ノ付ラレヌモノデモ無

見聞覺知ヲ離レタモノジヤカラ、巍巍トケダカフシテ倫匹ノタグヒクラベルモノガナイ。○此ノ法ヲ上ヘ向テ見レバ、高シテ而一、下ヘ向テ見レバ、深シテ而一、無上甚深深、カウシタ心法ジヤ。○然モインモナリト云トモ、把ルトキニハ掌握ノ中ニモアル、縮則ハ方寸ノ中、洞山ノ云フ細ニハ入ニ無間ト云フ如ク、○又タソノ手ヲ放則バ塵塵ノ萬法、刹刹國土ノ外ニアマネシ、展則バ大千界、洞山ノ大絶ニ方所。○把トキンバ先ツココニ虚空樹ノ無影樹ガアル、ソノ大樹ノ下二十界乗り餘サヌ心法、合同船ノ乗り合ヒノ船ガアル。○此ノ船ガコヘデドコヘ行クナレバ、一色ニシテ點破ノ及バ又處ノ向上ノ瑠璃殿上ニコギ付ケタ。ソノ處デハ知ル人モナイ、知ラルル人モナカツタ。能所泯絶ノ處ナリ、聖(生カ)佛アラワレヌ處ナリ。

【上堂25】

○冬至。向去ハ、六陰盡ルハ一切衆縁萬境ノ浮虚《533b》ト、ウカウカシタル取り止メモナイ境ノホトリデ、晷運ノヒカゲガ推シ移ツテ冬至ニナツタ。○夕べ迄ノ枯木岩前ニ今朝一陽來復シテ、ソノ枯木ガ龍吟シ萌シ吟ジ、○ノブルデ忽チ起。○ソレヨリ冬至ジヤカラ陽曲ノシラベガ今朝初テ報ジテシラシムカラ、蟄ムシコモル類ガ密密動テクルナリ。○是ノ如クナリト云ヘドモ、法デ云ハバ實一塵ハ、是レ實際理地ニシテ、六陰コレ極ル佛法ノ萌シハ無イ。○ケレドモ今日ハ一陽來復シテ、建化門頭デハ作一作一、

ヒ。コノ法ヲ手前ヘ取ル時ハ方寸ノ中、又廣ク向ヘ放時ハ塵刹ノ国土萬法ニ滿ツ。コレ細入ニ無間、大絶ニ方所ニ也。コノ大小ナラヌ処ヲアキラメ體悉セント思ハ、無影一コノ舟ニ乗りハズレルモノハナイ。コノ舟カラ大尊貴ノコザル処ヘノリ付テ見タレバ、知ル人モ知ラル、人モナク、迷悟十界ノ境ガ無ヒ。此二句、体用ヲ云。高而不レ可登処ハ無ニ知識ニ処也。

【上堂25】

△浮虚一相續生因縁性ト云テ、此境界ハ浮虚ナモノ。楞嚴ニ蘆ヲ三本寄テ立ツ因縁生ノ喻有リ。浮虚トウカクシテラル境上ニ光陰ハウツル。古歌ニ「今日ノ日モ命ノ内ニ暮ニケリ又モヤキカン入り合ヒノ鐘」ハヤ冬夜ニナリ、枯木ノナンニモ萌スモノナヒ。コレデハスマヌカラ龍吟ノ萌ガ忽然ト起リ、木々ノ梢ニソロソロメヲ出ス。ソレカラ一陽ノ温曲ガ始テ密二人不レ知ニソロソロアラワレテクル、コレ偏也。雖然一サハサリナガラ、枯木ノ処デハ實際一煩惱無尽ヲ般若ノ知ハ人デヤキ尽ス。本来無一物ノ処ヲ知ラ

有ト説キ無ト説ク法ガアラハルナリ。○死中ニ活一トハ、六陰極ル方ハ死ナリ、ソノ死中ニ一陽來復ノ活ヲ得タリ。

【上堂26】

○雪上堂。○千一トハ、六根六塵等ノ千差萬別ノ岐路ヲ踏ミ斷ジテユクニ、ソコデ一大事ヲ承當シ、ナルホドト受ケ合コトヲ得タリ。不<sub>レ</sub>思<sub>ニ</sub>善惡、莫<sub>レ</sub>管<sub>ニ</sub>是非。歌ニ云ク「却却<sub>中</sub>ニ葛織<sub>ツマラリ</sub>ナル路斷テ雪ニトナリノ近キ山里。」○ソノ承當底ノ人ハ、一點モ承當ノ那人ノ他ヲ瞞ズルコト不得、自ヲモ瞞ズルコト不得。○ソウシテ自己ノ家郷ニ游踐シテ、盡十方界眞實ノ人《534》體、自他一枚ニ落付イタ。○ソノトキニハ全體雪一色ジャカラ唯一乘法デ、一法一切法ガ本位ヲ離レズ、一步一步一念一念、ドチライ向テモ方ニ迷ワズニ、法ガナイ其時ニ、○爍迦羅ハ、此方ニト云彼モ吾モ同ク自他平等ニ、ソノ輪ノ如ククルスル伶俐ナル眼開キ、四佛知見香ノ佛知見ヲ具足シテアル。○已ニ恁麼ノ田地ニ到ツテ、同見同聞同般底ノ證據ニ立テ、○アフサウジヤト云フ底ノ人ガアルカ。○無(一脱カ)物、六祖ノ下ニシテ吾ガ家ニハ寶貝ノタカラモノハナイト云コト勿レ。○サレナレバ、滿床ノ僧堂ノ床一杯ニ盡ク雪ノ珍珠ヲ撒トフリチラカス。惣而財寶ニ不足ハナイ。貝ハ寶ナリ。

【上堂27】

○佛成道ノ、天童如淨禪師、成道忌ノ偈ニ云ク、明星悟道ト唱ヘ

セル爲ニ建化門ノ一入口ニ於テ迷悟ヲトキ一死中ガ枯木一陽來復シテ活ニナル。

【上堂26】

△因<sub>レ</sub>雪上堂。千差一色々ノ三千威儀八万細行ヲフミタヤス雪一色ノケウガイニナル。直下、其俛承當シ《8ウ》合点スル時ハ、他一、誰デモコノ人ヲ瞞スルコトハナラヌ。ナセナレバ、千差ノ路タヘテ、自家ノ、昔ヨリ迷デ出ヌ本家郷ヘ遊踐スル。其時ハ法ニ一法デモ自己ノ本位ヲ離レヌ故ニ、向上ニ歩テモ向下ニ歩テモ方角ニ迷ワヌ。トウシテモ外ノ処イカヌ故ニ、彼モ此モキリクマ<sub>レ</sub>ワル爍迦羅眼ヲ具シ、自界他方共ニ佛智見デサヘタ一色デ、外ノモノハ少モナヒ。一、父母本来ノ田地ニ到ヘテ、同般、一ツレト同ジ、般ハ班ト同ジ。莫<sub>レ</sub>謂吾家、曹溪門下デ何モ無ヒト思フナ。草堂ノ床一杯雪ノ寶珠ジャカラ三界窮子ノツタナヒ心ヲ起スナト也。

【上堂27】

△古徳ハ指<sub>ニ</sub>如淨和尚<sub>一</sub>也。瞿曇一失<sub>レ</sub>眼夕処上求下化ノ一切ノ念慮

ラレタトキ、凡聖逆(迷カ)悟ナイ處カラ見レバ、正法眼睛ヲ打失シタ様ナモノ、空(久カ)遠實成釋迦シヤカラ打失シタ。ソノトキ無佛世界ノ聖佛萌サヌ處ノ雪裡ニ梅花が開キ、五知五佛ガ分レタ。○ケレドモ元ハ只ダ一枝シヤ。金剛ノ杵ノ如クナリ。○ソノ梅花ガ今ニ時ハ到ル處ドツコデモ荆トナツテ、參學ノ《335》モノノ足ニカラマル。此ノ荆棘ハ好モナル惡クモナル、夫レ共ニ飛ビノヒテ見レバ、却笑一、今迄雪裡デアツタケレドモ、有情一、道、唱ヘラレタ。恩徳ノ春風ガ繚亂ト吹コトヲ、世界國笑ヒ喜ブシヤ。乍レ昔有佛無佛。○性相常ト云。○繚亂、纏ナリ、遶、ミダルルナリ。笑ハワカイ。○竹ト聿ベタ字ニシテクワイモナイ、○シナクナトスル、○筆ニ留メナイコトニナル、筆ニ止メガアレバ笑ハヌナリ。○師云、梅樹歲寒ハ不變ノ心操ニシテ、三代阿僧儀劫ヲ歷テ、自ラ時節アツテコレハ人作テ出來タデ無イ。○夫ダニ依テ、今日釋迦始成正覺ハ、久遠ノ如來ガ芳心ノヤサシイ心ガ有テ、ヒソカニ人ニモ知ニ、舊年ノ枝ニ綻ビ開イタ。○舊年ノ枝ハ久遠正覺ノ正位、綻ビ開イタハ今日成道偏位、偏正回互。○臘八ノコトナレバ春デハナイケレドモ、春ニ先テ陽春ノ曲ヲ漏一ナリ、モラシモラシタ。○立春ノ歌、「年ノ内春ハ來ニケル一年セヲ去年トヤイハン今年トヤセン。」臘八ハ正、偏曲ヲ漏泄シタハ偏位ナリ。是レ偏正回互ナリ。○是ノ曲ハ誰ガ漏泄シタナレバ、如來ハ金色ナ故ニ《535a》黄面ト云。ソノ大士ガ人手ヲ借ラズニ自ラ春ニ先テ鐵笛ヲ横デ吹キ、有情非一、心佛及衆生是三無差別ト、陽春ノ

ヲ絶シタ処、雪裡ノ天上天下唯一枝、爰正中來デ、如來ノ出世ハ皆正位カラ來ル也。而今未代ニ到処、荆棘トナリテ佛法現前ス。沙界ノ中、荆一デ、足シ向ケガナラヌ。唯コノ一枝ガ荆棘ニナル也。繚、音、了。メクル、又纏也、マトウ。如來ノ出世、恩徳法身ノ春風ガ吹テ一切ノ物ヲ惠ミソダテルウレシイ□ミニ笑也。梅樹歲寒ノ操ヲ持チ寒苦ヲヘテ、時節因縁到レバ花ガヒラク。其ノゴトク、佛ノ出世モ其如ク、三祇百劫ノ辛苦ハ歲寒ノ志ヲ保シヤ。ソレガ今日成道、自時節因縁デ花ガ開ク。芳心一有情非情同時成道ト云ヲボシメシノ恩徳ガ芳ナリ。色ヲモ香ヲモ知ル人ゾ知ルデ、法ヲ知タ者デナケレバ知ラヌ。旧年枝ノ佛ハ久遠成佛デ新ニ今開タデハナヒ。ヤハリ「昔ナガラノ山櫻。」先レ春一、本来無法ノ正位ヨリ、難レ和陽春ノ曲ヲモラシテ人ノ爲ニスル。其曲ヲ鉄笛デ吹調シ、一切ノ無明煩惱ヲカキサバイテヤルナリ。

曲ヲ唱ヘラレタ。

【上堂28】

○歳朝ト云ヘドモ、内ハ衲僧家デハ坐禪三昧ヲスル、外ヲ云、是レハ新シク拵タデナイ、萬事自然ニシタコトシヤ。コノ自然ハ外道ノ自然トハ格別、大日經ニ毘盧舍那成自然覺トアル、コレナリ。コシライタコトデナイ。○心心一、一時二二心ナイカラ心心前念後念ガナク待對ヲ絶シテ悦ハ悦斗リ、當年斗リ、コロコロト一心一心二分テ惡ハ惡斗リ、善ハ善斗リ。菩提ヲ成ゼザル内ハ煩惱ナリ、菩提ヲ成ズルトキニハ、念念念菩提ニシテ待對ナク、○コレヲ合點スレバ、ソノトキニハ邪正ナイ佛デアル處ノ佛ガ現前ス。是ガ僧家ノ目出度イコトガ出來タト云モノジヤ。○頃シモ始春ナレバ、清白一、長天煙樹山川一片ノ白雪、同法デ、凡聖迷悟ノ境界ガ無イ時節ノ元旦ジヤ。○此日元朝ノコトナレバ、謝三郎ハ意口一杯ニ喜デ釣魚船ヲ海ニ出シテツリゾメヲスル様子ジヤ。是レ同中ニ有レ異、謝一ナリ。○師云ク、年ノ三朝《535》ニ坐禪ヲヲモンバカリ會ス。衲子モ泰然トユタカニシテ、○行キツマツタコトナイ。坐禪ハ安樂ノ法門ナリ。○手前斗リデハナイ。外ニハ萬物ミナヨロコビアツテ、身心一時ニ得妙淨明。○此ノ喜ビハ遠キ十方ニモアリ、近目前ニモアル。○ソノ目前ノ近キヲ云ハバ、山上ニ梅ト雪トヲ同ク見、是レ色ヲ同シテ香ヲ異ニス。是同中ノ異ナリ。是ガ佛法ノ根元。○江邊デハ謝郎ノ船ガ、明月ノ照ラス様ナ

【上堂28】

△歳朝一。歳朝デモ外ノコトハ勤ヌ。只王三昧ノミジヤ。是ハ新年、今始ルコトデモナヒ。自然トアリマヘノ法《9オ》ジヤ。其ノ法ノフリマワシワ、心々、人々一心、く、ガ對待ガ「大海ノ霜」デ跡ガナヒ、少シデモ住ラヌ。コレカラ見レバ、心々、一念一念ガミナ一佛一佛デアル。先今日江上ノ雪一色デ迷悟ノ汚レナク清白ジヤ。カフハカウナレドモ、又、ソレく、ニ、漁リスル者ハ漁シテ、謝三郎ハ雪江上ニ滿意ト心一杯ニ魚ヲトル。コレ諸法実相ニ違背セヌ処、法華ノ意也。△年朝カラ禪ヲ會シサヘスレバ、諸ノ疑ヲ断ジ、身心共ニ泰然ト慶ブ。手前ガ走ナレバ萬物モ又慶ブ。故二十方目前遠近ガ無ヒ。山上同着一仰デ上ヲ見レバ山上ニハ雪ト梅ト類而、色香ハ各自違テ不齊。又、俯シテ下ヲ見レバ江辺ニ浮ブ謝郎ノ舟ニ雪ヲ白妙ニヲキシハ、サナガラ明白ノ月夜トウタガワル。

雪一色ノ月ヲ載テツリゾメラスル。是レ少シデモ染汚ナイ清白梵行ナリ。別色ガ見エヌ色空泯絶ノ處、空不空ナイ。

【上堂29】

○謝一デハ、兩班ニハ六知事ト六頭首ガナラフ。○班ハツラナル。○此ノ兩序ノ衆ハ共ニドレモドレモ平生尋常ネ、唯一心ノ二モ三モナイ、一面ノスリミガクコトナイ法（拂カ）式ノ手段ヲカラン古鏡ヲ用テ、○ソノ鏡ハ世俗諦ノ胡來レバ胡現ジ、勝義諦ノ漢來レバ漢現ジ、善惡ヲ餘サズニ現ジ來リ檢別シテ、曾イツノコロヨリ妨ゲ邪魔ハセヌ。○ソノ衆ガ、役位ヲ退ク處ノ今舊主モ、又タ位ニススム處ノ新役ノ賓モ、異轍ナク、コトナル車ノ迹ハナイ。○今マ交代スル驀頭《536a》アタマカラ兩席ノ衆ガ相見シテ各各承當シテ、爰ハ請合ト云テ各各役義ヲ勤メル、ココハ私ニマカセテト云テ請合シテ各各承事抵當シ、役位ヲ麤略ニセヌ衆達ジヤ。

【上堂30】

○青皇ハ、史記ノ天官書ノ五ニ曰ク、青帝行レ徳天門開ク。此次ニ四時出ス、長文、此略。正義ニ曰ク、青帝ハ東方ノ帝也、春ハ萬物開發シ、天門爲之開クル也云云。古事必讀ニ、東方之神ヲ曰ク太皞、乘レ震而司レ春、甲乙ハ屬レ木、木ハ則照ニ于春、其ノ色青シ、故ニ春帝ヲ曰ク青帝ニ云云。○青皇ノ春ノ君ガ號令ノフレナガシヲ行フトキニ、ソノ行ガ極ツテソロソロ夏ニナレバ、艸木モ茂ツテ緑リナル陰ニナル。ソノ中ニ春花ガ尚香シ。○赤帝トハ上ノ史ノ下ニ、正義ニ、

【上堂29】

△謝兩班。一尋常一、此兩班ノ衆人々ニ、一面ノ鏡ヲ用テ、胡ノワルイモノハ惡イトシリ、漢ノヨイハヨイト照シ、胡漢來テ妨ニナルコトハナヒ。皆ム子ノサバケタ衆中ジヤ。賓ハ今日役ニツク人、主ハ退役ノ舊知事、皆無上菩提ノ路ヲ踏テ別ノ異途ヲユカヌ。驀頭ニ、各其場ヘ相見シ相向テ職分ヲ身ニ引ウケラトテ承當シツトメラルトナリ。

【上堂30】

△上堂一青皇一、春帝ノ令極リ、春ノ至極ニナリテ緑リ。青葉交リノ櫻花ハ尚マタ残テ香。又赤帝位ニ即ト一氣ハ、ケシキハドコトモナシニ火氣ヲ含テ居ルユエ、アツシ。コウシタ時節、不言ニシテ法ガ行レルガ、空劫ノ法未露時ニハ、人々ノ公案ハ、上ニアル春秋代謝ノゴトク改メナラスコトアリヤ。其改轉アルワ、皆声色裏ニ著レ眼カラジヤ。六塵ニ向テ、行カ行ヌカト云。證拠ニ、念眞一、念ハ首山省念、一不説ノ説一、不レ動レ舌説レタカ。鶉鳩一ノ

赤帝ハ南方ノ帝也。夏ハ萬物茂盛シ、功作大ニ興ル。則天施ニ德惠、天牢爲レ之虚空ス也云云。○夫カラ夏ナツテ、赤一位ヒ新ニシテ、薰風ノ夏風ノ氣味合ガ火ヲ含デソロソアツクナル。○此様ニ短イ時ト永節トガ、春ガ來タ夏ガ來タトハ言ヌケレドモ、恁麼ニ四時ガ交代退謝、カワリシリゾク。來ルヲ交ト云へ、去ルモ《536b》ノヲ謝ト云フ。夏ハ代リニ來テ春ガ退キ去ルナリ。四時ハ此様ニ交代ガ、且クマア當分大衆ニ問フ。○成住壞空ノ四劫ノ空劫已前ノ公案子ガ一ツアル。是モ上ノ如クニ恁麼ニ改トシナホシ、轉ジノグルヤ。○ドウジヤ、云フテミヨ。○ソノ様ナ代謝スル處ノ夏ノ薰風聲ヤ、春ノ緑、緑ノ色ノ聲色邊、六塵ニ向テ眼ヲ著ルコト勿レ。可知ニ聲色外ノ威儀、ソノ處ヲ跳出セネバナラヌ。○豈一、イカサマ見ズヤ。○清念禪師ト公眞禪師トノ二座ガ共ニ詣シモフデルナリ、參詣シマイツテ。○不説ト云ハ死路頭、説ト云ハ活路頭、カタヨツテハヤクニタタヌ。不説ノ説ニシテニ乗ヲ起へ、○説ニシテ不説ナレバ、凡夫ノ有見起ヘテ佛乘ニナルナリ。維摩經ニ、説法トハ無説無示ナリト、コレジヤ。○眞云ク、鶉鳩ノアマハトガ樹頭ニ鳴ク。是レ不説ト云タケレドモ、コレ向ニ聲色邊ニ着眼タ。出息涉ニ諸縁。已ニ上ニ風穴ノ莫レ向ニ聲色邊ト云ハレタカラ、○穴云ク、作ニ許一。ソレハ今時門頭有爲ノ善業デ皆福ナリ、有爲ノ作福ヲ修シテ、實相ノ無爲ノ福ヲ薄ンズルモノハ癡福ナリト云コト《537a》ガアル。何ノ用ゾ、ヤクニタタヌモノ。○念云ク、動一ハ、居ニ今時、扱ニ久遠。○動容ノ四威儀ノ上ガ古路ノ那

鳴ヨケレドモ、声色裡辺ニ眼ヲ著タカラ、癡福□《9ウ》見聞ノ方ハ物ノ澤山ニアル方ジヤカラ福貴ニアレドモ、声色裡デ役ニ立ヌ。動容揚ニ古路一。コノ句、已ニ辨ズ。聞ニ渠語一乎。眞ヲ見セ付タアイサツ。一鄺中一、九峯道虎(度ノ誤カ)ノ語。市中ニ居テ壺公ノゴトキ隱形述(術ノ誤カ)モヨケレドモ、争又全身、ヤハリコノアリマイノ身ナガラ、帝王ノ京ニ居テ市町ノ様子ハシラヌ、コレ念ノ答処。鄺中一術ハ、真ノ見聞ニアル答処也。

邊辺ニ安住シテヲル。○古路ニ上ツテモ悄然サビシイ機ニモ落ズ、ナレバ、死中ニ働活用。コレガ如來語ジヤ。○穴謂眞云ク、何ント渠首山ノ念ガ語ヲ聞クカ。○大衆ト喚テ、首山ガ風穴ノ意ニ契フタ意旨ヲ知ント要スヤ。○顧孝（壺公ノ誤カ）ガ仙人ガ、飛鳥坊（費長房ノ誤カ）ガ宅ノ軒ノ下ニ壺ヲカケ、其坪ニ入テ仙境ヘ歸リ歸ツタ。○鄺中ノ市中ニ、隱壺處ノ方術ガ有ルト云ヘドモ、争カダウシテ、全身此ノ身ヲ萌サズニ仙人ノ居ル處ノ帝郷ニ入ンニハシカズ。○鄺中ハ、許多ノ用ハ争ハ體ナリ、不レ及入レ體。○ココデハ眞禪師鶉一鳴クト云タハ、市中ニ壺中ニ身形ヲ藏ス分ハアリハアレドモ、マタ寶中ノ主ト云モノ。○争カ清念ガ云フ様ニ、動容一云、全身仙人ノ帝郷ニ入テ主中ノ主トナルニハ似ン、中中及バヌ。

【上堂31】

○結夏ハ、住レ體我モ汝モ同ク住ス。○我ノ主ガ住スレバ汝モ寶モ同ク住ス。又タ解夏シテ行レ用、我モ汝モ共ニ行ク。我レ行レバ、一タク。行住ヲ上テ坐臥ヲコメ《SIT》テ云フ。○扱テ内ニ結制ハ諸佛ノ要機ニシテ、諸一ノ肝要ノ大機ノ大地ナル處ヲ持來テ打得シテ結一ス。○祖師ノ佛心印様ヲ拈提シテ、三月護生スルナリ。護生命一意ナリ。○此安居ノ内ハ青山高二ハ白雲ノ倚ルコトヲサヘヌ。子ノ如ク父ノ如クニ安居シテ、○ガタヒチハナイ。○空谷ノ聲、此方カラ喚ニ應ジテ大小ニ響ニ應ジテ、弟《聲》兄《谷》ノ

【上堂31】

△結夏一。我レ、主人ガ安居ノ中ニ住スレバ、汝、寶モ同住ス。又、解制ニナリ行時ハ共ニユク。先、今日ハ結制ジヤカラ、諸佛ノ太切肝要ニスル處、打得用得テ安居スル。又、第一ノ迦葉ヨリ代々傳ヘタ心印ヲ拈提シテ一切衆生ノ爲ニ護生ス。此処ニ青山ノ父高シテ常ニ白雲ノ子ノ倚ルコトヲ邪魔ニ思ワヌ父子和合シテヲル。モ一ツイワバ、谷虚ニシテヨベバ應ズル響、兄弟無心ニシテ相互ニ和ス。一瓊樹ノ上ニ段々云処、兄弟同居ノ少モ長モ皆桂枝ノ宝、一人リトシテ梅檀ナラヌモノハナヒ。ミナ同一佛性ジヤカ

如ク、ムツマジク安居スル。○已ニ恁麼ニ和合同居スルコトヲ得テ、還テ落著ノ處ハ什麼ノ行ノヲチツキ処カアル。○安居、體ハ、寶主兄弟皆瓊樹、無凡木。○瓊一、皆ナ集ツテアル處ノ大衆達ハ皆皆、瓊樹ヲ切レバ一寸一寸ミナ是寶ジャ。又タ用ハ、父子老若共ニ栴檀香デ、栴一如クニシテ片片、一トヘキ一トヘキ皆ナ馨シシ。利人鈍共ニ心地ニ迷イハナイト云フコト。香シシト云テ用ニナル。

【上堂32】

○父母一トハ、世界デ父母ホド親イモノハナケレドモ、法カラ云ハバ我が心ホド親キハナイ。ナゼナレバ、無明ノ父ニ恩愛母ト云。父母ヲ殺シテ佛ニ懺悔ト云モコノコト。○諸一道ニアラズトハ、外ニ諸佛ノ名相露ハ、ソデ無イ。三十二相八十瑞好ハ、佛ケハナイ、《Sūtra》我道デハナイ、心ガ是レ我が道ナリ。○此中ノ我親我道ノ意旨ヲ知ント要セバ、大寂定中ノ一心ノ父ハ三世常住淨妙法身ニシテ少、不生不滅ナリ。子老ハ修證因果ニ涉ル故ニ子ハ老タリ。今日ノ念起念滅ハ功勳ニ涉テ子ハ年ガヨル。○盡大空音ノ釋(甚大久遠ノ釋迦ノ誤カ)ハ不生不死ナリ、父少ナリ。今日摩耶ノ胎ヨリ出タ處ノ釋迦ハ、少ナニシテ涅槃、是レ子老ナリ。○王老一ハ、王姓ナリ。南泉ハ六根六塵ノ六識十八上ニ不轉ニ自身、即證ニ大覺位、作活計スキワイヲ解。是レ脱體ノ行李ナリ。是ハ父ハ若イ境界ナリ。○趙一云ク、三十六界ノ上、破家

ラ、利人鈍者ヲエラバズ和合シテ安居スルガヨイ。

【上堂32】

△父母一ハ尽形壽ノ色身ヲ養フノミデ、三世カケテノ親デハ無ヒ。ソナラ父母ヲハナレテ、諸佛ノ阿耨菩提ガ手前ニ親イト思フカ、ソレデモナイ。皆自性通テ手前カラ親イ。道ヲ知ラント思ワバ、父少子老デ老若ニ落チヌ処、少ガ少ト云テ、ワカイデモナヒ、生滅去来ニ渡ラヌモノナリ。久遠ハ父少ナリ、今時ハ子老也、十八上ハ十八界ナリ。身ノアリタケ此身心ヲノケズニ、其促活計ヲナス。活計ハ生計ト同ジ、スキワイ、ノコト。脱落身心ノ処、趙州破家散宅、法ノ起スベキナク、人境泯絶シタ境界。身心脱落ノ処、南ト表裏ナリ。臂長一南泉空処ガアリテ、スキマガアルカラ、鬼神ニ一ワキカラ見破セラレテ《10オ》見苦イ今時ノ働ジャスリ上タ境界ジャ。十八已前ハ父母未生已前、阿耨菩提ニ趣イタ。一正當一、出世シテ処、一切智々ハ實際理智一薩婆若、此

宅モ散ジテドコニモ住處ガナイ。身心脱落一合不可得。子ハ老タリ、向去ナリ。○南泉ノ父ノ若イ、趙州ノ子老タリ。○南泉ハ、却來ノ父ハ慈門。手前ノ臂ガ長イカラ衫ノ袖ガ短イ。ソノ様ナ透間ガ有ルカラ鬼神ニ覩見セラレタ、活計ヲ人ニ見ヌカレタ。全體人ノ爲ニスル、父少ナリ。○趙州ハ、向去ノ子ハ知門。破家一云タハ貧ニシテ、貧ニシテ儉約ニヘコトスクナニシテ、徹底孤貧デ雖ヲ卓スル程モ足止ル處ガナイ。○薦福山主義雲ハ不然。南泉趙州ノ足跡《538》ヲ蹈ン。向去ノ知門、十八上已前ニ發一。却來悲門、十八上已後ニ大悟一、却迷ニ同ク、○正當十八上解ニ一切知知、合點シテ初メノ智ノ三乗トモニ有ル智、次ノ智ハ後得智也。○且ク大衆ニ問、南泉趙州ノ悟解ノ處ト、我が悟解ノ處ト、是レ同カ是別カ。是レヲ試ニ判斷シテ看ヨ。拂一、今薦ガ手裡ニ佛祖正傳ノ一箭アリ。諸人ノ全體全身ト言ガ如ク十八上ニ向、此ノ一箭ヲ放タント欲スルガ、却テ的トナツテ此矢ヲ受ント要スヤト云テ、直ニ豎ニ拂子ニタ箭ヲ放タヌ、一ト下云ク、射レ虎一。虎シヤト思テ射タレバ思ノ外力頑石デ有ツタ。無タ箭ヲ發タ。○豎拂子一、是弓ヲ放ス處ノ勢ヒナリ。又タ擲下、是レ奪ナリ、虎ヲ射テ未ダ了ラザルニ、石ヲ射テアツタ。

【上堂33】

○兀兀ト坐定シテ、○萬事ノ機用休一シテ、動容ノ念起念滅ガ休罷シテ、坐タ。○爰ハ千聖モ提携トタズサイアゲルコトヲ得ヌ。

翻ニ一切種智一一切智々、下ノ智字、後得ノ智、修シテ得ル智ナリ。コトハ佛境界ヲ合點シテ居ルト云コト。一の當一、大衆達、吾箭ヲウケヨウト云テのニナリ、胸ヲヒラヒテ爰ヲイサセヨト躍リ出羊乎ト、射虎一滿堂ノ大衆ヲ虎シヤト思フテ射テ、ヨクソバヘヨリテ見レバ、ナンニモナラヌ頑石シヤ。

【上堂33】

△萬機休罷ハ、非思量ノ処ハ聖モ持アグルコトガナラヌ。走ナラ一向手ガツカヌト思フナ。唯一言ノ下ニ相契テ一念回光返照スレ

○サウ云テ合點セラレヌデハナイ。爰ニ飛込デ合點スルトキニハ、一言ニ相ヒ契フ。一切藏教モ一言ナリ。圓覺經ニ云ク、一言ノ下タ義天朗ナリト云。證契ノ場ハ一言ナリ。○相證《539》契ノ場ハ叶フテサヘミレバ、古モ今モ一ツ揆ニシテニツハナイ。揆ハ法ナリ、ノリ、度ナリ。○此ノ處ヲ合點スレバ、暗中ノ正位ニ眼ヲ付レバ即チ明アリ偏ナリデ、コレ正位デ却テ偏。○明一、偏位却テ正ナリ、二位ヲ圓ニシテ自由スル。ソノ正ナラヌ偏ナラヌ處ヲ合點スレバ、向下八十齊地ノ佛、未出世ノ位ヲ借テ、ソノ位ニヲリナガラ、建化門頭ノ凡アリ聖アル功ヲ明カス。○ソノトキニハ位ノ體ガ功ノ用處ニアリ、位體ハ藏シテ用ガ働ク。君ガ臣位ニアルナリ、却來ナリ。○向上ニハ借功一、建化頭ニ居リナガラ聖佛不萌ノ位ヲ明ス。功用ガ藏テ體ニ歸。○ソノトキニハ用ガ體處ニアリ、向去ナリ。○君一、位ハ、借位明功ナリ。體ニナル君ガ用ノ臣位ニ望ム、體有ニ用處ナリ。コレ尚ヲ體用君臣一枚ハ凝一トコリカタマツテヲル。正偏ニ帶ビマトハザル、君臣合スル處、正中ノ邪ト云處ジヤ。父子一枚モ妄相ナリ。○下ヨリ上イ向フ方ハ、子就レ父一ハ借位明功ナリ。子ノ功ガ修シ上セテ凡聖ナイ父ノ位ニ就ク時キ、父子一枚ト云モ、尚ヲマアダ父ト云ヲ見テ、修シタ處ノ孝養ノ《539B》コトガ殘テヲル。用在ニ體處ヲ云。コレハ同安ノ常察ノ云フ賓主睦時全ク是妄ト云フガ如ク、○玉一トハ、上ノ君臣一枚ノ凝然ト父子一枚ノ孝養ト云、玉關ト云。關ニ迷テ未ダ透リ脱ネバ、正ニ一色ニ迷テ居テ、ソレデハナラヌ。

バ、其匠師学割符ヲ合セタヨウニカナフ。其時ニハ古ノ聖人デ貴イモノデナク、今ノ凡夫デ賤物デモナヒ。一ツ揆テ一ツ法ジヤ。コレカラ相契法ヲ持テ來テ師家が説ク、学者ガ合點スル処ヲ云。暗中ニ著眼デ暗ガ暗ナラヌ、明中ニ身ヲカクスデ偏中正也。明ナラズ暗ナラズ色即是空、正偏ヲ自由ニスル時ニハ借位。本分ノ動カヌ位ニ居ナカラ下ニ向テ功ノ働キヲ迷アリ悟アリト、テガラヲアラワス時、位ノ體ガカクレテ用ガ出テハタラク、借功。功勲ノ処ヲ蹈ヘテ本然ノ位ヲアカス時ハ、君ノ位ガアラワレテ體ガ出テ用ガカクレル、下カラ上ヘ向フ正位ガラモノナリテクル。猶一凝然一コリカタマリシメク、リ、借位処、君臣一枚ニコリカタマリ、ツナガレテヲル。△孝養一父子一枚、其時ハマタ父ヲ養フト云道理ガ具テアリ、サツハリトセヌカラ玉関ガアル。爰ヲ透ラネバ君臣一枚、父子一枚ノ一色ニメクルメイテ居。ソレデハ宝印ヲ全提シテ那宝印ノ文彩ヲ《10ウ》アラワスコトハナルマイ。一傍觀ハ外目八目デソバノモノカラ見レバヲカシイ。晒、音信、微笑貌。一當局者ハ、一テ向フガ見ヘヌモノジヤカラ、隨分精進シテ修行スルガヨイ。

君臣一枚父子一枚ニ迷テ、君臣ノ正射ニ用ノ文彩、父子共ニ無辨白ノ處ナリ。○偏正君臣ハ傍觀ノヲカメ八目デ見レバ知テアルカラ晒フ。○中のハ當人モ知ラヌ、當局者ハ迷テ見ヘヌ。此ノ寶印ヲシラヌ、コレガトリイジヤ。コノ處ハ達磨モ九年正眼ニ不ニ親著ニ知不到ノ處トモ云フ。○古語ニ智ノ傍觀、當局迷。

【上堂34】

○上トハ、萬法百川ノ衆流ガ大海ニ投入ルトキニハ、鹹淡ノ衆流ガ實相ノ味ヒガ一ツニ大海ニ入ル。地獄餓鬼畜生ト上ノ十界ガミナ唯一心ニ歸シタルナリ。○四夷ハ南蠻北狄西羌東唯、四海ハエビスナリ。ソノ四方ノエビスガ一朝廷ニ歸附スルトキニハ、四海ノ夷ノ別レハ無フシテ、君臣道合シテ一般ニナルナリ。○一般ナル所以ニ臨濟四種ノ寶看レ主、主看レ寶、主看レ主、寶看レ寶ト方開スル。衆流ハ寶ナリ《HONG》臣ナリ。大海ハ主ナリ君ナリ。又夕洞山五位ノ偏正排列トナミヨクツラヌ。然モ如是ニ偏正ヲ立スレドモ元ト一位ナリ。○正位ヲ立スルトキニハ、萬法悉ク正位ナリ、五位共ニ正中來ナリ、心(眞ノ誤カ)空妙有ナリ、人人今日正位中ヨリ今日ノ偏位ニ來ル、却來ナリ。○又夕偏位ヲ立スルトキンバ、偏斗リニシテ外ニ正位ハナイ。萬物各各ミナ向去ニシテ、偏位中ヨリ至ナリ、妙有ノ眞空。○正中來ハ化下衆生デ却來ナリ、悲門ナリ。偏中ハ上求菩提ニシテ向去ナリ、知門ナリ。是ニ付テ○三聖興化不見トヲ、興化方ハ、我レ求レ法、人ニ逢フテハ便チ

【上堂34】

衆流ト此句、上ニアル百川向ニ大海ト云語意ト同ジ。四夷トエビスワ、カラガツヨイ故ニ、大弓トカタ象形文字也。一心ノ君王ト六根ノ臣下ガ活ルト君臣道合ナリ。立レ正時ハ、偏ハナシ、二ツハナイカラ、ナンデモ二ツ并デハ立タヌ。此數語見易シ。此正偏ニツイテ思イイダシタ、古人道ト逢レ人則不出、興化ノ語、正中偏ト逢レ人則便出、コレハ三聖語。不レ為人トハ祖佛從來不レ為人ト同ジ、偏中正ナリ。兼到ノ一位ハ不生ジヤカラ無ノ生ニモ有ノ偏位ニナラヌモノ故ニ、無生那一。

不出。是レ正位ヲ先キニ云。今時ニ下ラズ正位ニ安住スルナリ。  
○出ル則即人ノ爲メニス、是レ偏ナリ。

○又タ三聖方ハ、我レ一使出シハ、偏位ヲ先ニ云、出デテ一人ノ爲ニセズ。法ヲ立セヌト云ナレバ正位ナリ。ドレトモ偏正同互ナリ。○偏一、出ル偏モ、不出正モ、曾テイツノコロカラ本位ハ離レヌナリ。○本位ノ常示寂滅相ノ無生ノ生ニシテ、二法ヲ離レタ處ニシテ、那ゾ此ノ方ノ因ト向ノ縁トヲ語ルニ涉ルコトアラン。出不出ト爲《510B》人不爲ト説コト無イ。此處ニハ生(正カ)モ偏モナイ。コノ無キ處ヨリ正ト偏ト分レテ出タモノナリ。上ノ大海ヨリ正偏ハ出ズルト結ダ。

【上堂35】

○上堂。白一トハ、起滅不常ノ白雲ノ子ハ、非思量ノ青山不動ノ體ヲ以テ父トナル。○明月ハ水ヲ借テ家トナスナリ。○天台大師止觀ニ、天上ノ月ハ體ナリ、水中ノ月ハ用ナリ。アルトキノ水ヲ借テ處處大水小ニ宿ルナリ。是レ即チ用ナリ。○今日分別思量ガ處ニ現ズレドモ暫クモ止ルコトハナイ。○未一、不見道、法華經曰ク、今日乃知、眞ニ是レ佛子ナルコトヲ。從佛口生シ從法化生シアル佛ノ金口ヨリ、法ヲ説カセラルル處ヨリ生ジ發心シ、○ソノ法ノ化益ニ因テ今日ノ人人ガ法ニ入ツテ發心シ佛道修行、是レ佛子ナリ。○已ニモハヤ、恁麼ニ佛子ニ違ヒハナイコトヲ得タリ。○ナントシテカ木ノ本ニカヘリ、法ノ源ニ還ルト云フハ、事轉タ

【上堂35】

△白雲一、思量分別ハ青山ノ非思量ヲ父トシテ一先向ノ枕詞ヲ出シテ、從佛口生一佛ガ父、法ガ父ニキワマリタ。既恁麼佛法ガ父ジャニ、因何一、本ワ木ノモト、源ハ水ノ源、人々ノ心源ハ本ト出ヌ物ユヘ、カヘルト云コトモナヒ。ソレヲ今返レ本還ルト云、差フタコトジャ。ナゼニ尽過去際ヨリ尽未來際迄、ドコニモ無住デ居ル処ガナケレバ、家ト名付ルコトガナヒ。一十二時中ナンニモヨル処ガナヒ。有二モ無ニモ住ミ家ガナヒ。古哥ニ、「イツクトモ心トマラバ スミカヘヨ ナガラヘバマタ 元ノ住家ゾ。

違フタコトシヤ。返還ノ二字ガ餘ル。何ノ時カ本原ヲ立出タルト返照スベシ。○本トハ、本ヨリ以來タ無住ニシテ、ドコニテ住スルコト無シテ坐著シテ、居ル處無フシテ、《Gata》故ニ家トナヅケズ。△十二時中ハ一日ナリ。又ハ一月一年百千萬年モ一物ニ依倚スルコトナシ。元來無物ナルガ故ニ、不<sub>レ</sub>依<sub>ニ</sub>有物無物。

【上堂36】

○感ハ、水ノスンダル處ハ感ナリ、月ノ移ルハ應ナリ。心水ガスンデ自ラ感ズレバ法ガ應ズル、其ノ間ニ道ガ交ル。感ジテ應ズルトキニ無上道ガ交。○夫レヲ喩バ丁度、山呼バ谷響ノ如クシ、此方カラ喚ニ因テ向カラ應ズルナリ。△修スル處ハ因ナリ、三菩提ヲ得タルヲ果ト云。元ト是レニツナフシテ對待ヲ絶シテアルモノナリ。サルニヨツテ衆生受<sub>ニ</sub>佛戒、諸佛ノ位ニ入ル、是レ諸佛子ナリ。故ニ初發心地ニ果ハ熟シテアル。正覺成就シテトキニハ、六度萬行ノ花ガ開クナリ。因ハ先キニ果ハ後ナリト覺スベカラズ。因圓滿シ果圓滿スト云。○夫レハ如何ントナレバ、菩提ハ樹ノ如ク長ズルモノデハナイ、元ト樹デナイモノシヤ。是レ六祖底ナリ。理體ニ在テ云フコトナリ。非<sub>レ</sub>論<sub>ニ</sub>花先果後。○丁度ソノ如ク、明<sub>一</sub>、心鏡ト云モノハ亦タ臺ニノセテ胡來レバ胡現ズル様ナモノニアラズ、本來空ナルモノ。不<sub>レ</sub>假<sub>ニ</sub>因果修證琢《Gata》磨。○扱テ此ノ手ノハナレタ道理ヲ合點シテカラハ、毎常ソノタビゴトニ地獄餓鬼畜生ノ異類中ニ行テ遊戲スルナリ。○文殊・普賢ノ如ク、又タ且

【上堂36】

△感應一切ノ法ノ感ジテ應ズル。水ノ清ハ感、ソコヘ月ガ應ズル、ソレヲ喩ヘバ山呼ヒ向フニ相手ニナルモノハナケレドモ、感ズル處デ響ク。其コトク因ガ果ニナルト云コトモナク、果モ又因ヲ待ト云コトモナヒ。因心、初發心ヨリ修行スル處ガ因ノ阿耨菩提成就スル處、果心、初發心ノ因心ガ圓滿心ノ果デ、初發心ノ時ニ果ガ熟シテ花開ク。始ニナヒ物ガ終リニデキルモノテ無ヒ。コレ因果一枚デ前後ナシ。ナゼニ、菩《11オ》提ト云モノハ樹デ無ヒ。其通り、人々心地ノ明鏡ハ世界ノ鏡トハ違テ眞諦門ノ鏡、無形ナリ。無常ニカフユウ境界ヲ得テカラ沙門轉身ノ一路ヲ開キ、尊貴ヲ轉身シ、異類中ニ角ヲ戴キ聖胎長養ノタメニ五道輪廻スル。爰ハ理性ノ法見ヲ泯ズル修行。カフユウ境界ヲ得テカラ無明山上ノ八万四千ノ煩惱ノ中ヘ入テ同行ヲ修シ、雨トナリ露トナリテ、走シテ向フノ煩惱ヲ断シテアル。二句一意一此下デ法ヲ合點シテアラバ、鑊頭一モ一吹デ其滅セシムル境界一。

ツ好コノンデ六道輪回シテ衆生ヲ教化スルナリ。應物現形ニシテ化  
度スルナリ。○古徳ハ同安十玄談轉位ノ句ナリ、隨處得自在、  
衆生入煩惱海、全體其ノ濁ト共ニ同事ヲ示ス。○無明山ニハ其ノ  
迷ト雲霧雲雪ヲ同味(味カ)ニ本光同塵、悲體皆雷震ノ如クト云。  
此ノ處ニ向テ薦得セバ○一百三十六地獄ノ内二十八地獄苦極ナル  
アリ。ソノ中ノ四ツヲアゲテ、鑊湯地獄、爐炭地獄ニ入テ、上三件  
ノ如ク人ト吹テ滅セシメテ入苦境ニ與レ藥。○劍樹地獄、刀山地獄ヲ  
モ喝シテ令摧、一喝ニ摧ケシムルナリ。地獄三塗未レ苦境界ナリ。

【上堂37】

○上堂。萬行門中デハ、春來レバ蘆葡ノ花ヲ弄スルコトモアル。  
△蘆葡ハ梵語。此ニ曰黄花、クチナシノ花ナリ。○冬至レバ實  
際利地ノ銀椀ノ雪ニ吟ジウタフコトモアル。春冬ヲ學シテ四時  
ヲ含ム。此ノ様ニ四時變轉スル。ソレニツイテ古人ハ、盤山ノ寶  
積禪師云、心ハ萬一トハ、手前ノ心ト云モノハ、善惡、春ハ花冬  
ハ雪ト萬境ニ隨テ轉《Gusa》ズルモノナリ。○ソノ轉處ヲヨク照  
シテミルニ實ニ能ク幽玄ニフカク微妙ナリ。立腹シテモ角ガアル  
デモナク、喜デモイツクシイデモナイ。花トモ雪トモナランモノ  
ジャ。○夫ヲ春來花ト、冬至レバ雪ト、ソノ流ニ隨テ不變ノ法性ヲ  
認得シ、辨ヒ知リ得レバ、迷テモ無レ憂、悟テモ喜ブコトモナイ。  
轉、實ニ幽玄ナリ。○隨流ト云ニ付、入レ山。兕ハ野牛ナリ、一  
角青色ナリ、重サ千斤。先ツ世間法デ、入レ山虎ト兒(兕カ)牛ト

【上堂37】

△春來。蘆葡ハクチナシノコト。是ハ時節因縁デ春ル來レバ花ノ  
上ニモ其理自アラワレ、冬來レバ、雪ノ上ニモ其理、一爰ノ吟字  
ハ吟詠ノ意デ、上ノ弄スルト云字ト張合セラレタ。心隨萬境一春  
ハ花、冬ハ雪ト轉ス。其轉處ヲヨク見レバ幽也デ、雪ト轉ジテ雪  
ニ繋レヌモノ、其轉スル流ニ隨テ佛性ヲ見サダメテ、上、佛界ヘ  
轉シテモ無喜、下、衆生界ニ轉ジテ憂モナクト説キ立テキテ一  
虎ハ山獸王、兕ハ野牛也。一將軍ノ勇迄ハ枕詞。一真諦門衲僧  
ノ勇氣ハ寒時ハ寒イコトノナヒト云迄合点スルナリ。ソウシテ  
還テ一尺竿頭ハ法ノ極則上リツメタル處、爰へ今夕進マヌモノ  
ハ上タガヨイ、又、上タ者ハ退一步シタガヨイ。

ヲ畏レザル獵師ノ勇トスルナ(リ脱カ)○水ニ入テ、蛟龍ハ鱗アルヲ云、龍ヲ避ケザルハ漁者ノ勇。△白刃ノ前ニ臨デ死ヲ畏レズ、死ヲ見ルコト生ノ如クニ思フハ將軍ノ勇ナリ。是レ俗體(諦カ)門也。△眞體(諦カ)門ノ衲僧ノ勇ハ、寒ノトキハ闍梨ヲ寒刹(殺カ)シテ寒ク無イホド坐禪セヨ。熱ノ時ハ闍梨ヲ熱刹(殺カ)シテ熱無イホド坐禪セヨ。○還テ落着ノ處ハ法得テソレニ縛セラレズ、有<sub>ニ</sub>游<sub>一</sub>也。○法ノ極則上リ詰タ百尺竿頭ノ身ヲ振ルコトモナラヌ。是ハ阿耨<sub>一</sub>提心ノ決極、此ノ處ニ到ラヌモノハ一步ヲ進メ、到ツタモノハ一步ヲ退ヨ。一步進メテ去シ、一步ヲ退テ却來セヨ。染ト云、ス《542b》ルコトナカレ。

【上堂38】

○十五<sub>一</sub>ハ、無差別門ナリ、萬法一心ト云、諸法實相ト見ルナリ。○已前ハ過去ニシテ、月ガ一切諸法ノ萬像ヲ吞却シテ琢シテ成<sub>ニ</sub>、萬法唯一心ノ一顆ノ明珠トナツタ。○十五日已後ハ未來ニシテ、ソノ月ガ萬像ヲ吐却シテ鑄テ幾多ノ明鏡ヲ得タリ。是ハ有差別門ニシテ一心萬法ト云、實相ガ諸法ナリ。へ法ノ自由ヲ云。コレニツイテハ次ニ移ル。○古徳ハ盤山ノ寶積禪師云ク、心月孤圓ニシテカカリ、○クモリナイ體。○ソノ月ノ用ハ光リ萬像ヲ吞デ月斗リニ成タ。○ソノ月ノ光リガ、目前ノ境ヲ照ラスニアラズ。此間無<sub>ニ</sub>老僧<sub>一</sub>、自己ヲ昧却シタ。○又タ境モ亦存スルニアラズ。目前無<sub>ニ</sub>闍梨<sub>一</sub>、佗ヲモ脱落シテシマフタ。○コノ光ノ自己、境ノ他己、共

【上堂38】

△十五日已前ハ千差ヲ坐断シ實際理地、一故二月一顆デ一塵モ外ノモノハ無ヒ。又十五日已后ハ瓦礫放<sub>レ</sub>光時節デ、一切諸法ガアラワレ一切諸法ガミナ月ノ鏡也。古句ニ、「月一ツ持又草葉ノ露モナシ。」光非照境、光ノ外ニ境ガナケレバコノ方カラ出テ照スデモナヒ。境亦非存、向フガ相手ニナリテラヌカラ、月一ツ自己他己一ツ、光境俱忘<sub>一</sub>光ナラズ境ナラザルモノハ、復は何物<sub>一</sub>領畧<sub>ヘ</sub>キリモリ、キクバリ<sub>レ</sub>シタラヨカラフ。《11ウ》先、光境共ニ泯シタ時ハ淨智圓明デ、般若ノ智斗リテ外ニ境ガナヒ。冥智トハ吾レシラズニ冥合シテアルト云ギリ、智ニ冥合スル境ガナヒ。又、境ヲイヘバ、心境對待ナヒモノユエ境ヲイエバ境斗リ、境ノ外ニ智ハナ

ニ忘ズルトキニハ、月トシタモノカ、又タ是レ何ノ遍界遍月ジヤ。  
 ○領略ハスベヲサメ。○都理ヲ領ト云。譯文詮蹄ニ領略ハ切り盛  
 リヲキクラベスルト和訓スルナリ。○光境共忘ジタ處ガ○清淨ノ  
 智慧ガ圓ニ明ニシテ明智斗リニシテ、明智ノ外ニ冥合レ知ノ境無ク、  
 淨智斗リナリ、心外無別法ナリ。○目《543a》前ノ境ノ方デ云ヘ  
 バ、心境絶待ニシテ境斗リニシテ、境ノ外ニ照境ノ智無シ、境斗  
 リ。○又タ不<sub>レ</sub>、十玄談ノ破還郷之曲ニ云ク、賓主<sub>一</sub>ハ、向ノ境  
 ノ賓ト此方ノ智ノ主ト存スルトキハ、全ク是レ妄ナリ、妄想ナリ。  
 ○光ノ君ト境ノ臣ト合シタハヨイ様ナコトナレドモ、合フタト云  
 ハ正中ノ邪ト云モノジヤ。ソコヲ轉ゼンケレバナラン。賓ノトキ  
 ニハ賓斗リ、主ノトキニハ主斗リ、二ツ立セン。○還テ<sub>一</sub>木馬<sub>一</sub>  
 頂ハ、十五日已前ハ向<sub>ニ</sub>去嶺、○向去斗リデハナランカラ、○泥  
 牛<sub>一</sub>十五日以後ハ泥牛却<sub>ニ</sub>來海田<sub>一</sub>耕ス。眞空ノ妙有、此道理ハ參  
 究シテ知ルベシ。

【上堂39】

○當山初祖ハ如淨和尚ノ剃度ニシテ、寂圓和尚上ノコトナリ。此  
 方ニ來テ寶慶寺ヲ開キ玉フ。義雲和ハ永平寺ノ住職ナレドモ、寶  
 慶寺ヘ請ニ逢テ行キ玉フ故ニ當山初祖ト云ナリ。○本師ノ供養ジ  
 ヤカラ、拈香云ク、此ノ一瓣ハ一片ノ香、自己ノ胸襟ヨリ拈出  
 ス、人ヨリ得タルニハアラス。此ノ香以テ○先師ノ法恩ニ酬ヒカ  
 ヘサント欲スル處ノ心ハ、還テ怨ノ忘レザルガ如シニ、師恩ヲ忘

ヒ、現処即心ノ処ナリ。君臣合処<sub>一</sub>君ハ光リ、臣ハ境也。ナンデ  
 モニツニヨセテ對スルモノナヒ処ニ、君臣ニツ立シタワ正法ノ中、  
 邪魔ナリ。木馬、境ニツナガレヌ木馬ノ嘶ト云デ死中ニ活ヲ得ル  
 処。又一ヒ入海、是非ヲハナレタ泥牛ガ起キテ其海ニ祖父傳來ノ  
 心田ニ不染汚ノ修證デ耕シテ、上句、木馬<sub>一</sub>ハ向去、下句、泥牛  
<sub>一</sub>ハ這辺ニ歸リ來ル処。<sub>一</sub>參<sub>一</sub>、コノ道理ハ諸善知識ニ胸ノイタ  
 ム程參シテシレ。

【上堂39】

△當山初祖ハ寂圓和尚、如淨ノ剃度、孤雲之法子也。瓣香コト事畧  
 ニ詳也。胸襟<sub>一</sub>、外カラ得ヌモノ。如<sub>レ</sub>怨トハ、本ノ本法無法カラ法  
 ラ起コシテ子孫ノタメニスル、ソレヲ實際理地カラ見レバ如<sub>レ</sub>怨。  
 又下句、其意ノウラデ見ルベシ。恩如<sub>レ</sub>怨ナレバ恩ヲコヘ、怨似<sub>レ</sub>  
 恩ナレバ怨ヲ超ヘル。コノ処ハ二無ク三無ク、アタリ前。是<sub>一</sub>、  
 コノ本分デ上ニ向テ用レバ、<sub>一</sub>光彩ハツヤガ<sub>レ</sub>ヤキトナル。又、

レタコトハナイ。○《543D》先師ガ得ルモノニアラザルモノヲ色色二指揮スルハ、勝義ノ無法ノ處ヨリ見ルトキニハ、全體其ノ恩徳ノメグミガ怨ノ様ナモノ、背諾不<sub>レ</sub>全ト道語(悟カ)ノ云ハレタ如ク、又タ如淨和尚ノ云フ天童尋常瞞<sub>三</sub>學人、永平還テ瞞<sub>三</sub>天童、此ノ如ク恩還テ如<sub>レ</sub>怨。○ソノ怨ヲ報ヒカヘサントスレバ、逆ノ怨モ亦順恩ニ似テ忘レラレヌ。○如<sub>レ</sub>怨ナレバ超<sub>レ</sub>恩ヲ、似<sub>レ</sub>恩ナレバ越<sub>レ</sub>怨ソノ恩怨ヲ超越シタトキニハ怨デモ恩デモナイ。コレ本分ノ事ナリ。○コノ非<sub>レ</sub>恩非<sub>レ</sub>怨一ノ本分ノアタリマヘヲ以テ、上日一辰ノタメニ光彩トナツテ照ラシタモノ。○又タ下ヘ持テ來レバ強イ處ノ萬木ト和ラカニ生ジタ處ノ百草ノ爲メニ、靈根ト作ツテ造化シソダテルナリ。是レ本分ノ事ヲ以テスル。○此香ヲ爐中ニ爇向ケテ、先師ニ供イ獻ジテ用法乳ノ恩ニ酬ント欲ス。○俗諦門ノ養ヒハ百味ノ飲食母ノ乳ヲ以テ色身ヲ養フナレドモ、眞諦門ハ此ノ法ノ乳ヲ以テ法身ヲ養テ貫タ處ノ恩徳ニ酬ルナリ。○乃チソコデソノママ○先師ノ體ハ萬機トヨロツノハラタキガ休罷シタナレバ、一生不生前後裁斷、是寂ヲ《544B》云、正ナリ。先師ノ用ハソノ處ニ一物有テ三世常住長ヘニ靈ナリ、照ヲ云ナリ、偏位。○先師ノ定ハ太虚寂示タリ、上ノ萬機ヲ打チカヘシテ萬機ノ處ヲ云フ。○ソノ處ヨリ霹<sub>一</sub>ガ、ハツシリト唱リ出シテ、轟轟ト車ノ如クナリ。先師ノ慧ヲ云フ。○未審シ、イマダツマビラカナラン。○先師平生ノ不斷ハ什麼ノ心行ココロヤリゾ。萬機休罷ノ處カ一物長靈ノ處カ、太虚ノ處カ霹<sub>一</sub>ノ處カ。○永平和尚歸朝ノ後チ、寂圓和尚

下ニ向テ用。用ル時ハ萬木ノ靈根トナリ、法花ノ三艸二木ノ字ヲ取りカヘテ用ル。有情無情、恩ニ湿フナリ。爇ハ、タク、トヨム。一萬機休罷ハ、ヨロズノ働ヲヤメ、念想觀ノ測量ヲヤメタ処。走シタトテ断滅デ無ヒカラ、一物長靈也。太虚一、一心本ヨリ寂ナモノ。ソコニ計リ居テハナラヌカラ、或ハ霹<sub>一</sub>ト逆行ニユキ、又順ニ行ク時ハ、太虚寂爾一心行ノ太虚ノ処ニゴザルカ、霹<sub>一</sub>ノ処ニゴザルカ、其処ヲイワ、一吉祥孤雲嶺ノ風月ヲモテキ、薦福山ヲ開山セラレタ。是孤雲ノ法乳ノコトヲ含ム。此清風ト明月トニハ《12オ》元ワケノアルコト。先、清風ハ、昔達磨、天竺ヨリ三年目、唐ヘツカレタ如ク、其様ニ唐カラ日本エゴザッタ。又明月ハ、一葦ノ小舟ヲ浮テ南海廣州ニ付レタゴトクデアル。コウユヘバ、去來ノ路ガ見ヘルガ、一拾遺、ノコシヲカレタヲヒロウ。在<sub>ニ</sub>永平一時ハ客裡也。二祖ハ孤雲和上ナリ。不<sub>ニ</sub>外出、口三寸ヲハナレヌモノ本舌頭ヲ動著セヌ者ユヘ、本ノ說法ニハ法ノ説クベキナク、又本ノ聽法ニハ法ノキクベキナシ。腦烈ハウナヂガサバケ、アタマヲアゲルモノガナヒ。外ニ聞テモナク説テキカセル者モナク、モノガニツ立タヌ獅子吼斗リ。似<sub>レ</sub>無<sub>レ</sub>益、コレハ聞キソコナヒ。無<sub>ニ</sub>一人一<sub>一</sub>走デナヒ、此恩ヲ受ケザルナシ。百獸皆手前ニ獅子吼ヲナス、コレデ一音ニナリタ。萬曲是<sub>一</sub>、千獸、萬、猶有フガ唯一声、如來常住無有變易一嘯クハ、ソラ、ウソムイテ贊スレドモ不<sub>レ</sub>喜也。達ハイキ届クコト也。頌。獅子吼ノ時ニ諸法ハ一ツモナイカラ百獸喪ス。唯如來常住無有變易也、佛性斗リ。ソコデ死活自

日本ニ到ル。永平和尚ニ隨侍後ニ孤雲和尚ニ嗣法スルナリ。此ノ寂圓和尚ノ日本ニ來ルヲ、達磨ノ東土ニ入ルニ比ス。○孤雲嶺トハ、懷奘和尚ハ永平開山ニ侍眞シテ御座ラレタ處ヲ孤雲嶺ト云フ。寂圓ハ二代孤雲ノ嗣法ジャカラ、○吉祥山永平寺ノ孤雲嶺ノ清風明月ヲ持チ來テ、薦福山寶慶寺ノ深ノ巖ノ扉ヲ排シ、ヲシ開カシムナリ。○此ノ孤雲嶺ノ清風ハ何レヨリ來タナレバ、達磨ノ西來セラレタトキハ三年掛ケテ來ラレタ。ソノ棹ニ隨テ來タナリ。滿八月ノ圓滿ト云フ意ナリ。此ノ孤雲ノ明月ハ達磨大師ノ南海一葦ノ船ヲ逐ツツイテ來タモノナリ。皆ナ是達磨《54D》ノコトニシテ寂圓和尚ノコトヲ述ルナリ。是迄デハ去來ヲ云。下ハ去來ヲ離レタコトヲ述ル。○扱テ、上ミ、此ノ様ニ一葦ノ船ニ隨テ到ツタト云ヘバ去來ガアル様ナ、ソノ去來ノ路ニ涉ラズ、阿誰カ正恁麼ノトキニ三周ノ棹ト一葦ノ船ニ隨テ來タル時キ、誰カ敢テイサシテ先師ノノコセル處ノ清風明月ヲ拾ヒ揚ゲテ起處ノモノハ誰デアラウカ。○先ツソノ師ノ修行事ノトキニ、○擧一、二祖ハ孤雲和尚ナリ。○師子吼トハ、三千界ニ獅子起ヘタル獸ハナイカラ、如來ノ金口ノ説ノ一言ニナル。涅槃經ニ、師子吼トハ名ニ決定ノ説、コレナリ。○祖曰ク、ソノ獅子ノ一言ト云ハ不<sub>レ</sub>落<sub>ニ</sub>有<sub>ニ</sub>語<sub>ニ</sub>無<sub>ニ</sub>語<sub>ニ</sub>不<sub>レ</sub>掛<sub>ニ</sub>唇<sub>ニ</sub>皮<sub>ニ</sub>カラ更<sub>ニ</sub>外<sub>ニ</sub>ハ出<sub>ニ</sub>デヌ、耳ヲ以テ聞クベカラズ、言論説法ニ涉ラズ。○師云一、祖云ク百トハ、如來ノ説ハ毒鼓ト同ク盡大地皆死、煩惱無盡誓願斷、百獸ガツラ出シラ仕様ヤウモナイ、皆ナウナジガ裂破シテシマフ。○師云一、夫ナラバ太ダ利益

由ヲ得テ死中ニ斗リ居テハナラヌカラ、和合同時ニ其曲ヲ奏スル処デ、直ニ洞山新豐ノ曲ト作テ、一切觀法ニ於テ大自在ヲ得ル。念想觀已除キ有觀無觀共ニハナレタ般若不可思議ノ觀門ニコレヨリ通ズ。

モナイ様ナモノジヤ。○祖云ク一會ス、百獸ガ皆ナ獅子吼ヲナス  
トキニハ、不レ論ニ上智下愚、諸法實相ニシテ獅子一音斗リニシテ、  
外ノ音《545a》聲ハナイ。○祖一○師云、法門ハ無量ニシテ萬曲  
ナレドモ、是一聲デ唯一佛乘ジヤ。萬法ノ曲調ガ有テモ是レ一聲  
心外ニ餘法ハナイ。○祖曰、汝能音ヲ觀ジテ理ニ入ル處ノ門ニ通  
達シ、能ク上手ニ師子吼ヲ聞キ得タ。○師作一、響フレテモ悦バ  
ズ、ソコニ著セズ、拂袖シテ嘯キ去テ、ウケガハン様ス。入ト云  
處ヲ點ジタ。○頌云ク、師子一吼スルトキニハ、雪峯云ク、今日  
堂中大有レ人喪身失命ス、衆獸喪シテ餘ノ萬法ガナク、唯一佛乘斗  
リナリ。○ソノ喪シタ處ノ死中ヨリ師子吼ノ活ヲ得テ却テ和同シ、  
同道唱和シテ百獸ガ皆ナ師子吼ヲナス。○夫ヨリ一聲ノ洞山門下  
新豐一曲ヲ奏シカナデ出シタナリ。○夫コデ此ノ一曲ヨリ、觀自  
ノ普門ニコレヨリ通達自在シタモノナリ。

【上堂40】

○一心一心朝サ起ルヨリ暮寝ル迄、生ヨリ死ニ到ルマデ、異心ノ  
ワカレル別ナ心ハナイ。諸法ガ實相ナリ、實相ガ諸法ナリ。○去  
ルニヨツテ一心ガソノママ一切法ナリト、念トニツハ無イ。○去  
ルニヨツテ此ノ一念ガ萬年アリ。遍觀無量劫○無量劫事即而今。  
是ハ花嚴ノ文ナリ。○一念普觀一ハ實相ガ諸法ナリ、無量劫事一  
今ハ諸法ガ實相ナリ。

寶慶寺語錄終

【上堂40】

△心々一、ヒロクイヘバ、過去モアリ現在モアリ未來モアリ、コ  
ノ心々ノ無ヒモノハナヒ。昨日ノ心ジヤト云テ古イコトモナク、  
今日ノ心ジヤト云テ新イコトモナイカラ、スベテ一心デ異法ナシ。  
コノ一心ガ一切善惡ノ法ニヲシ渡リ心ト云カラ、念ト云念ハ波ノ  
ヨフナモノ、心ノ上ニスエテハタラク。念々善テモ惡テモ、ヤハリ  
手前ノ念、一念ノ二底ガヌケテ其レギリチモノ、頭ヲフル時左右  
一時ニハ、フラレヌ。善惡モ并デアアルモノデナヒ。善ノ時ハ善念

ギリ、又一念萬年、只一念デ、尽未來迄指シ透シテアル。  
《12ウ》

【上堂41】

○入院ニ付、百丈大知(智カ)ヨリ禪僧ハ禪寺ニ住シ、教宗ハ教寺ニ住スルナリ。其ヨリ前キハ埒ナシ。教モ禪宗モ何モカモ勝手次第ニ住山ス。百丈ハ双林ノ開祖ナリ、規矩根本ナリ、義雲和尚ハ(六ノ誤カ)十二歳ニシテ永平寺ニ御入院ナリ。  
○處ニヨツテ山門ヲ三門ト書クトキニハ、空門無相門無作門、是ヲ三解脱門ト云ナリ。

○山門。天上ノ金鷄星ガ唱クトキニハ、人間ノ鷄ガ曉ヲ報ズルトキニハ夜ガ明テ○ソノトキニ三解脱門ガ開クナリ。ツナガレヌヲ解ト云、自在ヲ脱ト云。○ソレヨリ依然トシカルニ因テ歩ヲ引ク、ソノ一步一步○脚下ニ風ノ法、雷ヲ起ル。此風雷ヲ以テ群生ノ眠ヲ覺ス。風雷ハ如淨録山門ノ香語ニ、到ニ翻關板ニ起ニ風雷。活法ニ、東坡ガ詩ニ、遊人脚下一聲ノ雷。○永平寺ノ佛殿ハ唐ノ徑山寺佛殿ト同而、阿彌陀過去・釋迦佛ハ現在・彌勒未來、三尊ヲ立ルナリ。《546a》

○佛殿。如來世尊ニハ密語ガ在テ云ハヌト云コトニハアラス。大地ノ鳥類モ人間天上モ、同ク聞ク處ノ密語ナリ。門庭施設。○長舌トハ、如來ハ四十九年長舌ニシテ説キ玉フケレドモ、了リニ一字不説ト云タカラ、元ヨリ唇ヲ動ゼヌ。舌頭談ジテ不談、入理

【上堂41】

△山門。金鷄一バ、其時ニ應シテ三解脱門ガ一時ニ開ク。三世佛モ此三解脱門ニ向テ進ム、吾モ其如ク依前ハ一猶ニ宛然也、モトノゴトシ。不繫曰レ解、自在曰レ脱、梵ニハ曰ニ<sup>三</sup>脱<sup>三</sup>也。

△世尊一、涅槃經ニ如來ニ有ニ密語ニ無ニ密藏、アラワシテ説テモ知ラヌ者ハ知ラヌ。其知ラヌ人ノ手前デハ密語ナリ、拈花ノ時迦葉獨リ合点スレバ迦葉ノ手前ハ不ニ覆藏、八万ノ大衆ノ手前ハ密語ナリ、佛ニ秘密ト云ハナヒ。長舌一、佛ノ舌ハ平生ハ髮際ヲ過

ノ深談ナリ。○如來ノ密語ノ語、密輪ニシテハ又ニハハズ、コノ密語ヲ迦葉ハ不聞ノ聞ニシテ見破セラレタ、手前デハ覆藏セヌ。○ケレドモ八萬人ノ大衆聞カヌ。ソノ聞カヌ方デハ密語ナリト云フ。○コレヨリ佛法現前ス。沙界ノ内トナツテ、國家コレヨリ脱カシ富貴ニナツタ。○ソノトキニハ安樂世界ノ阿彌陀佛モ右邊ニアル、知足ノ彌勒佛モ左邊ニアル。中間ノ釋迦佛ハ云ハズシテ云フ、中のヲカサン。○右邊ノ阿彌陀ハ正、左邊ノ彌勒ハ偏、中間ハ釋迦佛ナリ。曹山ノ言バニ以君臣偏正言者不<sub>レ</sub>欲<sub>レ</sub>犯<sub>レ</sub>中。○據室ハ印判ノ引渡シアリ。

○據室○一丈ノ室中ト云タハ毘耶維摩ノ室、方方一丈ナルヲ云。○一丈水ニハ一丈ノ波ガ立ツ。ドチラカラ數ヒテモ方丈ナル處ノ室中ジヤ。○此一丈ノ室中ニライテ、佛祖ノ曲ニマネシテ、手前《SUD》モ能ク下俚巴人ノ歌ヲ唱ヒ麁相ナ曲ヲ唱ヘテ、古人ノ如ク好イ新豐ノ曲等ハ唱ヘヌ。○今日ハ昔時毘耶離城ノ維摩詰ハ、八萬四千ノ獅子ヲ設ト云ケレドモ、ソレハ小神通ニシテ、勘破シ見破リ了レリ。○如トハ、今日ナドハソノ様ナ○八萬四千ノ閑坐ノムダノ坐ハ入用デナイ。○上ニ云フ波モ一丈水モ、一丈室ナレバ、縱横ニ擬ナリ議ヲ入ルコトハナイケレドモ、○亦タ是レ今日ハ佛法ヲ唱ヘズンバナルマイガ、皆ナ是レ脚跟ニマトフ處ノ葛ノフジカズラ、舊窠ノフルスト云モノジヤ。皆ナ人人此内ニ安住スルナリ。此ノ葛藤舊窠ハ、佛傳來ノ葛一舊一ニシテ、佛祖ノ慧命血脈ナリ、好キコトニナルナリ。

ル、妄語ナキ報ナリ。神通時ニハ三千界ヲラウ。不出口一ハ、不<sub>レ</sub>外出ニ同シ。無語中ノ有語デ四十九年一字不説、コレ不出唇ナリ。ケレドモキクモアリ、キカヌモアリテ、迦葉底ハ不<sub>レ</sub>覆藏也。家國一、如來ノ家が大二富ム。先今日デ六度ノ財宝ヲヒロゲテ八萬ノ法門ヲ開ク。コレミナ富也。今日進山デ、左ハ彌陀、右ハ彌勒、中尊ハ兼中到釈迦、コレハイワヌ。

△據室。一丈水一、先水トナリ波ト成テモ只一丈ノ水、方丈中ニ於テ佛祖傳來ノ巴歌ヲ唱ヘル。ソレヲ唱テカラハ、毘耶ノ小神通ヲ勘破シ見ヌイテシモウタ。走シテ見タレバ八萬四千ノ獅子座杯閑具デ、目ニカカツモノガナヒ。十方無碧落、四面又無<sub>レ</sub>門境界ジヤ。ソレユヘ、今ハカケサワリナヒカラ、縱横、タテヨコ一丈ノ波、ドチラヘ向イテモ自由、亦是一ツ、室ツニ入テ大法ヲ擧揚スルト云モ葛ノ藤ヲラ、ヨウナ旧ル窠ジヤ。開山ヨリ二代徹通寒岸寂圓義雲一六代ノ葛藤也。

○陞座。祝。○此ノートハ、此ノ五分法身ノ此香ヲ以テ、果圓満ノ佛佛ノ最初肝要ノスル處ノ鼻孔ヲ穿鑿シ○ウガチ、ホツテ、生佛不萌色空未露ノ混沌ノ靈妙不思議ノ熏氣ノイキイキトシタル香イヲ、上ノ鼻孔ト云ニ付テ通ズルナリ。○夫カラ佛ヨリ下へ下ツテ因圓滿ノ佛行、祖祖ノ骨體(髓カ)皮肉ヲ此香デ包容シテツツミ入レテ、此香ヲ以テ兒孫繁茂ノ根本蒂(《GATB》綴ヲ缺メナク全フスルナリ。○ソウシテ此香ヲ爐中ニ熱向シ、タキムカウテ。○提綱ハヲツナヲ提レバ、小目ノアミハ皆ナアガルナリ。△半途半路ハコチラト○アチラトノ中程ノ第二義門頭ニ出デ、洞山門下ノ新豐一曲ヲ歌ヒ吟ズルコトヲナシ、○ソウシテ、驀ニアタマカラ空劫ノ處ニ居テハ人ノ爲メニナランカラ身ヲ轉ジテ、ヒネリ回シテ今時ニ出デ人ノ爲ニスル。○夫ヲ云ハバ谷含一、師學道聲相ヒ應ナリ。○同氣相求テ、永平寺ハ山ハ寂ナリ、吾レ元ト寂ガ好キジャカラ、此山ノ寂ナル處ニ至ツタ。丁度寂ヲ愛スルノ人ニハ寂ガ付テ回ル様ナモノ。○腦後一ハ、ソレカラ此山ニ來テ開山ノ宗風ノ道ヲ唱へ様ト思フテ、腦後ニフリカヘツテアトヒモドリ、義雲ヨリ寂圓・寒岩義尹・孤雲懷奘・道元祖ト、ウシロノ方ヒ向ヘテ開山ノ踵ヲ繼ギ、論語ニ故ヲ温ネ慕フナリ、是紹ハ是レ功ナル(ヲ脱カ)、云レ究ニ盡過去際ノ初。○目トハ、今日ハモハヤ住持トナツテ、目前對待ヲ亡ジテ○論語、温レ故知新ト云ハ、今ハ知レ新ヲ我レ斗リ紹ギ了レバ非レ功ヲ云。《GATB》及ニ盡未來際ノ終。○孤輪トハ、温レ故、新任持ニナツテ、法ヲ唱へルジヤカラ、孤

△此香一、上ニ向テハ佛々ノ鼻孔ヲ此香デ穿チホル。ソレヲ何ニスルナレバ、佛祖未分ノ混沌。靈一、又下ニ向テ髓皮一、髓皮肉一。根蒂、木デイヘバ根花デハ花一。

《13オ》

△提綱一。大法ノダタイヲ云。半路ニ一、佛ノ出世モ往キツイタ処ニハ居ラス。ソコヲ出テ第二義門ニ下テ、走シテカラ洞山新豐ノ曲ヲ唱フケレドモ、途路ニ居リナガラ、驀頭、アタマカラ行李スル処ハ空劫ニ轉身シテ、ヤハリ入理ノ深談ワハナレヌ。其レ故、今日進山シタ谷ハ含ニ此句。向フカラ請スレバ、應シテ入院スル義也。山屬一、吉祥山ハ元ヨリ閑寂ノ地デ、手前モ静ナ処ヲ愛シスク。故ニ一、爰デ人境一枚ニナル。腦后ウシロムイテ段々手前迄六代下ヲツギ、温レ故ハ、道元様ヘカケテ目前ニ相對スルモノナク、前ニ無ニ釈迦、後無ニ弥勒。知レ新、天上天下獨尊ノ新任持ジャ。ソレカラ、法ノ轉ズル処ハ孤輪デ、三千界ニ并ナヒ一ツノ月、四海無明ノヤミヲハラシ、暗室ニ居ル者ハ無ヒ。コレ大智慧光明遍照法界ノ処ナリ。コウシタ時ニハ達磨ノ云ハレタ一花開五葉ガ不凋、四時ニアラヌ劫外ノ春色ニ於テ、法門榮盛デアル今日ガ直ニ達磨來也。孤輪ハ秋、五葉ハ春一、夏冬ヲコメテ云。懷舊トドノ羊ナ愚ナモノデモ、孤輪ノ月ト五葉ノ春ニ、ハズレタモノハナヒ。

輪ノ心月ガ高ク輝テ、今寰中ノ一天四海ガ夜ナラズ、大智慧光明トナツタ。破<sub>レ</sub>無明極闇。○扱テ又夕知<sub>レ</sub>新。一花開五葉ノ五知五佛五位ノ花ガ開ヘテ、千古凋マズ劫波時分ノ外ノ春ニ逢フ法ガサカシマニナツタ。○若シ萬一又夕、此ノ不<sub>レ</sub>夜常ニ春ノ處ニライテ薦取シ○サライトツテアラウナラバ、○懷<sub>一</sub>桔槔ハ、ハネツルベ○子貢古事ナリ。○懷<sub>一</sub>ノ愚ナルモ、是外ニスルデモナイ。○枯<sub>一</sub>朽ノ、智アルモ新シシトモセヌ。智慧愚癡通ジテ般若タリ。不<sub>レ</sub>擇<sub>レ</sub>利人鈍者<sub>一</sub>法ジャ。ココハ○動<sub>一</sub>トハ、元ト本來寂ノ心地ヲ出ズシテ動容スルナリ。ジャニ依テ○誰ガダウシテ本來田地ノ清淨ノ虚空ノスミ切タルソラニ向テ、可<sub>レ</sub>客塵煩<sub>一</sub>ガ無イ。元ト染<sub>レ</sub>汚<sub>レ</sub>ナエモノナル故ニ、○因行圓滿ノ祖祖ハ、摩訶迦葉ヨリ大佛事ヲナスト云モ、此ノ本來空ノ心地ノ處ニアツテスルコトナリ。○佛佛ガ大法輪ヲ轉ズルトモ、此ノ本來地住シテスルコトジャ。○山僧モ今日此本來空ノ地ニ住シテ、開<sub>一</sub>。○。明月《548a》トハ、大智慧光明ガ法界定印ヲクンデ禪定ノ處ヨリ光リヲ發スル。是レ定慧ノ力莊嚴シテ、天モ清ク地水モ淨シ、定慧一枚。ソノトキニ衆生モ佛モ弟モ兄モ十法界モ共ニ、此同船ニ乗り合セテ、此處デ佛祖ニ相見ス。○。○大雄ハ佛ノコトナリ。今ノ大雄峯ハ百丈山ナリ。獨坐ハ無<sub>レ</sub>相手、兀兀坐定シテ天上天下唯我獨尊、コレガ奇ニシテメズラシイ特事ジャ。○天<sub>一</sub>大衆<sub>一</sub>、サウ云ハンモ動著、不<sub>レ</sub>追<sub>レ</sub>有緣、勿<sub>レ</sub>住<sub>レ</sub>空忍。人人鼻孤（孔カ）遼天ナル此漢ヲ坐セシム。サウシテアラウナラバ此ノ獨立ノ處ヲ知ルデアラウ。○有

斧山玄鑑の著作について (二) (岩永)

又桔槔ノ利根ナ者ガ法ニ親イ共イヘヌ。動容、下テ三惡ニユキ、上テ天上ニ動容シテモ、本來ノ心地ハ不<sub>レ</sub>出。誰、ドフシテ清ダ空ニ元ト塵ハナヒモノ。煩惱ハ當分外カラキテ客ノコトクジャ。迷テモ本來心地ヲ出ヌモノハレバ、拂フニ及バヌ。祖々於此トハ、本來心地ヲ出ヌト云於<sub>レ</sub>此ナリ。第一ノ迦葉ヨリ段々ノ祖々、又上ヘ向テ三世佛モ皆コノ本來心ノ為ニ出ス<sub>一</sub>コレデ佛祖ガスムカラ、山僧<sub>一</sub>、上ニ云佛祖ト相見ノ場処ハ、明月サヘタル月ガソラ一杯ニ照ス水天虛碧一枚、此処デ相見、佛々祖々相見、爰デ兄弟凡聖迷悟一枚。合同船<sub>一</sub>天童<sub>一</sub>不<sub>レ</sub>動著、有トモ無トモ動クナ、<sub>一</sub>坐<sub>レ</sub>殺者漢、キツウ坐セシムル、心内ニモ心外ニモ、ドチヘモ轉ゼヌガヨイ。《13ウ》者漢ハ心地ノコト。淨慈鉢盂<sub>一</sub>、淨慈カラ天童ヘ持テ来テ、爰テ飯ヲ喫ス。昨日ハ淨慈ノ飯、今日ハ天童ノ飯、三世常住ナンノ奇特カアラン。打<sub>レ</sub>人<sub>レ</sub>有力、有ニ滯リ無ニ滯ル者ヲ打ツ、他受用也。又自受用ニスレバ一瓶ノ水受用不尽也。

甚し、ナンデモ別ナコトハ無イ。淨慈寺ノ鉢一ヲ天童ニ移過シテ喫飯ス。○一枝トハ、他受用門ヲ云ハ、一枝ノ烏藤、人ヲ打ニ力ガアル。○自受用ヲ云ハバ、一瓶ノ水ガ受用シテ極リナイ。是レガ奇特ノ事ナリ。

【上堂42】

○上堂。十方一ハ、東西一ノ四方四隅天地ノ十方ニ、壁一、牆壁籬落、カベヤカキモ無ク、従本已來絶一、サヘギリサヘギルコトヲ絶ス。○欄ハ牛一ナリ、牛部屋。○東西一絶ノ四面モ又タ門ガ無イ。離<sub>ニ</sub>四句<sub>一</sub>《548》百一。○這一、ココ絶<sub>ニ</sub>遮欄<sub>一</sub>無<sub>レ</sub>門、ココカ是法ニ入ル處ナリ。○眼一、此法ニ入テカラハ、佛見法見ノ眼睛ヲ瞎却シテ、不見<sub>ニ</sub>一法<sub>一</sub>以<sub>レ</sub>瞎<sub>ニ</sub>眼睛<sub>一</sub>、ソウシテ七佛諸祖ト相見スルナリ。見ガアツテハ相見ハナラヌ。○有句無句終ニ不<sub>レ</sub>得<sub>レ</sub>物、ソノトキ道理ヲ言ニ、明ラカニ云ヘ得テ分明ニシテ、此トキ燈籠ト談論スルナリ。是レ無舌人ノ解語ナリ。○ソノトキニ頑石モ點頭シ、無心ガ無心ヲノケルナリ。○艸木トハ、松ニ無<sub>レ</sub>古今色、竹ニ上下ノ節アル如ク、艸木ガ瑞ヲ現シテ振ニアル。一佛成道觀見法界草木國土悉皆成佛ト云如ク、無情ノ草木モ瑞ヲ證明ス。不見<sub>レ</sub>一山曰、法身還解<sub>ニ</sub>一也<sub>一</sub>夕無ヤ。此問ノ原ハ、花嚴ハ如來法身之說ニシテ而無姿。故ニ諸菩(薩脫カ)ニ令<sub>レ</sub>蒙<sub>ニ</sub>威神<sub>一</sub>菩薩ノ說也。此ガ素ジ也。今云心ハ光明經ノ文ニ、佛ノ眞法身ハ猶如<sub>ニ</sub>虚空<sub>一</sub>ト云テモ頑空デ無ヒシヤカラ、應<sub>レ</sub>物現<sub>レ</sub>形如<sub>ニ</sub>水中月<sub>一</sub>ト。モフ一ツ云バ、

【上堂42】

△十方一碧落一、落字ニハ廿四通リノ義ガ有テ、碧或作壁、牆壁籬落トツキ、牆壁ハ内ノ要心、籬落ハ外ノマガキナリ。從來一、今新タニ廣フ成タコトデナシ。従本以來、遮欄ノ障ハ無イ。皆心地ノコト也。四面、東西南北、本ヨリ出入ルス処ガナヒカラ無<sub>レ</sub>門、爰ガ三世佛ノ入<sub>レ</sub>法処ナリ。コレカラハ入<sub>レ</sub>法カラ働ヲ云。瞎却一、常ノ眼デハナラヌカラ、肉眼ヲ瞎却シテ、ソレヨリ相見ス。臨濟大師、瞎驢辺ニ、トアルト同ジ。瞎却シテヨリ佛ヲ見ズ、衆生ヲ見ズ、上無<sub>ニ</sub>攀仰<sub>一</sub>下絶<sub>ニ</sub>已窮<sub>一</sub>境界ニナル。言理不<sub>レ</sub>說<sub>ニ</sub>無言有言<sub>一</sub>、無舌人ノ解語也。此時ニハ露柱燈籠ノ大無心ノ境界ト自由ニ談ズル。コレ無舌ノ解語也。又露柱ト談ジ、瞎却シテ説ク時ニハ、頑石モ點頭一。コレニツテ、不見<sub>レ</sub>一、法身清淨デ形ガナイカラ舌相ノアル筈ガナヒ、故ニ問テキタ。山曰、其道理ハ手前モ説不得シヤ、外ニ説ク者ガアル。一枕子一、コレガ無舌人ノ解語形トイコレガ法身佛シヤ。劔刃上ハ分別計較ノ及バヌ処デ法ヲ舉揚スルナリ。永平門下ニモ什麼ニハ仰山ノゴトク、滄山ノゴトクニ説キ、又キクモノモ有リヤ。△越山日暮一、永平ハ越州故ニ語縁味アリ、今此越ノ吉

説クト云バ有言ニ落ル、不説ノ時ハ應物ノ用ガ缺ケル、兩頭ヲ超越シテ法身還テ解說法也タ無ヤト。コレハ法身ハ説法成リマスカト云程之問處。○山曰ク、其《549a》ノ法身ノ説法ハ、不<sub>レ</sub>得<sub>ニ</sub>有言<sub>一</sub>不<sub>レ</sub>得<sub>ニ</sub>無言<sub>一</sub>者ジヤカラ、我レハ説不<sub>レ</sub>得、別ニ有<sub>ニ</sub>人説得<sub>一</sub>ト轉セラレタ。花嚴ノ言バ、如來ニ無<sub>ニ</sub>所説<sub>一</sub>名<sub>ニ</sub>是ヲ所説<sub>一</sub>。此意又タハ無舌人ノ解語ト問タレバ、瑩山和尚ノ無舌人ノ解語ハ燈籠露中、柱ニユヅリ申走ト云如ク、此僧氣ガツカンカラ、説キ得ル底一處ト問來タ。○山乃チ枕子ヲ推シ出シタハ是レ有句無句ヲ離レタコトヲシラセタモノ。三祖ノ語ニ絶言絶慮(慮カ)、處トシテ無<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>通ト云意ナリ。○滄山云ク、仰山慧寂ハ別人ノ枕子ヲ推出シタ。法身上ノ事ニシテ劔刃上ノ事ヲ用テ衆生諸佛ノ假名ヲ切テノケラレタ。○永平門下還テ師家ノ方デハ法身ノ説ヲ恠<sub>一</sub>、上ニ如<sub>レ</sub>是ニ説得スガ、學人ノ方デハ恠<sub>一</sub>。良久曰、○趙州ノ山奥クニ日暮ニ法ノ慧曰モ入り、タソガレニナツタケレドモ、少林達磨ノ宗風ヲ學スル處ノ客達ガ集テ學道スル、皆ナ少林ノ客ナラン者ハ無ジヤカラ、衆客達チ、法身ノ説ハ他郷ニ居テハ聽レヌカラ、子規ガ本元ノ故郷ニ不如歸不如歸ト、深夜ニ啼聲ヲ應<sub>レ</sub>聞、ヲフカタ聞デアラウガ、其ヲ返照シテ實ノ如クニ聞タガ好イ。走シ《549b》テ歸郷シテ法身ノ説ヲ可<sub>レ</sub>聞ト也。

【上堂43】

○上堂。當山初祖トハ永平道元示衆云ク、○佛祖向上ノ一路ニシ

祥山ハ谷深イ處、殊更日暮方ニ少林達磨門下ノ客達、應<sub>レ</sub>方<sub>レ</sub>方<sub>レ</sub>子規啼ヲ聞カレルデアラウ。聞テ有ルナラ人々本覺ノ故郷ヘカヘリ法身佛ニ相見シタガヨイ。不如歸去ト云ガ爰ノ取得ナリ。  
《14オ》

【上堂43】

△當山初祖ハ永平和上也。向上<sub>一</sub>佛祖向上ノ路ハ本ト二筋ナヒ、

テ無レニ無三モ、タツタ一路。○ソノ道ノ、キレイナルコトハ、玲  
 一、八方カラ歩テ出デモ、タンダ一路ナリ。千差有レ路、不レ礙ニ入  
 人。○當陽ハ天子朝ニ望デ、郡(群カ)臣ノ朝拜ヲ受ルヲ當陽ト云。  
 ○當陽ハ正面ニシテ不レ傾、迷イ悟リニ向ハヌ。當陽正面ニ向テ肝  
 要ノ樞機ノ大切ナルモノヲ、今日人人全身ニ擔持來テラル。此ノ法  
 ヲ○是ヲ縦テ放行シテ用トキニハ、眞金ノ正モ鑰子ノ似セモノト  
 掩逃藏サレヌ。ミナ法ジヤ。○非ト把住スルトキニハ、玉モ石モ  
 俱ニ焚テ、善モ惡モ共ニ一ツモ立セヌナリ。○擬トハ、此ノ處  
 デ學人ガ是ト非ト擬議シテ進マヌトキニハ盡界粉一シテ粉ニクダ  
 ケテ、ソノトキニハ總テ不恠麼ニシテ法ノ取り付キ端ガナクナル。  
 ○娘生ノ母ノウミ付テクレタ處ノ其儘ノ口ニハ、凡ヤ聖ヤ是非ト  
 云フコトヲバ掛ヌ。未正語故ニ向上ノ一路ナリ、佛モ衆生モ浮バ  
 ヌ。然レドモソレヲ自ラ傍ニ觀ル人ガ是ヤ非ト、或ハ聖凡ヤト、  
 短長ヲ論ズルモノガアルケレド《550a》モ、元ト當陽ノ一路ニハ  
 長短是非ハナイ。○一條一。識得拄杖子、參學ノ事了。此ノ拄杖  
 ガ天地ヲ拄テ天地一杯ナリ。諸法ガ拄杖デササヘテラル。○夫ダ  
 カラ更ニ誰ヲシテ迷悟長短ヲ論ゼシメン、天地一杯ガ拄杖子ナレ  
 バ、長是、短非ノ論ハ容レヌ。此ノ拄杖頭ニハ、迷悟ナク、又タ  
 迷悟アリ、モトモアリ、ウラモアリ。

【上堂44】

○上堂。一物トハ、什麼物ガ恁麼ニシ來ル處ノ此一物。非レ空非レ

凡聖一路隔テナシ、ト云テ、進ミニクイコトモ無ヒ。玲瓏ト、テ  
 リ透リヌケテ、八面、ドチラカラ向イテモ一路へ入レヌト云コト  
 ハ無イ。當陽ハ正面ノ義、凡ニ傾カズ聖ニ不レ傾、マ正面ニ働ク處、  
 コレヲ全身ソロウテカケメ無ク、我レ人ト共ニ擔來ル、凡聖迷悟  
 皆向上ノ一路ヲ持テクル。コレカラ一路ノ働ヲ云。コノ一路、順  
 ニ赴時ハ是ト云テ、黄金ノ善、鑰ノ惡、不レ覆、佛ハ佛、衆生ハ  
 衆生トソレノ二分レテアル。又コノ大道ヲ逆ニ用ル時ハ一切皆  
 非デ、玉ノ善モ石ノ惡モ俱ニ燒テステル。爰ハ圓融門也。カヨウ  
 ニ大道自由ナ働キアルヲ、學者ガ擬一シテ進マ子バ、尽界方角ガ  
 ナクナル。一不恠麼ハ、是ナラズ非ナラヌ時ハドウジヤ。是非不レ  
 掛、金鑰不レ覆ト云、是モ玉石ト云非モ娘生ノ口ニハカ、ラヌ。  
 本是非ハナヒ者故ニ、長短是非ヲ論ズルハ皆傍觀ノ沙汰ニシテ、  
 大道ノ當人デハ無ヒ。一條拄杖、識得此拄杖子、參學事了ルカラ、  
 更ニコレハ短デ非ジヤノ、コレハ長デ是ジヤト論ジ吟味スルコ  
 トハイラヌ。

【上堂44】

△一物長靈一此一物、物ガアレバ一物デナヒ、有ト無トヲハナレ、

有モノガ長ヘニイツデモ靈ニシテ不思議ナルモノナリ。體ヲ云。○此一物ガ萬ノ戸ノ立テタル處ノ障リ、俱ニ透テトヲリノケテタル。法ノ透リニクイ處ヲモトヲリノケテソコニ任セン。用ナリ。佛界ニ在テモ衆生界ニ在テモ止ラヌモノ、正ニモ偏ニモ任著セズ、透リノケテタルモ、佛界魔界ノ障礙ヲ破リノケテタル。○此ノ一物ハ、百艸頭ニモ元ト明明タリ。 ज्याニ依テ是ガ即達磨西來ノ祖一モ自ラ了了トサトリヲハツテ曉會トサトス、分明ナリ。○マツト廣ク云ハバ、見レ上天普ク覆テ圓ナルヲ、人人頂相ニ載テタルナリ。一物長ヘニ靈ヲ云。○又タ地《550b》普ク載テ箇箇脚下ニフミ付テ平ナリ。萬戸ノ句ヲ云ナリ。○一物長ヘニ一、萬戸ノ此ニ放テ薦得シテ合點デアラバ、一物一、萬戸ノ處ハ、一モ亦不是ニモ又タ不。一ニ有ニ多種一ト云可ラズ、二ニ無ニ兩般ニトモ云ベ可ラズ、一異無イ。○サルニ依テ何ノ處ニ向テ一カ異トカ、唇ノ皮ヲ鼓シ、タタエタモノデアラウ。有言スベカラズ、無言スベカラズ。○三世諸佛ノ古渡ノ渡リノホトリヲ見レバ、風月ハ熱□ナク、風ハ寒、月ハ清タリ。是レ一物長靈ノ處ナリ。此ノ處ニ居テハ已投住著ノ病ナリ。○ ज्याニ依テ、ソノ風月寒清ナル瑠璃ノ地ヲ夜船ニノツテ棹ヲサシテ撥轉シテ、已投住著ハセヌ。萬戸俱ニ透ルヲ云ナリ。○衆ニ示ス、修行ヲ示ス、衆、大衆。你チ若シ箇ノ入處ヲ得ズンバ、三世ノ諸佛ガ、ダウゾ入處ヲ得サシメント欲シテ、汝ガ脚跟ノ下ニ在テ法ヲ説カルルナリ。○シカモ止ムコトヲ得ズシテ三世諸（佛脱カ）ガ人ノ爲ニ一大藏教ヲ説カレタ。ケレドモ

二ツ無ク三世常住故ニ一物長靈ナモノ。是ヲ以、萬戸、一切ノ門戸ヲ滯ルコトナク凡ヲ透リヌクト云テ、此一物遠コトデモナイ。百艸ノ明々タル上ニモ祖意ハ自了々ジャ。此一物ヲ廣ク及シテ云ヘバ、上ヲ見レバ天ハ覆テ、人々頂相一、一物長ニ靈ト云。一物ト云モ強テ名タモノ。△鼓ニ脣皮、迷悟ヲ説クコトハイラヌ。風月寒清、風ニワ清イ、月ニハ寒イ、コレハ古ヒ渡リ、仏祖モ未だ足向ケセヌ一物長靈ノ場処。爰ヘ夜船舟ニ乗テキタ。コノ《14ウ》風月ノ処ハ瑠璃ノ地ジャカラ、爰ニ居テハナラヌ故、早く撥轉スルガヨイ。未レ得ニ箇入處ニ三世仏ガ泥マブケニナリテ汝ガ為ニ説ク、汝ガ舌頭ヲ返照スレバ其儘一大藏經、脚下照顧スレバ直ニ三世佛、唯回光返照セヨ。一、葛藤ハ永平門下デハヨクトル。一大經ノ命脈三世佛證契シテ不斷ナルハ、葛藤ノフヂカズララマトフガゴトクジャ。△奴ハイヤシイ、郎ハ郎官デ貴イモノ、取違ノコトニナル。永平下ニハ活路ガアル。一更買一、行脚シテ或從ニ經卷、或從ニ知識テ合点シタガヨイ。

汝が舌頭上ニ在ルコトヲジャガ、又タ且ク、マア當分、諸佛ノ一大藏教ノ葛藤ノ處ニ向テ會取セヨ。ソノ葛藤ノ中ニハ迷モ悟モ、凡モ聖モア《551a》リ。○師云、韶陽山雲門老漢ハ奴兒ノ賤キ下女ヲ止メテ、郎官ノ貴キナス様ニ便ヒソコナフコトヲ未<sub>レ</sub>免。○永平、義雲、一アリ。○入處ヲ得ズンバ更ニ買一好ヨイ。草鞋ヲ踏破スヲ遍參ト云ハズ。故ニ永平云ク、四海五湖ヲ往來スルヲ遍參トスルニアラズ。面皮厚キコト多少ヲ點劔(檢カ)スルヲ遍參ト云ト云云。自己ヲ返照スルガ第一。

【上堂45】

○上一。曹山因ニ一問フ、眉毛ハ無ニ功用、故ニ法ノ體ナリ、眼目ハサマザマニ依<sub>レ</sub>見處有ニ功用、法ノ用。ソノ體用相識テヲルヤ又タ否ヤ、シリ示タモノデゴザル。○山云、不<sub>レ</sub>。十二時中ニ只麼ニ相逢テ知ラヌモノジヤ。白雲終日總ニ不顧ナリ。古イヨリ上賢モ相ヒシラヌモノナリ。是レ偏中正ナリ。○曹山云ク爲一トハ、同ク體用ガ一ツ處ニ有ルモノ故ニ相シラヌ。從來共ニ住シテ不<sub>レ</sub>知名。○僧曰、シラヌト云ナレバ眉ト目ト不分ナリ。○山曰ク、眉一○サウデハナイ、眉ノ無功用、目ハ有功用デ、別々分テアル。○山曰ク端一ハ、知<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>境界、佛ヲ見テハ佛ト端的ニシ去ツ分明ナリ。○僧曰ク、ソノ眉ト云《551b》ハ一。○曹山曰ク却疑トハ、却ツテケクニ曹山モ疑フ、不知境界。三世諸佛モ不<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>有、却テ疑フ。○僧曰ク、和尚一ト云ハ不<sub>レ</sub>合點<sub>レ</sub>シテ、疑フト云ヲ迷フタト思フタ。

【上堂45】

△曹山一眉與目一、是公案。南泉ノ三世諸佛不知有<sub>一</sub>ト同ジ。眉ハ功用ニ渡ラヌモノ、法デイヘバ體、目ハ見ルト云働有テ用也。是ハ互ニ知テ有ル乎。分別ガ生ジマスカ、一不<sub>レ</sub>相識。眉ガ不<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>目、目ガ不<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>眉。一為<sub>レ</sub>什麼、同ク一處ニ在レバ知<sub>レ</sub>走<sub>レ</sub>モノヲドウシテシラヌ一為<sub>レ</sub>在一處故ニ知ルト云スキマガナヒ。一不分一ハ、一ツニナリマスト云。山曰一、眉ハ眉、目ハ目デ別ジヤ。△却疑眉毛ノ境界ハ曹山モ、サツハリトハイカヌ、三世佛モ不知有<sub>レ</sub>。一不疑ハ眼目ノ境界ニナル。(上欄「目ハ端的シ去ナリ。ナンデモ見ハズシ的ノハズル」コトハナヒ。) △頌。兄弟、此句ハ無能雙眉是兄弟ト云語ニ本ク。先眉ト目トハ器類同ジ、兄弟、親父ハ獨リ、ソコカラ眉ヤ目ト生レル。用處モ又同。功用アル眼ヲ開テ山ヲ見レバ、功用ナヒ眉ガ展テ知不知一枚ノ境界。著眼偏、展<sub>レ</sub>眉正<sub>レ</sub>デ不知

○山曰ク、疑ハヌトキニハ用ノ目ノ如ク端的ニシ去リ、此處ハ言語道斷心一。是レハ元ト、南嶽弟子成公ハ以レ眉能ニ威儀、智達ハ吾ハ得レ眼能顧眄ヲ一、是レヨリ出ス。○師ハ義雲、頌曰ク、○眉目ノ兄弟ハ元ト是レ一家ノ兒ニシテ一ツ處ニアル。○ソノ目ト眉ト兄弟同行ヲ云ハ、ソノ目ガ青巒ニ著テ見テ用ヲ働クトキニハ、體ノ兩眉ハ付テ隨テ展ブ、離レヌ。是ノ故ニ正偏離レヌナリ。○然ルニ依テ其中ニ誰識ル、曹山ノ目ノ端的ノ、マトノ外レヌ處ハ誰カシル。○用ハ經行スルモ坐臥スルモ用ノ働ノスル處ニシテ、體ガ付テマワル。ソノトキニ相疑ハヌ、是端的ナリ。ソノ眼ノ處ニ眉ハ付キ隨フ、體用離レヌ。十五丁目下面

【上堂46】

○目一トハ、先ツ表ヲ云バ、人人ノ即今對面スル處《552a》ノ目前ノ靈機。○内デ云バ、肘後ニ掛タ處ノ佛祖ノ心印ト。○ソノ機ト印ト二ツアレドモ、曾テイツノコロヨリ、間隔シヘダダコトハナイ。ソコデ即今面前ノ肘後分明ニタシカ恁麼ナリト云ヘドモ、○師トナリ人人ニ示ストキニハ眉ヲ上テ示ストキモアリ、目ヲマジロフテ示ストキモアル。夫レハ左右ニ涉テ眉目ニ熱トアタタカニ瞞ラルルト云モノト云テ、○ソレナラバト云、内ニ談一スルハ玄妙ニ染汚シ、○シミヌラサレタト云モノナリ。是レ説ク方ナリ。○上ノ云フ二ツハ有ル方ナリ。○カウ云テ若シ又タ何レモ悪イト云テ空ノ寂淨ニ住スルトキニハ、寂ノ處ニ還テ通身ヲ繫縛シツナガ

也。此境界ハ誰識一、經行スルモ坐臥スルモ眼ノ中ニシテ不相疑。

【上堂46】

△目前機ハ一切諸緣萬境ニ渡リ受用スル処ヲ云。肘後ノ印ハ躰ニツイテ祖師心印、正位也。向フ云テモ二ツ無ヒカラ間隔ノスキマワナヒ、又遠イコトデ無ヒ。即今、爰ニカクレナク分明ナ。雖然一、是ヲ示ス為メニ佛祖有ヨリ、或ハ揚眉、佛ナドワ瞬目シテ目ヲマジロカシテ拈花シ、ソレハ眉毛ニ《15オ》アタカニダマサレタト云モノ。ソナラバ、モツト深く入テ玄ノ深イ道理ヲ談ズルモ、玄妙ニ汚シ染メラル。モツト進テ禪寂ヲ好ミ住シ、或ハ解空モ、ミナ病也。空ヲ以テ空ヲ捨テ子バナラヌ。偏坑一、空ニ落レバ有ガ欠ケ、有二落レバ空ガ欠ケ、是、カタガタ也。動容一ハ、見聞覺知ノ上ガ古路ノ佛祖未ニ往來一処ニナル。又古路ニ居ナガラ悄然

ルル。扱又空無ノ道理ヲ解シ合點スルト云へバ、空ガ自ラ窠窟ト  
 ナツテ出デ難。大論ノ中ニ以レ空破レ有、若シ見レ有レ空、佛之所レ不  
 化トアル。亦夕經ニ、有ノ見ハ雖レ起レ須彌山程、無ノ見ハ莫レ起  
 芥子程ニ云。即チ此意ナリ。○窠窟ハ字彙ハ音科ニ、鳥ノ巢ト。  
 亦夕一説ニ鳥ノ在レ樹曰レ窠、在レ穴曰レ窟。○大衆、上ニ云フ、眉ノ  
 玄妙ト寂ト空ト四ツノ恁麼ノ偏坑ノカタガタニ墮セ《5520》ザルコ  
 トヲダウシテ得タモノカ、還テ會ヤ。良久曰、動トハ見聞覺知ノ  
 動容シナガラ、佛祖向上ノ古路ニ上テラル。是レサワガシイ處ニモラ  
 ラン、今時ニ墮セン。又夕サウ云テモ悄然ノサビシイ處ノ不レ沈ニ空  
 劫、落ヌ。是正偏ニヲラヌナリ。今時空遠(久遠ノ誤カ)一枚ニ扱  
 フ境界ナリ。永嘉ノ古轍ノ序ニ、若シ空劫ニ沈者ハ令レ下ニ今時、今  
 時ニ沈者ハ令レ登ニ空劫。又夕松子ノ囑ニ夾山ニ曰ク、藏身處沒蹤跡  
 ナルベシ、今時ニナルナ、沒蹤跡ノ處莫レ藏身、是レ空劫ニナル  
 ナト云、此意ナリ。次ノ公案ハドコニモ居ラント云證據ニ引テ云  
 ナリ。○山曰、鑊ノカマノ中ニ湯ノワイテアル處、又ハ爐ノ  
 火ヲ起シテアル處ニ向テ廻避セヨ。ココハ前後載(際ノ誤カ)ニ  
 シテ當處ヲ不レ離、豈ニ須ニ修行ノ脚頭ニ者ナランヤ。○一。○山曰  
 ク、衆苦トハ此ノ鑊ノ處ハ前後載(際ノ誤カ)斷ニシテ涉ル  
 デナクテハ、到ラレヌ。此處ハ見レ苦見レ樂透間ガ無。苦モ樂モ思  
 フモノハ到ルコト能ハヌ。前後載(際ノ誤カ)斷ニシテ苦樂ヲ思  
 ハヌトキニハ、眞ニ鑊トニ入テ熱ヲ廻避スルナリ。○師曰一、山  
 ハ夫レハ鑊ト云へバ外ニ向テ馳《5520》走スルコトヲ免ヌト云

トサビシイ憂イラシイ顔ヲシテハ居ラヌ、活キガアル。久遠今時兩  
 頭ニナツマヌ。鑊湯ト、廻避セヨ。是動容揚ニ古路ニ衆苦不到、  
 是蓮華ノ汚泥ニ染ヌ境界、通身アブラル、故、外ノ苦ハ何ニモコヌ。  
 古哥ニ、「差々無差ノ無差々ノ中ノ差々無差ハ差々無差ナレド無差  
 ヲナリケリ。」曰下ノアツイ処デ直ニ合點セヨ。△時節ト、一切事、  
 時節因縁デ成ズル。若シシカクカクノゴトクニアツイ時ハ全躰ア  
 ツイ。時節ト因縁トガ其僣佛性ジャカラ、アツイ時ハ脱體熱殺セ  
 ヲ、トナリ。

モノ。○須<sub>レ</sub>向<sub>ニ</sub>、暑イトキニハ日下ノカツカツト日ノテル處ニ向テ暑イコトヲ知ツタガヨイ。ソノトキニハ廻避セラレヌコトハナイ。上ト同、只ダ學人ノ爲ニ轉ズルバカリ。○良ヨホド久フシテ○時節因縁ノ佛性ジャカラ、時節如<sub>レ</sub>斯到ルカラ、十二時中佛性現前シテ法ノ至ラヌコトハナイ。時節ガ如<sub>レ</sub>此ク暑サニ到ラズンバ、日下ニ向テ暑サ廻避シ佛性現前スルコトハアルマイ。

【上堂47】

○眞一トハ、師家ノ手前ヲ云トキニハ、眞實ノ說法ハ、向ノ學人ノ機ニ對シテ説クモノニアラズ。維摩疏ニ、說法トハ者無説無示トアル、是レナリ。○眞一トハ、學者モ又サウジヤ、眞實ノ大機ヲ具シタ學者ハ、師家ノ説コトハ待タズ、不説以前ニ合點ス。ジャカラ、維摩經ニ聽法トハ者無聞無得ナリ。○故ニ師家ハ大人ニシテ大用ヲソナヘテアル。ソレヲ云バ唯識ニ、大悲ノ故ニ不<sub>レ</sub>住ニ涅槃、是レ師家ノ大人ナリ。○故ニ眞機ヲ具タ學者ハ大知ヲソナヘテアル。唯識ニ、般若ノ故ニ不<sub>レ</sub>住ニ生死、是レ學人ノ大機ナリ。○作畧ハ、シカタハドウジヤ。○眞一トハ、師家モ學<sub>（Sūtra）</sub>人モ靈羊ガ岩ニ角ヲ掛、藏<sub>レ</sub>跡如ク、有無ノ商量ノ上テ跡ヲ絶シ蹤ヲ亡ズルナリ。迢迢タル不<sub>レ</sub>沈<sub>ニ</sub>空劫、近近シテ不<sub>レ</sub>落<sub>ニ</sub>今時、コウシタ師資ノ作畧ガアル。△上ノ蹤跡ナイ證據ニ、復タ學、當山一ハ永平開山曰ク、古人一、千般ノ巧ガ有ルハアレドモ、ソレハサモアラバアレ、カマハン。○終ニ、タウタウヲハリニハ兩様ノ風ハ無

【上堂47】

△眞説一、眞實ノ說法ハ無所説ナル故ニ、來機ニ對待シテ説ク羊ナコトハセヌ。法ノ説ベキ無ヒ。故ニ終日説不<sub>ニ</sub>曾説、其レヲ受ル処ノ眞實ノ機見ヲ具ヘタ者ワ、説ヲ待テ合點スル羊ナ手ノ延タコトデナヒ。ソレユエ先ツ師家ノ方デハ大人ノ佛境界ニ大用ガ具テアリ、又眞機ノ大機ヲ具シタ者ハ法界ヲ遍照スル大智慧ヲ具ス。是デ師学一枚。靈羊一、正不<sub>レ</sub>正トツチエモ跡ガツカヌ。任你一、骨ト紙ト張タルハ千般ノ巧アルケレドモ風ハ一樣、十界ト分レテモ、ラ<sub>ン</sub>ツマリハ三界唯心、兩様ノ風ハナヒ。更看萬様風、十界十如ノ巧ミアル、ソレニハ千萬様ノ風ガアル。餓鬼ニハ餓鬼ノ清風、地獄ニハ地獄ノ清風、唯一ツト本ヘ戻シテ見ルニハ及バヌ。却來今時デ其<sub>レ</sub>久遠ノ行李。△招涼ハ<sub>（15ウ）</sub>扇子ノ用、翫<sub>レ</sub>月ハ体也。体用ヒツク、<sub>レ</sub>リテ一輪ノ月中ニ在テ、清涼ヲ招ク用モ法界ヲ照ス光明モアリ、ドチラヘシテ一輪ノ月輪觀ハ出デヌ。

イト云、心ハ、十界ノ迷悟凡聖ノアラヨル巧ノ模様ハアリハアルケレドモ、清風ニハ兩様ハナイ、出身ナリ。○山僧、永平即不然トハ、先ツ體ハ任你レ千般ノ十界十如ノ巧ミ有レドモ、ソノ用ハ更ニ看ル萬様ノ風、十界ナガラソノ風ト云ガ有ル。上テ無トククツタ處ヲハナシテヤツタ。一モ亦不レ守、脱落ヲ云フナリ。○師曰、雲一半句ヲトハ、古人ノハ二句デ缺テアルカラ、ソレニ下ノ二句ヲ添テ缺ケタルヲ補ナリ。唐デハ扇子ハ圓月ノ如ジヤ。○先ツソノ扇子ノ用ハ涼ヲ招ク、體ハ法界一圓ノ月ヲ翫ブ。○ソレトモニ體モ用モ只タツタニモナク三モナイ。自己一輪ノ月ニ在テスルコトナリ。體用一致、動靜一源ノ受用デ有ル。《551a》

【上堂48】

○結夏ハ、豎ニ盡ニ乾坤天地不レ殘、横ニ大法界ノ十方世界悉ク、是レガ我が一箇ノミナリ。故ニドチラヘモ足運ブ様ハナイ、ジャカラ便ニ能ク禁足。○カウシタトキニハ無情ノ遍塵塵殺殺(刹刹カ)、アラヨル無情アラヨル諸ノ有情、是レ我が眞箇ノ漢ハ人ナリ。故ニ方ニ衆生ヲ護スルコトヲ能シテ諸法實相ト會得スルナリ。○夫レジャカラ禁足ヤ一歩一歩、一念一念妄リニ移サズ。乾坤ト法界トハ無ニ動靜、是レ禁足底。○護生スルヤ心ノ方デ云ハ一心一妄リニ動ゼヌ。無情有情不レ動、心念、自ラ生ヲ護スルナリ。○カウシタコトジヤ故ニ邊表ナキヲ大ト云フ。佛トナツテモ衆生トナツテモ圓ニシテ缺ヌ處ノ自覺覺他ノ吾ガ全自己ノ大圓覺ヲ以テ我が伽藍

【上堂48】

△盡乾坤、ヲシクルメテ法ヲ以テ界スル此世界杯ハ雜居土ト云テ、牛馬色々ノ物ト混テ居レドモ、牛ワ牛ベヤ、馬ワ馬屋、ソレノ二法ガ分レテアル。先見ヘ通りハ乾坤内ニ含デ見エ子ドモ、道理ノ具テ有ル処ハ法界。尽法界ガ此身ナレバ、ドチラヘモ足ヲ運ブ羊ガ無ヒ。便能禁足、其法界ノ中ニハ遍キ国土アリ、諸有情、色々ノ衆生ガアル。爰ハ法界ノ小ワリ也。是我一、ウソデナヒ只一ツノ漢デ、能所ニツナヒカラ、殺スノ殺サル、ノト云相手が無ヒ。ソコデ衆生ヲ護持スル。歩々、尽乾坤ガ身ジヤカラ、歩々処カヘハセヌ。佛界ヲウツシテ衆生トスル杯ト云羊ナコトハイラヌ。心々、上ノ遍塵刹諸有情ノ句ヲ受テ、本、向

トナシテ坐シテラル。伽藍ハ梵語、此ニ諸園ト云。○ソウシテ身心ヲ安ク居シテ、坐禪ハ安樂ノ法ナリト諸縁萬境ヲシマフテラル。○ソウシテダウ安居スルナレバ、正偏分レヌ平等性智ノ智慧ノ中ニ安居シテラル。○大圓覺平等ノ此ノ處ニ佛佛ガ到テ趣キ、到ル處ヲ同シテ、又タ人人モ此ノ大圓覺平等性知ノ處ニ住シテ、法トシ《Sūtra》テ爾リ、サウジヤ、新ニ拵ヘタコトデハナイ。○一輪一、刹一ノ二句、安居ノ場處ヲ云フ。一輪一ハ、二モ無ク三モナイ、タツタ一輪ノ皎トイサギヨ（イ脱カ）明月ヲ止メテ大圓覺トナスナリ。○此月ハ此大小中ノ三千刹海ヲ照ラシテ鋒（縫カ）罅ノスキマナイ一團ノ鐵ノ如クシテ迷悟ノ透キ間ガナイ處ニ安居ス。○歩一、人一ノ二句ハ、安居ノ當人ヲ云。○大圓覺ノ中ニ安居シテ一步一步虚空ニ點ジ踏著テ、正正偏等ノ蹤踏ガナイ。○人人是ヲ喚デ我が伽藍トナシテ安居シテラル。此ノ四句ハ、全體安居斗リヲ述ブ。

【上堂49】

○途中一トハ、三界九地ノ途中ノ第二義門一途路ニ那人ニ相逢テ中（仲カ）能ク睦キ人ハ、蓋ノキヌガサヲ傾テ、ムツマジク語ル人ナレドモ、○直下ソコテソノママ。サラバ御目ニカカリタ見様ト回頭スレ（バ脱カ）、已ニ關ヲ隔テ遠クナル。擬レ向早ヤソムク、吾ガ別人ジヤト此ノ間ニ大イニ修證ノアルコトジヤ。○向一トハ、有修有レ進向ニ那邊。○主人公ニ逢ニハ先ツ菩提人ノ修行デ、上求菩提シ向

ノ心ト此方ノ心ト、能所ニツナヒカラ心々動カヌ、相手ナキ故ニ。大圓覺一、大ニ絶方所、キワナガナヒ。圓、増減ナヒ、寶積經ニアル通り、佛ニ在テモ増コトモナク衆生ニ在テ減コトモナヒ。是大、是圓ノ心ヲ以テ、自覺々他覺行圓滿スル。伽藍、事客ニアリ。伽藍一、カフシタ大智慧平等ノ処ニ心身安居スル也。佛々モコノ平等一ノ処ガ同歸スル落著キ処、又今日ノ人々モ法トシテシカリ。外ニツクロイ、コシロウコトハイラス。一輪皎月、是圓は大ノ一輪月ガ三千界ヲ照ス。是ノ大圓覺心ノ一片ニ照スカラ、何ニモ外ノモノハナヒ、鉄一團デ生佛ヲ隔ルススキマガナヒ。爰テ心々安居平等性智ナリ。歩々一、一念ノ踏ツケル処ガ其虚空ジヤカラ、今時久遠ノ跡ガ無ヒ。此蹤跡無ヒ処ヲ、人々呼一也。藍ハ通音也。《16才》

【上堂49】

△途中一、向上ノ那人ニハ、三界ノ途路デモ返照サヘスレバ、其俛逢テ如ニ故相識。空劫已前ニ逢フタモノジヤカラ、直下、○サラバヨイコトト回頭首相ヒ見トスレバ、モハヤ彼ト我ト二ツニナル。カウアル故ニ、向去從レ茲ハ、相過テ傾蓋、路スチガアイタカラコレヨリ向去シ普請シテ上ニ向フ。又向去仕スマシテカラハ却來、体ニ得那邊、這邊ニ來ル。一末端ハ、却來スル処ノハシメ、ワケヲヨ

去シ、コレヨリ普請シ修行シ去ルナリ。○夫カラ却來シテ化度シテ出<sub>レ</sub>萬<sub>《555a》</sub>行門、現<sub>レ</sub>地藏面閻摩面處ノ路デ、何ノタメニ却來スル、コレヨリ却來ノ端ノ始ヲ悉クノコラズツブサニシルガヨイ。○直ニ拄杖ヲ拈ジテ劃<sub>一</sub>、向去却來ハ此ノ處ニアリ。過去諸<sub>一</sub>、此門ト云ハ向去知門、却來悲門、已ニ成就ス。○現在ノ諸菩薩モ今覺悟シテ本來ノ向上向(下脱カ)問ヘナイ、圓明シテ智慧光明ニ入ルジヤ。○又タ未來ノ衆學人モ、如是上求菩提化下衆生ノ法ニ因テ修行シタガヨイ。○向去却來ト云ニ依テ、所以道フ、湘州ノ之南、潭州ノ北トニツアゲテ、東西南北ノ眞<sub>中</sub>ニ黄金ノ佛國ガアル。夫レガ一國ニ滿テフサガツテ、是レ都テ南北共ミナ十界、乗合ヒ船ノ合同船ガアル。此ノ船ニ乗テドコイ行ナレバ、瑠璃殿上ニ向テ到レバ、知ル人モ知ルル人モナイニ無差別ノ處ニ至ル。此ノ四句ニ神鼎ノ諍和尚ノ著語、一句ハ君臣有<sub>レ</sub>路、二句ハ淨體妙常、三句ハ千聖一(轍、脱カ)、四句ハ凡聖路絶。○一塔朝(廟カ)ハ、制多トモ塔婆トモ、此ノ方ニ高顯ト云。○過去ノ諸佛ハ是我弟子ト、十世古今始終當念ヲ出ヌト云フガ如ク、我ヲ離テ佛ハナイ。二佛化同セン。我ガアル故ニ過去ノ諸佛<sub>《555b》</sub>アル。正法眼藏行持之卷、我レ等ガ行持ニヨリテ諸佛ノ行持現成シ、諸佛大道通達スルナリ。○佛ニ逢フテハ佛ヲ拜シ、是能禮所禮性空寂ニシテニツナイ。○丁度牛ニ騎テ牛ヲ求メルガ如ク、自己デ自己ヲ求ルガ如シ。佛道修行ノ見道修道ナリト云フ。○過<sub>レ</sub>橋<sub>一</sub>、隔<sub>一</sub>トハ、是ハ眞歇ノ云ク、恁麼ニ會得セバ過<sub>レ</sub>橋ヲ來レバ村酒ノ麤相ノ濁酒モ美ニシテウ

ク正ス。○過去佛、此向去却來ノ門ヲ成就。一現在ノ菩薩祖師等皆今學。一未來ノ法門ノ學者モ如<sub>レ</sub>是向去却來ノ門ニ入ル。湘南<sub>一</sub>、東西南北、ヲシナメテ一戒光明デ外ノモノハナヒ、其中央ニ一片ノ佛世界黄金國ガアル、爰カラ舟ヲ催。無影樹ノ虚空樹下ニ尽乾坤遍照法界ノ乗り合ヒ舟ニ乗テ瑠璃殿上ヘツイタレバ、前度ノ乗り合タ人ワ一人モ無ヒ。前句ハ同デ十界アリ、後句ハ異デ十界分レヌ、正偏ニモ見ル。○是我弟<sub>一</sub>、逆ニ手前カラ數ヘル時ハ諸佛ハ我弟子、順ニ數ヘル時ハ我ハ諸佛ノ弟子也。一逢佛<sub>一</sub>、本ト逢佛人デナケレバ、佛ヲ禮スルコトハナラヌ、元ト牛ニ騎タ人デナケレバ牛ヲ求ルコトハナラヌ、丙丁童子來求火ト同ジ。過橋<sub>一</sub>、若シ會得シ過<sub>レ</sub>橋、村酒ノ味ヲ知テ美也。若シ合点セヌ時ハ隔<sub>レ</sub>岸、野花ノ香リヲカイダ斗リデ本ノ処ヘハイカヌ。カフアル時ハ進ムト退クト路ニニツアレドモ、時節到レバ其俛合点スル。水ハ誰染メ子ドモ竹林ヨリクレバ緑ニ、月松頂ニ當リ向テ涼イ。コレ月ニモ松ニモ涼イト云道理ハナケレドモ、因縁所生デ法ヲ起ル。騎<sub>レ</sub>牛求<sub>レ</sub>牛ト云モ皆其時節サヘ到レバ其俛アラワレル也。

マイ。○恁麼ニ得セザレバ岸ヲ隔テ野一香ニライカイダ斗リデ實ノ花ヲ見ヌ。○水ハ一、水ニ元ト緑ナル青色ハナケレドモ、竹邊ヨリ來レバ緑ニ兎角人ハヲリ處ガ大切ジヤ。又夕月ハ松ノ頂ニ當テ涼シト云ハ修行ニヨツテ、同ジ月ナレドモ、修シテ登ルホド智慧ハ明ラカニナルト云心ナリ。

【上堂50】

○長者ハ本然長、短者ハ本然ノ短、是法住法位、世間相常住ト云雲門ノ語ナリ。是レニハ幾許ノ解シ違ガアル。○長者ハソノママ長法身デ、世間相常住ト見ルハ、ソレハ三世ヲ三世ノ如クニ見ルノデ、ソデ無イト云テ別ニ長者ハ長法身ノ道理ガアルデモナイ。短者モ如是。○元ト長者ハ長ト、鶴方デ造作シコシラ《556a》イタモノク、又タ本然ト云テ本トカラアルデモ鶴ハ自ラノ長デ常寂滅ノ相ナス。○是法住一、義範ノ護法集ニ擧ニ上文、注曰ク、三種ノ世間ト無性ヲ爲レ位、寂滅爲レ相。法ハ常ニ無性故ニ曰ニ住位、常ニ自寂滅故曰ニ相常。若如三界見於三界、而執世間相常住者ハ、是レ外道富那之徒也。○覺ノ脛ハ雖レ短、續レ之則憂、鶴ハ脛雖レ長、斷レ之則悲ム。○鶴ハ自ラ長イ、長者長法身、常寂ハ滅ノ相。○覺自ラ短、自ラ短シ。短者短法身ジャカラ、須ク信ズベシ、長ト短ト不足ナク十方佛一ニシテ不レ云ニ長者短者、只ダ一乘ノ法ニシテ二モノク三モノナシ。自長ナレバ長ヲ離レ、自ラ短イナレバ短ヲ離レ、ソコデ長ト云ハズ短ト云ズ、唯一乘ノ法也。若シ復

【上堂50】

△鶴自長一、長者ハ長ガ法身、短者ハ短イガ法身ジヤ。法ノ自体ニ長短ハ無ヒ。須信、ヨク吞《16ウ》コメト云コト。十方ガ皆長デモ短デモ、只一ツ一乘ノ大車斗リ。カフユウテモ合点セズバ是法住法位一、高ハ高位ニ住シ、下者ハ下位ニ住ス。長イハ長ナリデ餘ラズ、世間ノ相ハ無相ジャカラ常住。一如来如三界不見三界。

斧山玄鑑の著作について (二) (岩永)

擬議シテ合點セズンバ云テキケヤウ。○是法トトハ、是ノ法ハ無性ノ法ハ無性ノ法ナルニ因テ法位ニ住シテヲ (ル脱カ)。○世間トトハ、世間相ハ常ニ自ラ寂滅ナルガ故ニ世間ノ相ハ即チ常住ナリトス。長ハ長ガ常寂ノ相、短ハ短ガ寂滅ノ相ナル故ニ常位ナリ。